

令和5年度市民アンケート調査 結果報告書

令和6年1月

盛岡市

目 次

I 事業の概要 1

II 調査結果と考察

テーマ1	外食や中食の利用について	
問1	外食する頻度	3
問2	外食する理由	5
問3	中食する頻度	8
問4	中食する理由	10
問5	飲食店や市販の弁当への要望	13
テーマ2	盛岡の食と農について	
問6	盛岡産農畜産物を目にした経験	16
問7	盛岡産農畜産物の意識的な購入	19
問8	盛岡産農畜産物の購入場所	22
問9	盛岡産農畜産物を薦める意思	25
問10	「盛岡の美味いもんアンバサダー」の認識	27
問11	「美食王国もりおか」の認識	29
問12	「美食王国もりおかファンクラブ」の認識	31
問13	食・農業で関心のある事柄	33
テーマ3	禁煙支援・受動喫煙防止について	
問14	自身の喫煙状況	35
問15	たばこの種類と喫煙の頻度	37
問16	喫煙を始めた年齢	39
問17	喫煙を始めたきっかけ	42
問18	禁煙の意思	46
問19	禁煙の方法	49
問20	禁煙のきっかけ	52
問21	禁煙を成功させるための取組	55
問22	非喫煙者が喫煙しないための取組	59
問23	屋内での受動喫煙を防ぐための取組	62
問24	屋外での受動喫煙を防ぐための取組	65
テーマ4	手続きのオンライン化について	
問25	オンラインでの行政手続きの経験	68
問26	オンラインでの行政手続きの内容	70
問27	オンラインでの行政手続き利用の意向	73
問28	オンラインでの行政手続きを利用したい理由	75
問29	オンライン化を期待する行政手続きの分野	78
問30	オンライン化で懸念すること	81

I 事業の概要

1 事業の目的

市民アンケート調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、調査結果を施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市政の合理的かつ効率的な運営」を図るため毎年実施しています。

2 事業テーマ

(1) 外食や中食の利用について	(担当：保健所健康増進課)	5問
(2) 盛岡の食と農について	(担当：農林部農政課食と農の連携室)	8問
(3) 禁煙支援・受動喫煙防止について	(担当：保健所健康増進課)	11問
(4) 手続きのオンライン化について	(担当：総務部情報企画課)	6問

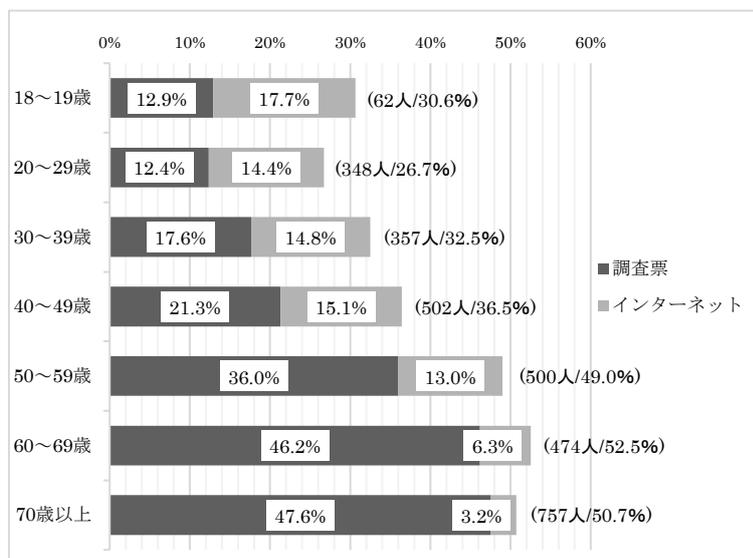
3 事業の設計

(1) 実施方法	アンケート方式による調査
(2) 調査地域	盛岡市全域
(3) 調査対象者	満18歳以上の市民
(4) 標本数	3,000人
(5) 抽出方法	住民票ファイル（令和5年6月30日）から無作為抽出
(6) 調査方法	郵送による配布・回収（インターネット回答を併用）
(7) 調査期間	令和5年8月8日～令和5年8月25日

4 調査の回収結果

- (1) 対象者数 3,000人
- (2) 有効回収数 1,289人（内訳…調査票：980人、インターネット：309人）
- (3) 有効回収率 43.0%

【年代別回収率と回答媒体の内訳】



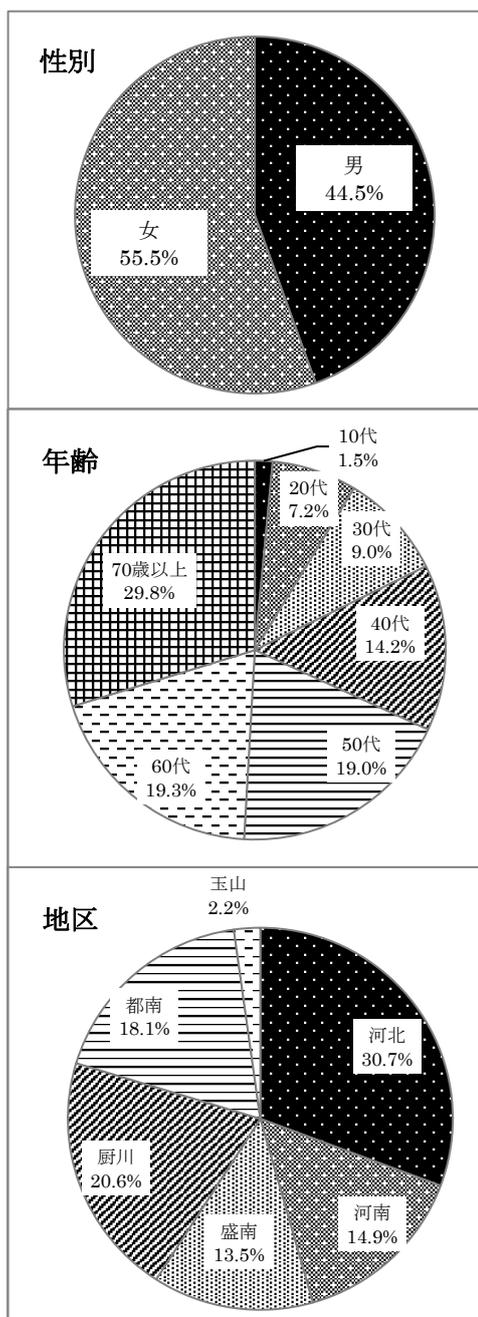
全体の有効回収率は令和4年度実施の同調査の45.5%より2.5ポイント低くなった。

回答のうち、インターネットでの回答率は24.0%で、令和4年度の20.4%よりも3.6ポイント高くなった。

() 内の数は、その年代の対象者の人数及び回答率

5 調査回答者の内訳

区分	実数 (人)
全 体	1,289
【性別】	
男 性	574
女 性	715
【年代別】	
18歳～19歳	19
20歳～29歳	93
30歳～39歳	116
40歳～49歳	183
50歳～59歳	245
60歳～69歳	249
70歳以上	384
【地区別】	
河 北	396
河 南	192
盛 南	174
厨 川	266
都 南	233
玉 山	28



【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城、仁王、上田、緑が丘、松園、山岸、上米内
2	河南	城南、加賀野、中野、杜陵、大慈寺、築川
3	盛南	仙北、本宮、太田、繫
4	厨川	西厨川、土淵、東厨川、青山、みたけ、北厨川
5	都南	見前、飯岡、乙部
6	玉山	好摩、巻堀姫神、洪民、玉山藪川

6 留意事項について

- (1) 比率は全て百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答の数値は延べ回答数に対する百分率ではなく回答者数を100とした場合の百分率です。したがって、合計は100.0%を超えることがあります。
- (3) 「N」は、有効回収数で、比率算出の基礎になります。

Ⅱ 調査結果と考察

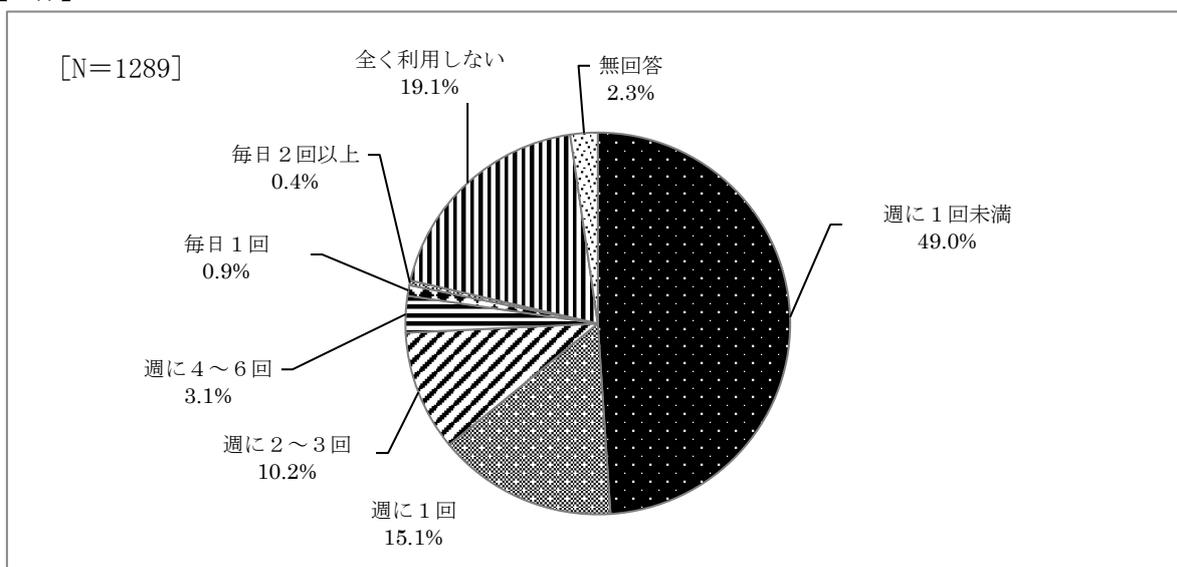
《テーマ1 外食や中食*の利用について》

*中食とは、持ち帰り弁当など、調理済みの料理を購入して家や職場で食べる食事のことです。

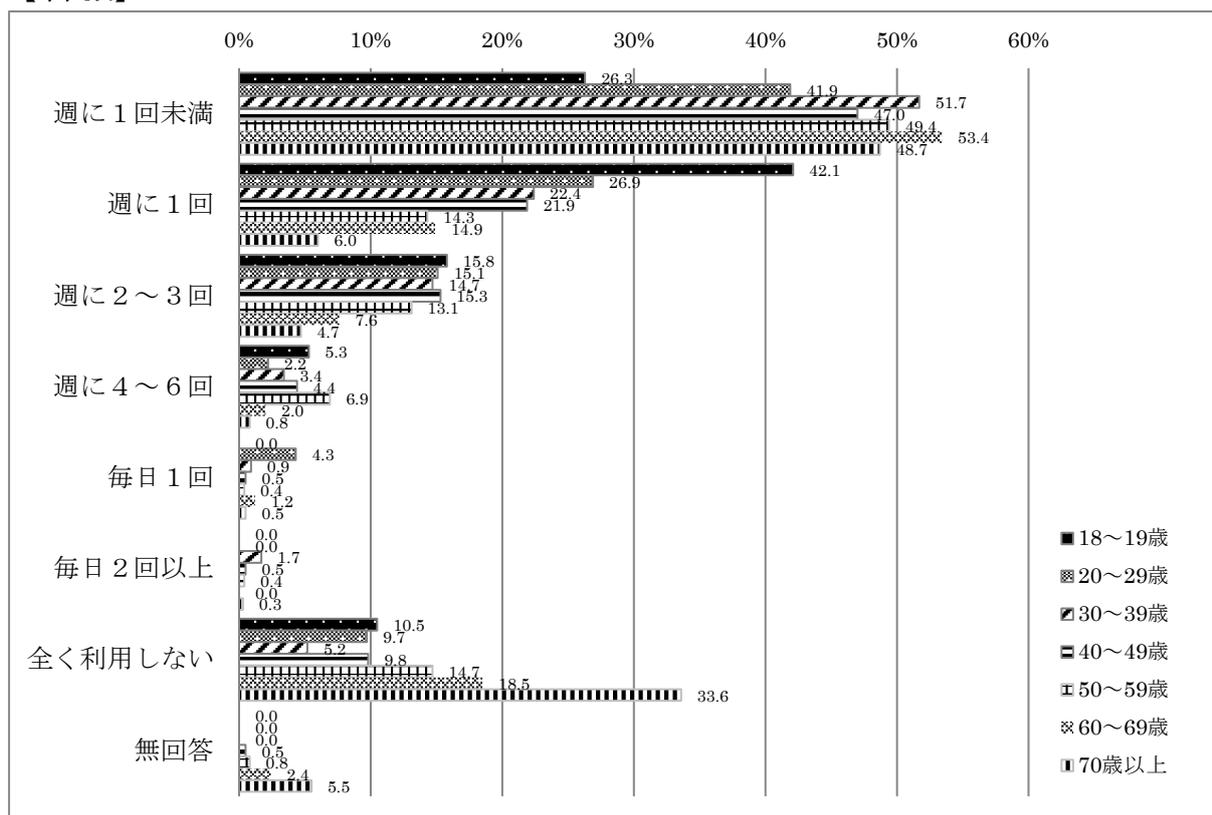
問1 あなたは、外食（飲食店での食事）をどのくらい利用していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 週に1回未満 | 5 毎日1回 |
| 2 週に1回 | 6 毎日2回以上 |
| 3 週に2～3回 | 7 全く利用しない |
| 4 週に4～6回 | |

【全体】



【年代別】



外食を週1回以上利用する割合は、10代が63.2%で最も高く、若い年代ほど利用する割合が高い傾向が見られた。また、10代～50代の約2割が週2回以上利用していた。これらの世代に対し、適切な量や質の良い食事をとることができるように情報提供が必要と考えられる。

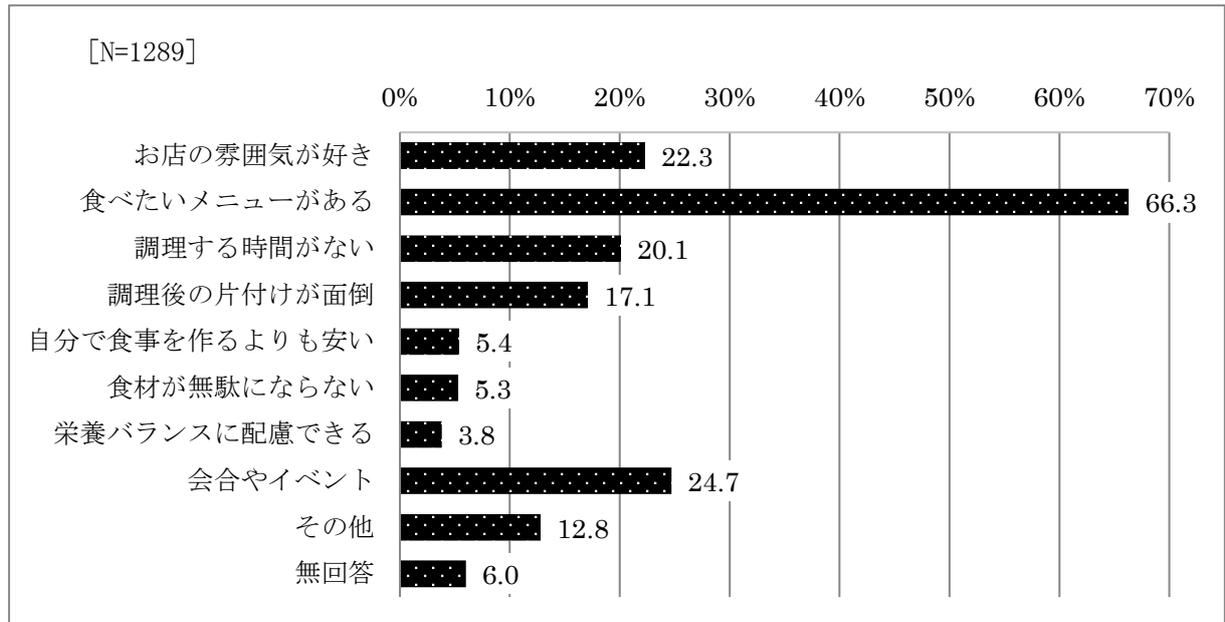
【性別、年代別、地区別の回答数】

			週に1回未満	週に1回	週に2～3回	週に4～6回	毎日1回	毎日2回以上	全く利用しない	無回答
	全体	1289	631	194	131	40	12	5	246	30
地区	河北	396	188	64	36	13	3	0	84	8
	河南	192	97	20	15	10	2	2	38	8
	盛南	174	79	34	23	8	0	3	27	0
	厨川	266	145	37	22	5	3	0	49	5
	都南	233	107	35	31	4	4	0	44	8
	玉山	28	15	4	4	0	0	0	4	1
性別	男	574	243	87	77	32	4	5	111	15
	女	715	388	107	54	8	8	0	135	15
年齢	18～19歳	19	5	8	3	1	0	0	2	0
	20～29歳	93	39	25	14	2	4	0	9	0
	30～39歳	116	60	26	17	4	1	2	6	0
	40～49歳	183	86	40	28	8	1	1	18	1
	50～59歳	245	121	35	32	17	1	1	36	2
	60～69歳	249	133	37	19	5	3	0	46	6
	70歳以上	384	187	23	18	3	2	1	129	21

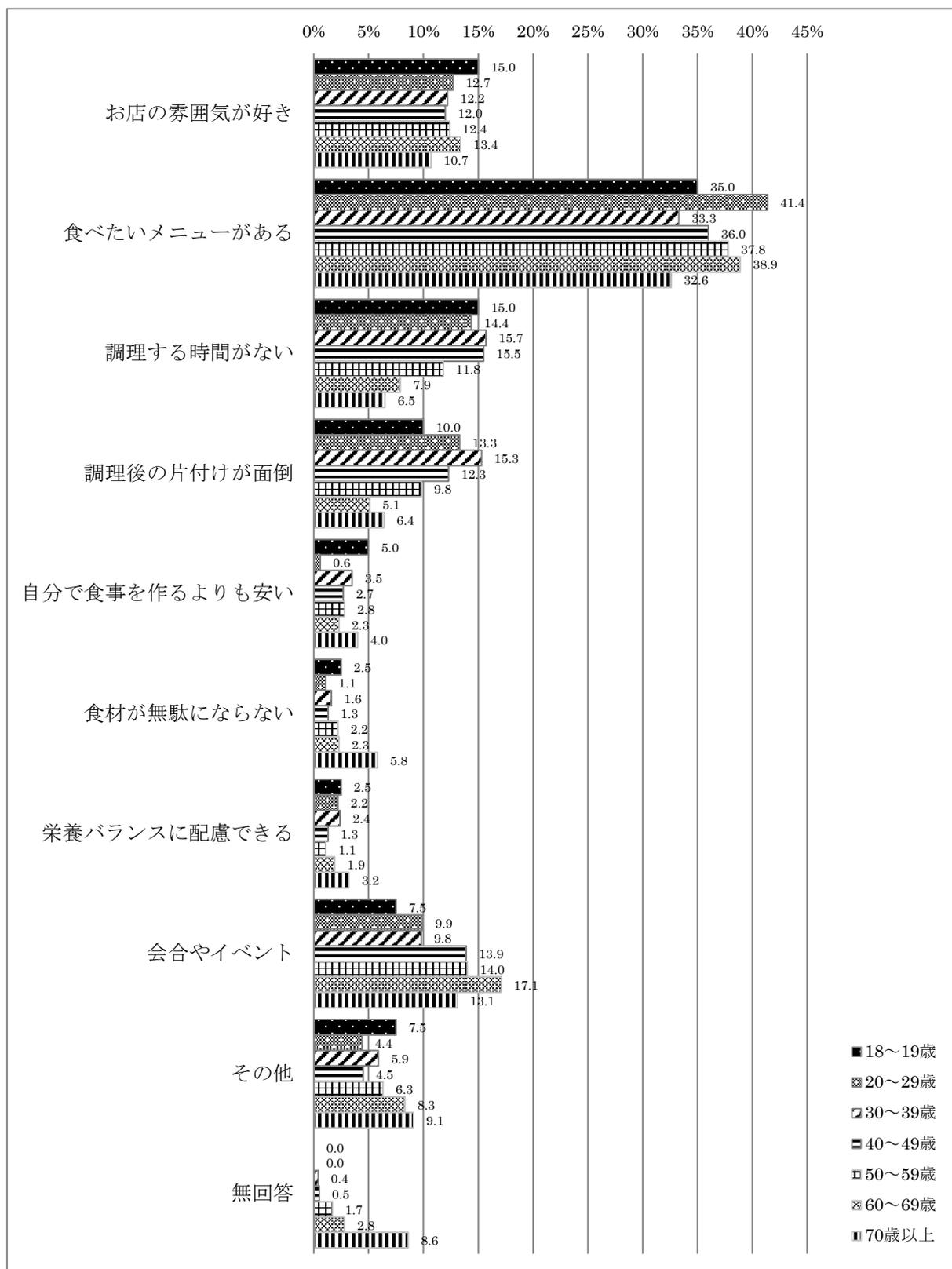
問2 あなたは、外食を利用するとき、どのような理由で利用しますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 お店の雰囲気が好き | 6 食材が無駄にならない |
| 2 食べたいメニューがある | 7 栄養バランスに配慮できる |
| 3 調理する時間がない | 8 会合やイベント |
| 4 調理後の片付けが面倒 | 9 その他 () |
| 5 自分で食事を作るよりも安い | |

【全体】



【年代別】



全年代、「食べたいメニューがある」が最も回答の割合が高かった。また、「調理する時間がない」、「調理後の片付けが面倒」という回答は、60代以上と比較して、働き世代の割合が高かった。

【全体を通じて】

「食べたいメニューがある」の割合が最も高く、「栄養バランスに配慮できる」が最も低かった。健康づくりのためには、食べたいメニューを選択することで自然に栄養バランスに配慮されたメニューとなるよう、飲食店と協力し進めていくことも有効と考えられる。

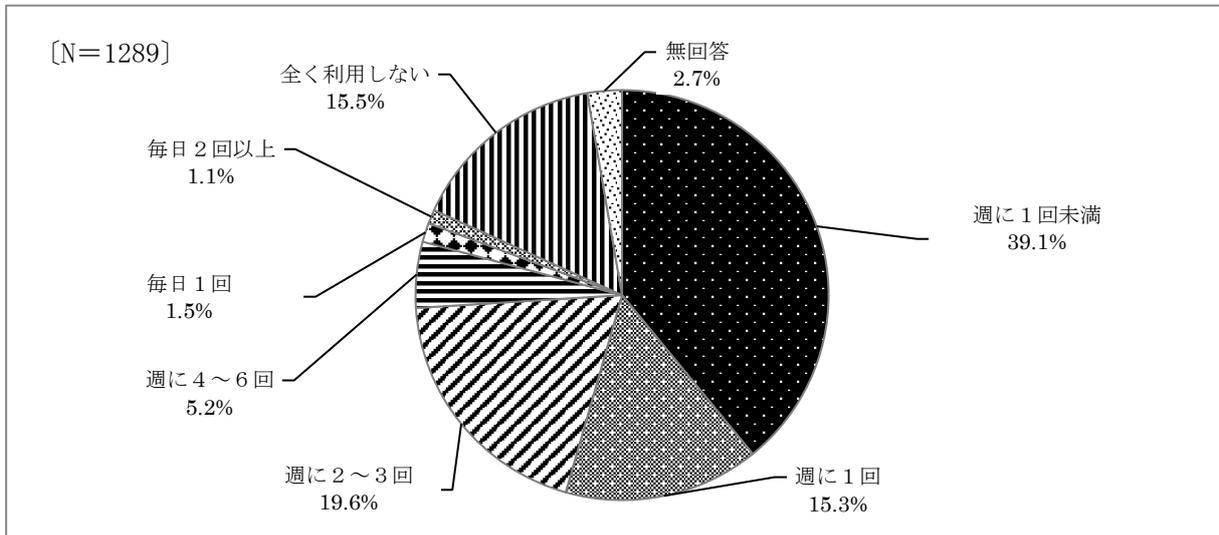
【性別、年代別、地区別の回答数】

			お店の雰囲気が好き	食べたいメニューがある	調理する時間がない	調理後の片付けが面倒	自分で食事を作るよりも安い	食材が無駄にならない	栄養バランスに配慮できる	会合やイベント	その他	無回答
	全体	2367	287	854	259	220	70	68	49	318	165	77
地区	河北	712	97	261	71	69	19	20	14	80	56	25
	河南	332	37	114	42	16	12	8	8	55	26	14
	盛南	344	44	128	40	35	9	6	7	46	18	11
	厨川	527	67	189	54	57	13	17	12	75	32	11
	都南	400	33	145	49	39	17	14	7	53	28	15
	玉山	52	9	17	3	4	0	3	1	9	5	1
性別	男	991	109	382	97	90	30	31	20	126	67	39
	女	1376	178	472	162	130	40	37	29	192	98	38
年齢	18～19歳	40	6	14	6	4	2	1	1	3	3	0
	20～29歳	181	23	75	26	24	1	2	4	18	8	0
	30～39歳	255	31	85	40	39	9	4	6	25	15	1
	40～49歳	375	45	135	58	46	10	5	5	52	17	2
	50～59歳	458	57	173	54	45	13	10	5	64	29	8
	60～69歳	432	58	168	34	22	10	10	8	74	36	12
	70歳以上	626	67	204	41	40	25	36	20	82	57	54

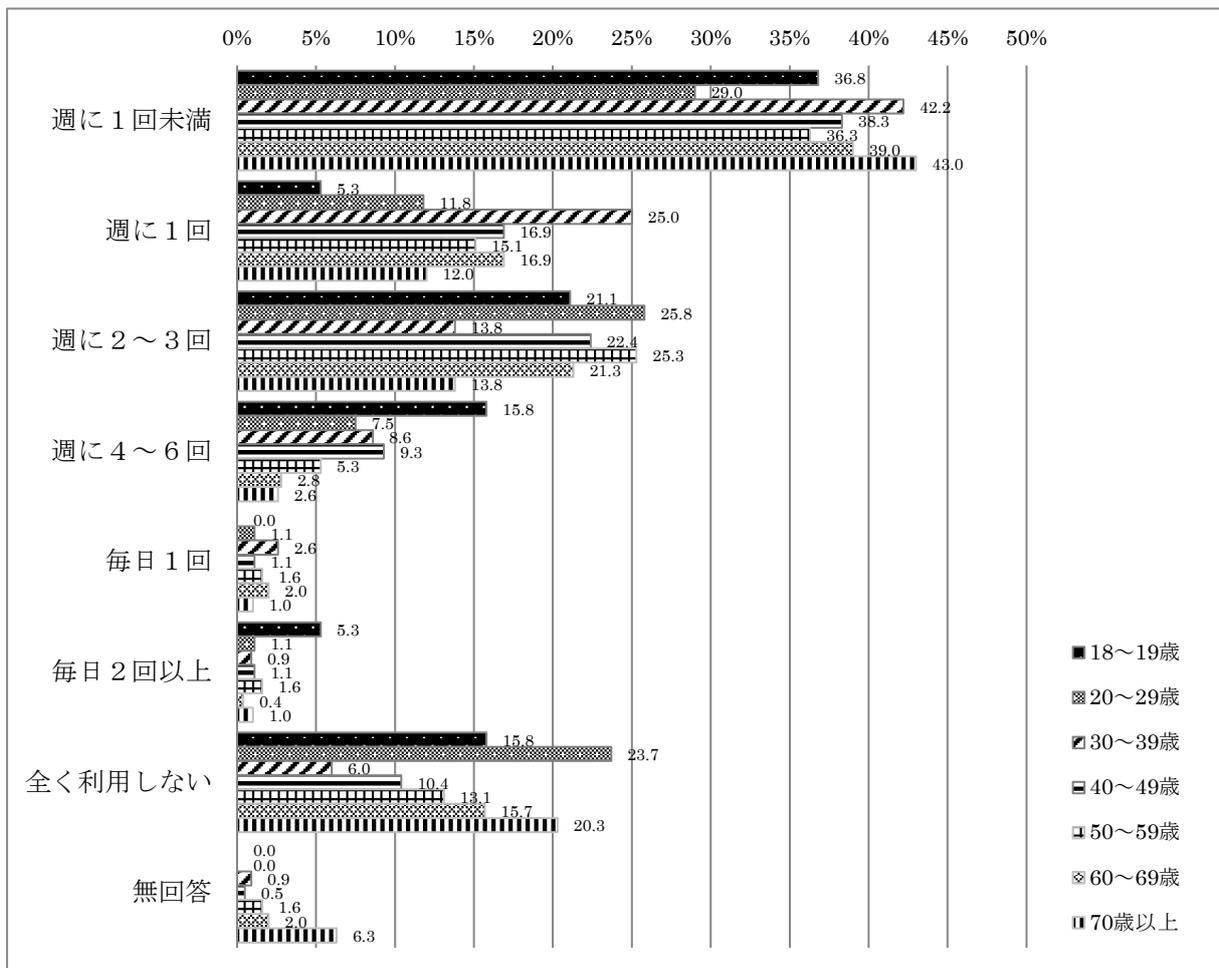
問3 あなたは、中食をどのくらい利用していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 週に1回未満 | 5 毎日1回 |
| 2 週に1回 | 6 毎日2回以上 |
| 3 週に2～3回 | 7 全く利用しない |
| 4 週に4～6回 | |

【全体】



【年代別】



中食を週1回以上利用する割合は、60代以上と比較して、働き世代が高いことが分かった。全ての年代で、中食を週に1回以上利用する者のうち半数以上が週に複数回利用しており、健康づくりのためには、健康に配慮した商品を選択する意識を若いうちから身に付けることが有効と考えられる。

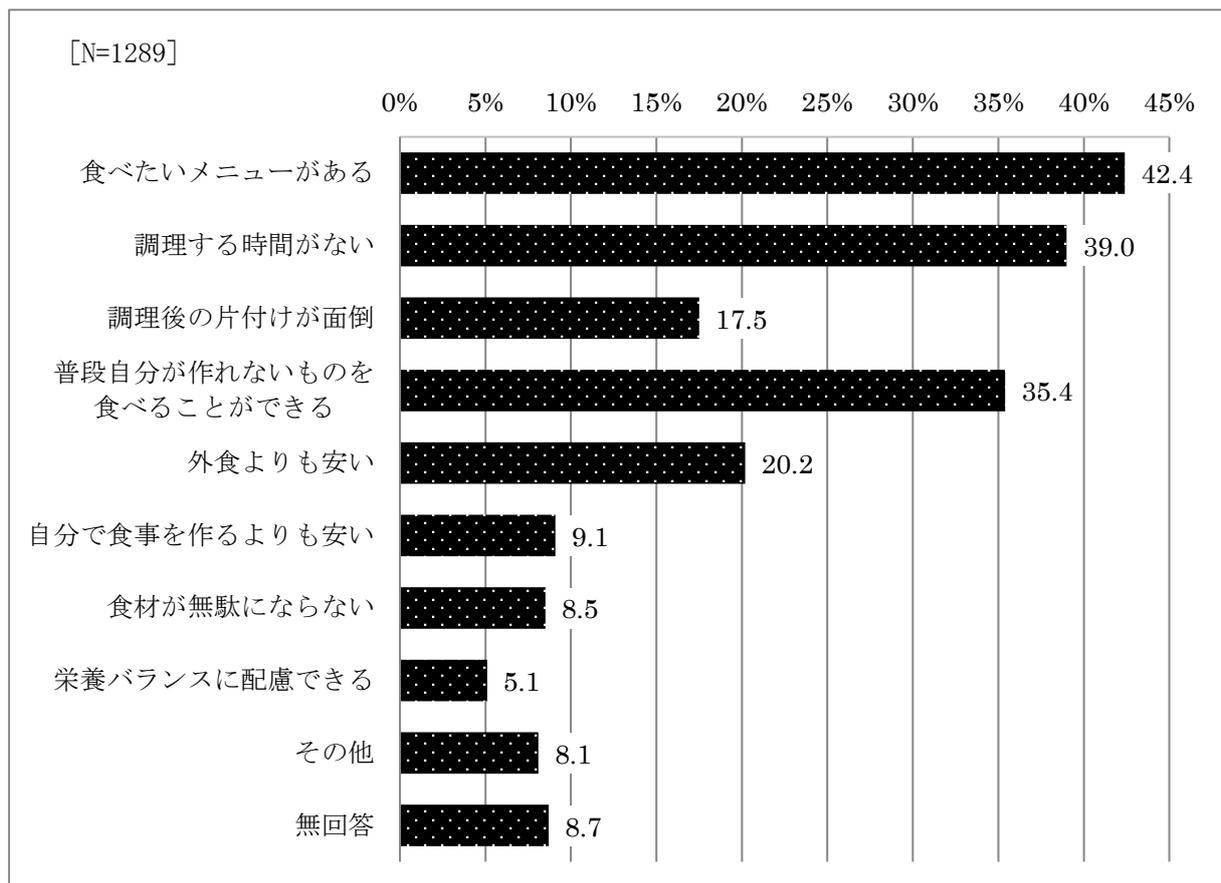
【性別、年代別、地区別の回答数】

			週に1回未満	週に1回	週に2～3回	週に4～6回	毎日1回	毎日2回以上	全く利用しない	無回答
	全体	1289	504	197	253	67	19	14	200	35
地区	河北	396	148	70	71	21	5	3	67	11
	河南	192	69	27	39	12	3	1	33	8
	盛南	174	72	31	34	10	4	1	21	1
	厨川	266	116	33	54	15	2	3	39	4
	都南	233	86	31	52	8	5	5	35	11
	玉山	28	13	5	3	1	0	1	5	0
性別	男	574	187	81	118	42	10	9	108	19
	女	715	317	116	135	25	9	5	92	16
年齢	18～19歳	19	7	1	4	3	0	1	3	0
	20～29歳	93	27	11	24	7	1	1	22	0
	30～39歳	116	49	29	16	10	3	1	7	1
	40～49歳	183	70	31	41	17	2	2	19	1
	50～59歳	245	89	37	62	13	4	4	32	4
	60～69歳	249	97	42	53	7	5	1	39	5
	70歳以上	384	165	46	53	10	4	4	78	24

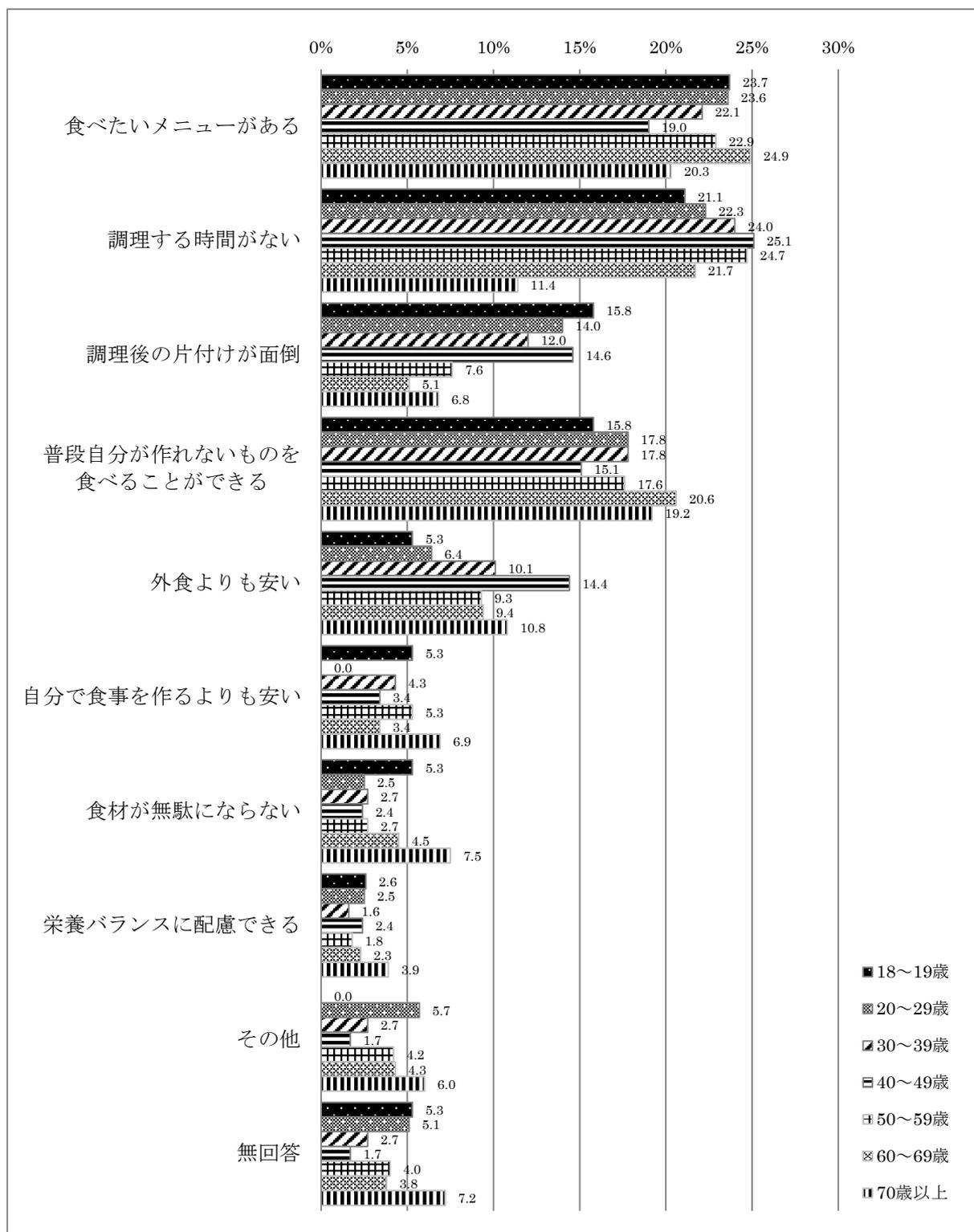
問4 あなたは、中食を利用するとき、どのような理由で利用しますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 食べたいメニューがある | 5 外食よりも安い |
| 2 調理する時間がない | 6 自分で食事を作るよりも安い |
| 3 調理後の片付けが面倒 | 7 食材が無駄にならない |
| 4 普段自分が作れないものを食べることができる | 8 栄養バランスに配慮できる |
| | 9 その他 () |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

中食を利用する理由の上位3つは、「食べたいメニューがある」「調理する時間がない」「普段自分が作れないものを食べることができる」という理由であった。「調理する時間がない」は、特に働き世代の30代～50代の割合が高く、より簡便に食事を準備できる時短ニーズが高まっていることが考えられる。

このことから、健康づくりのためには、惣菜などを提供する店舗と協力することで、健康に配慮した食事を利用者が自然と手にすることができる環境づくりが有効と考えられる。

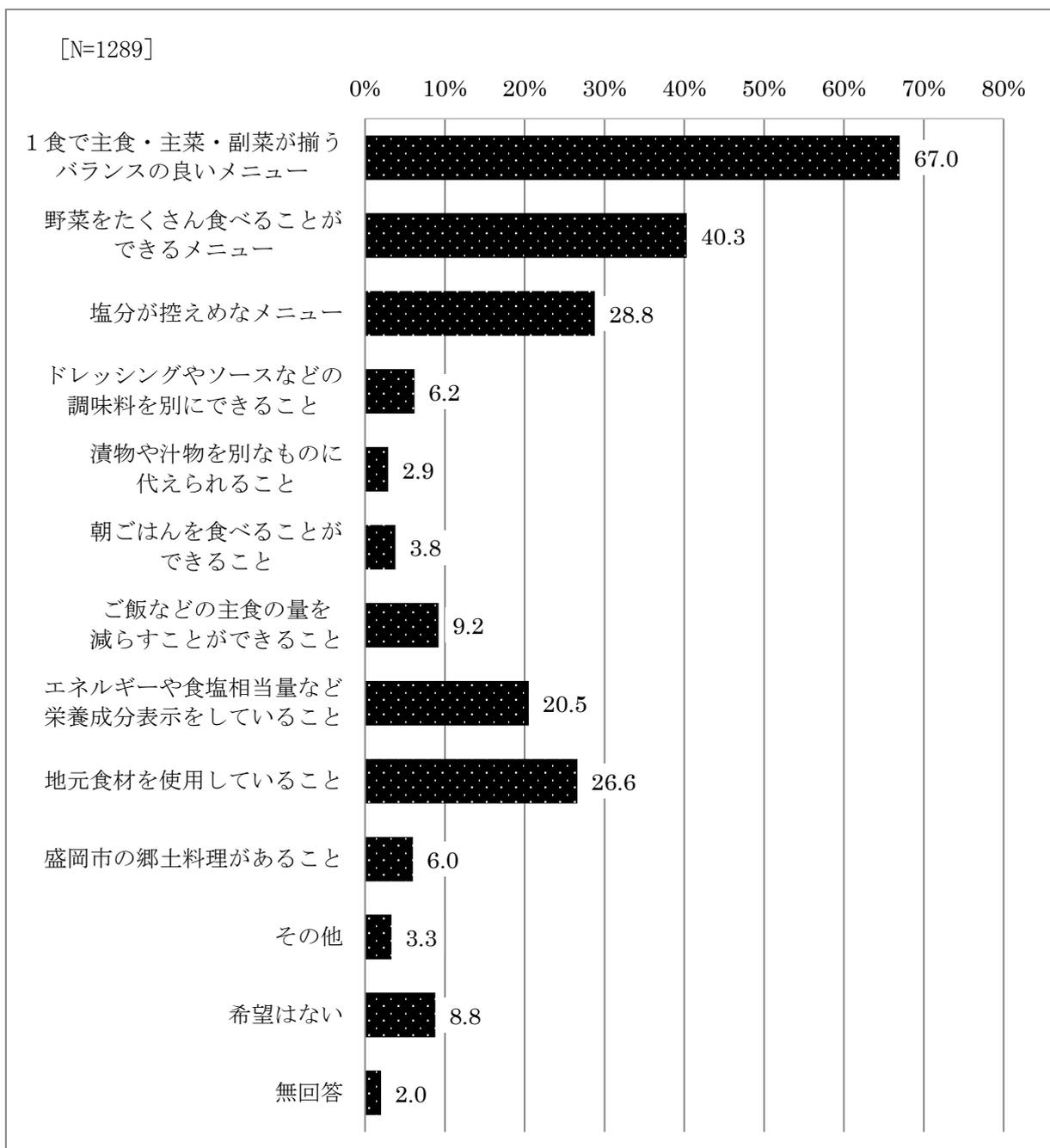
【性別、年代別、地区別の回答数】

			食 べ た い メ ニ ュ ー が あ る	調 理 す る 時 間 が な い	調 理 後 の 片 付 け が 面 倒	普 段 自 分 が 作 れ な い も の を 食 べ る こ と が で き る	外 食 よ り も 安 い	自 分 で 食 事 を 作 る よ り も 安 い	食 材 が 無 駄 に な ら な い	栄 養 バ ラ ン ス に 配 慮 で き る	そ の 他	無 回 答
	全体	2503	547	503	226	456	261	117	110	66	105	112
地区	河北	765	181	133	65	153	79	35	27	18	33	41
	河南	353	74	77	26	63	37	19	17	7	15	18
	盛南	364	72	84	47	62	41	13	15	8	9	13
	厨川	546	121	104	46	101	60	29	31	17	23	14
	都南	425	87	93	39	67	41	20	17	14	23	24
	玉山	50	12	12	3	10	3	1	3	2	2	2
性別	男	1034	244	180	101	158	123	47	40	35	46	60
	女	1469	303	323	125	298	138	70	70	31	59	52
年齢	18～19歳	38	9	8	6	6	2	2	2	1	0	2
	20～29歳	157	37	35	22	28	10	0	4	4	9	8
	30～39歳	258	57	62	31	46	26	11	7	4	7	7
	40～49歳	410	78	103	60	62	59	14	10	10	7	7
	50～59歳	450	103	111	34	79	42	24	12	8	19	18
	60～69歳	470	117	102	24	97	44	16	21	11	20	18
	70歳以上	720	146	82	49	138	78	50	54	28	43	52

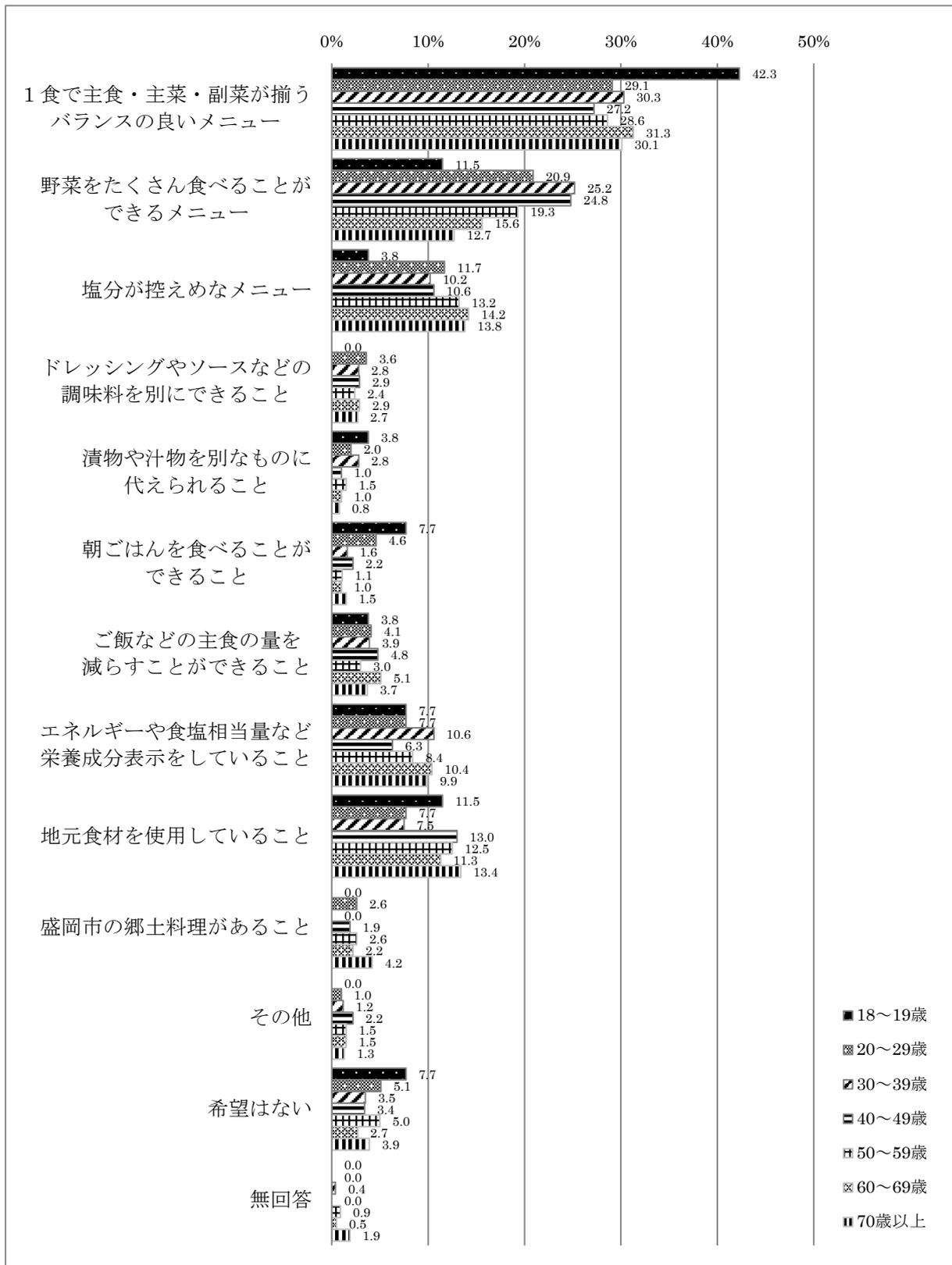
問5 あなたは、健康づくりや食育のために、飲食店や市販の弁当などにどのようなことを望みますか。当てはまるものに**3つまで○**を付けてください。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 1食で主食・主菜・副菜が揃うバランスの良いメニュー | 6 朝ごはんを食べることができること |
| 2 野菜をたくさん食べることができるメニュー | 7 ご飯などの主食の量を減らすことができること |
| 3 塩分が控えめなメニュー | 8 エネルギーや食塩相当量など栄養成分表示をしていること |
| 4 ドレッシングやソースなどの調味料を別にできること | 9 地元食材を使用していること |
| 5 漬物や汁物を別なものに代えられること | 10 盛岡市の郷土料理があること |
| | 11 その他 () |
| | 12 希望はない |

【全体】



【年代別】



全ての年代で「1食で主食・主菜・副菜が揃うバランスの良いメニュー」を望む人の割合が最も高かった。また、多くの年代で「野菜をたくさん食べることができるメニュー」を望んでいる人の割合が高かった。塩分の控えめなメニューを望む割合は、50代以上の年代で高かった。

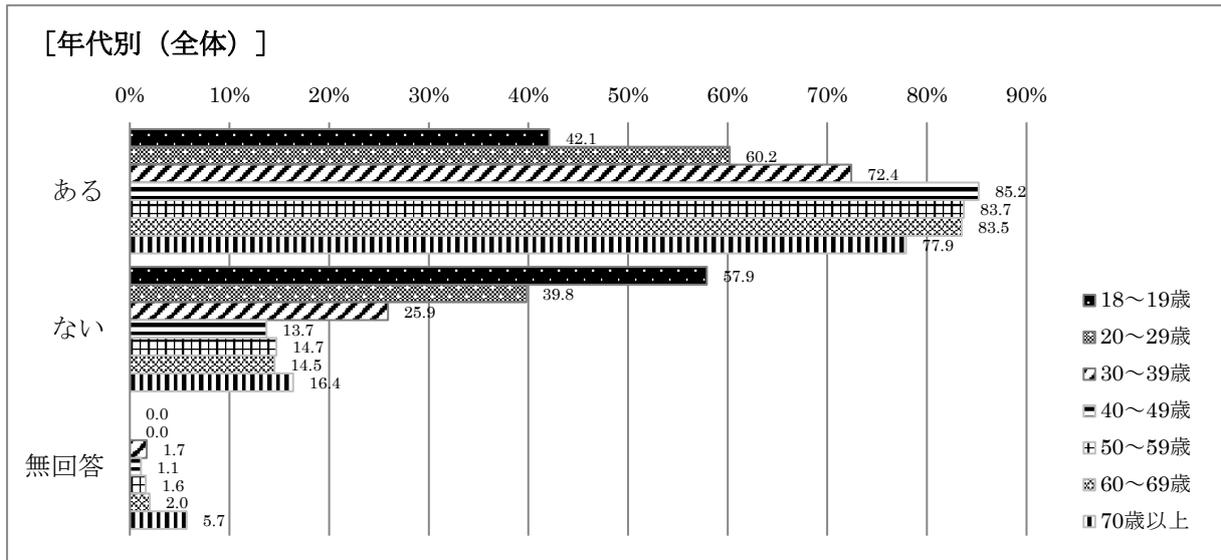
【全体を通じて】

「バランスの良いメニュー」「野菜たっぷりメニュー」「減塩メニュー」を望んでいる人の割合が高いことから、それらを提供する飲食店や販売店を増やし、自然に健康になれる食環境の整備が望まれる。

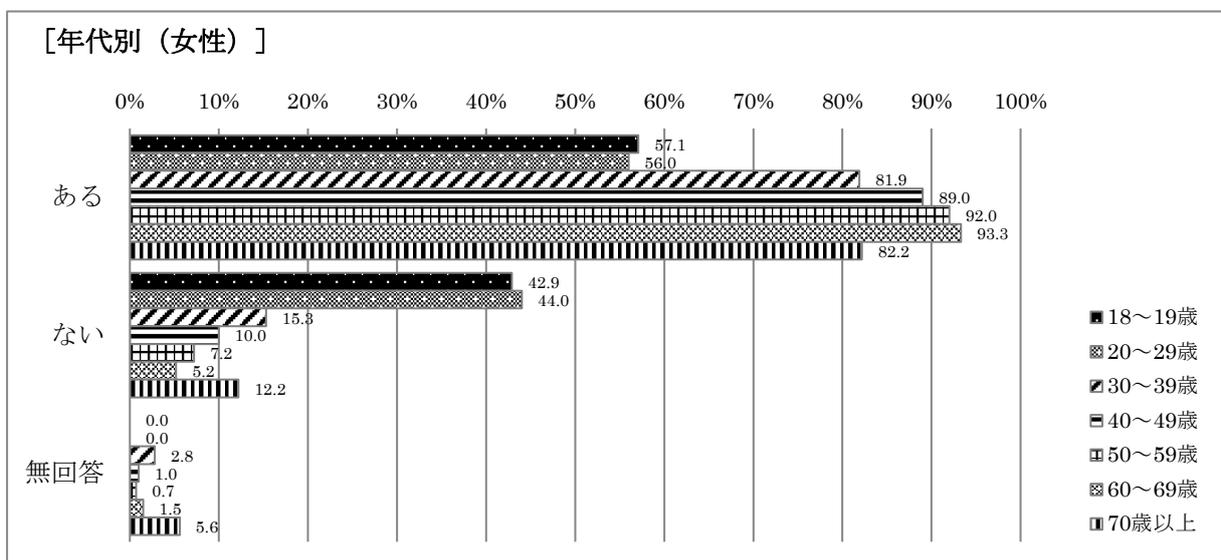
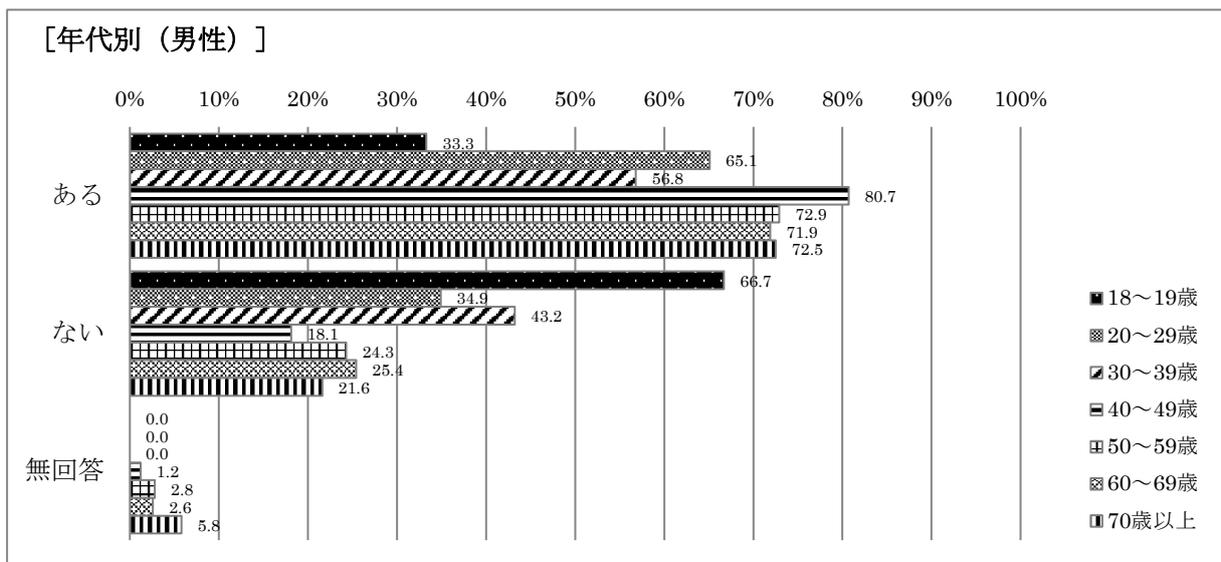
【性別、年代別、地区別の回答数】

			1食で主食・主菜・副菜が揃う バランスの良いメニュー	野菜をたくさん食べることが できるメニュー	塩分が控えめなメニュー	ドレッシングやソースなどの 調味料を別にできること	漬物や汁物を別なものに 代えられること	朝ごはんを食べることが できること	ご飯などの主食の量を 減らすことができること	エネルギーや食塩相当量など 栄養成分を表示していること	地元食材を使用していること	盛岡市の郷土料理があること	その他	希望はない	無回答
	全体	2903	863	519	371	80	37	49	118	264	343	77	43	113	26
地区	河北	914	265	165	115	28	10	13	44	86	112	20	14	33	9
	河南	429	131	82	51	11	3	6	15	35	56	18	5	13	3
	盛南	399	119	73	51	5	6	8	21	42	43	8	9	13	1
	厨川	608	182	110	78	23	8	11	22	57	72	17	9	17	2
	都南	495	149	82	68	12	9	10	16	37	50	12	6	33	11
	玉山	58	17	7	8	1	1	1	0	7	10	2	0	4	0
性別	男	1208	371	188	153	34	18	33	45	90	136	28	21	76	15
	女	1695	492	331	218	46	19	16	73	174	207	49	22	37	11
年齢	18～19歳	26	11	3	1	0	1	2	1	2	3	0	0	2	0
	20～29歳	196	57	41	23	7	4	9	8	15	15	5	2	10	0
	30～39歳	254	77	64	26	7	7	4	10	27	19	0	3	9	1
	40～49歳	416	113	103	44	12	4	9	20	26	54	8	9	14	0
	50～59歳	538	154	104	71	13	8	6	16	45	67	14	8	27	5
	60～69歳	584	183	91	83	17	6	6	30	61	66	13	9	16	3
	70歳以上	889	268	113	123	24	7	13	33	88	119	37	12	35	17

【年代別】



40代以上では「ある」が80%程度であり、購入時の産地表示に関心があると見受けられる。一方で、20代では60.2%、30代では72.4%に留まっており、盛岡産食材の認知度の更なる向上を目指すためには、若い世代への啓発活動などが必要と考えられる。



盛岡産食材への意識が高い30代以上女性を対象として情報発信等を行うことで、施策の有効性を高められると考えられる。

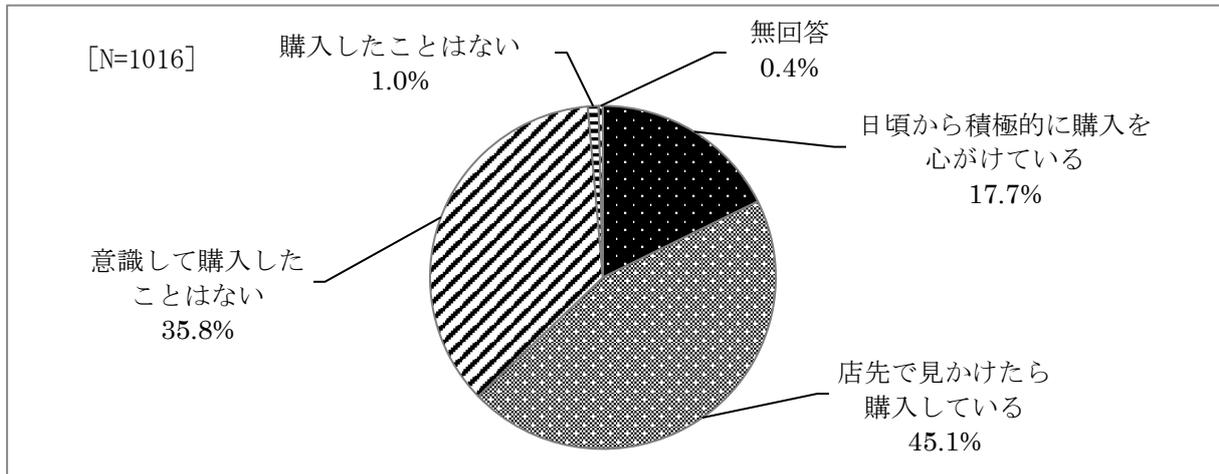
【性別、年代別、地区別の回答数】

			ある	ない	無回答
	全体	1289	1016	238	35
地区	河北	396	306	77	13
	河南	192	157	30	5
	盛南	174	145	27	2
	厨川	266	205	59	2
	都南	233	177	44	12
	玉山	28	26	1	1
性別	男	574	408	149	17
	女	715	608	89	18
年齢	18～19歳	19	8	11	0
	20～29歳	93	56	37	0
	30～39歳	116	84	30	2
	40～49歳	183	156	25	2
	50～59歳	245	205	36	4
	60～69歳	249	208	36	5
	70歳以上	384	299	63	22

問7 問6で「1 ある」を選んだ方にお聞きします。あなたは、盛岡産農畜産物を意識して購入していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

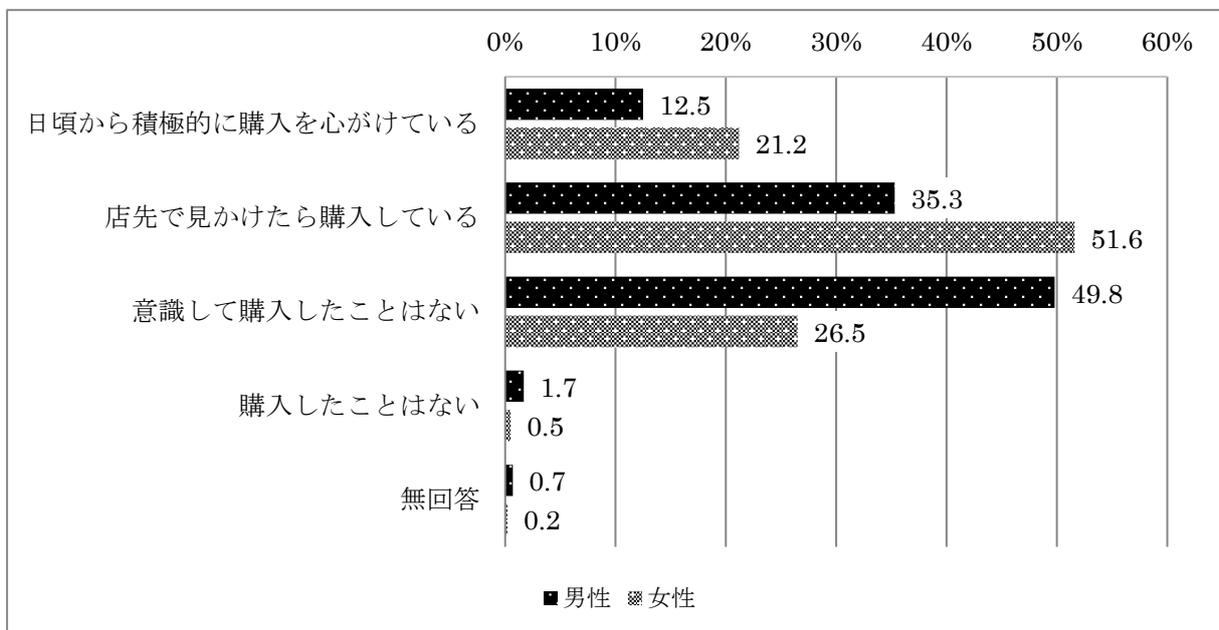
- 1 日頃から積極的に購入を心掛けている
- 2 店先で見かけたら購入している
- 3 意識して購入したことはない
- 4 購入したことはない

【全体】



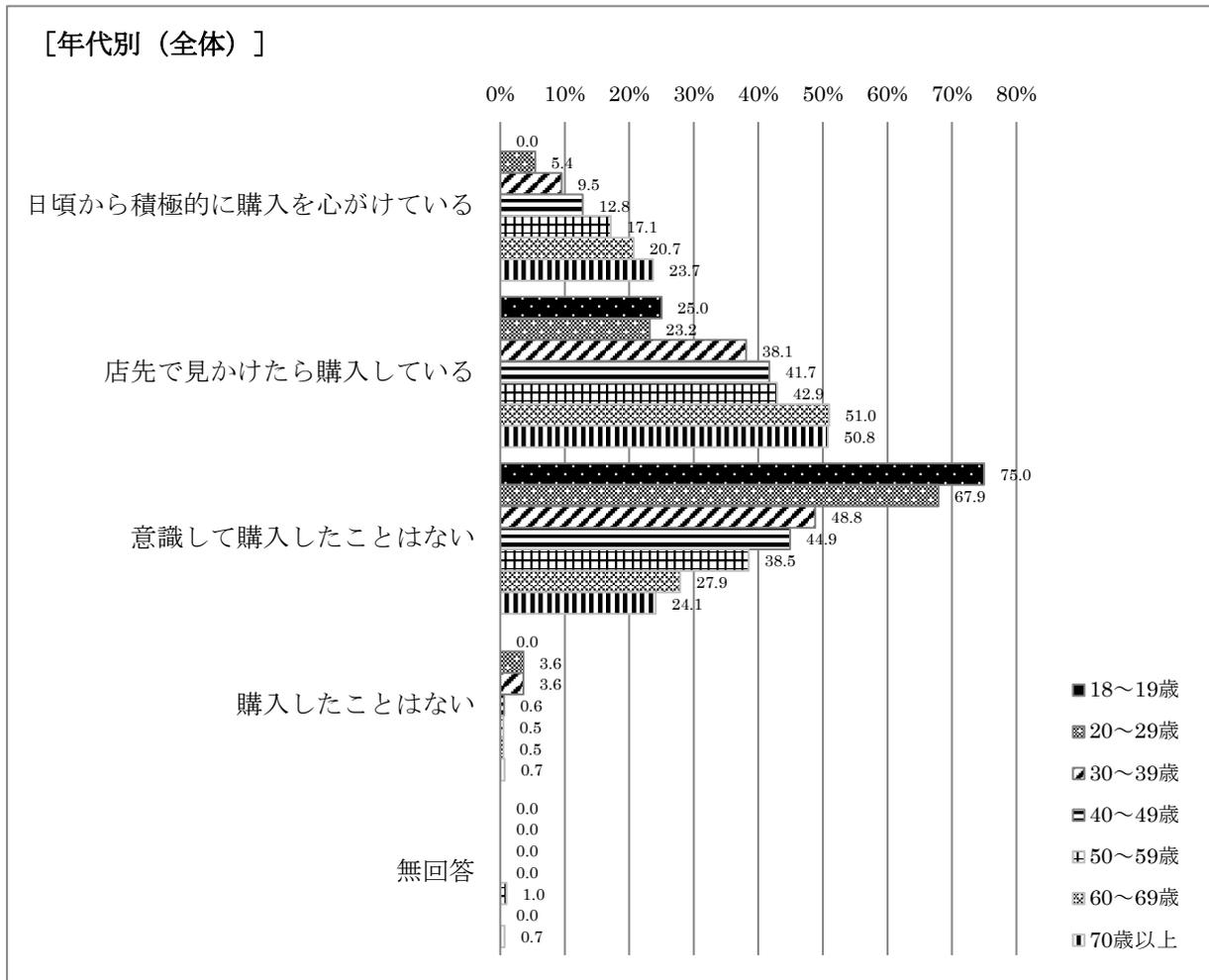
盛岡産農畜産物を意識して購入する方は62.8%であり、半数以上の人は盛岡産食材の消費に積極的だと考えられる。そのうち「店先で見かけたら購入する」という回答は45.1%であり、盛岡産農畜産物の消費拡大を目指すためには、小売り現場でのPR（ポップやミニのぼりなど）が有効だと考えられる。

【性別】

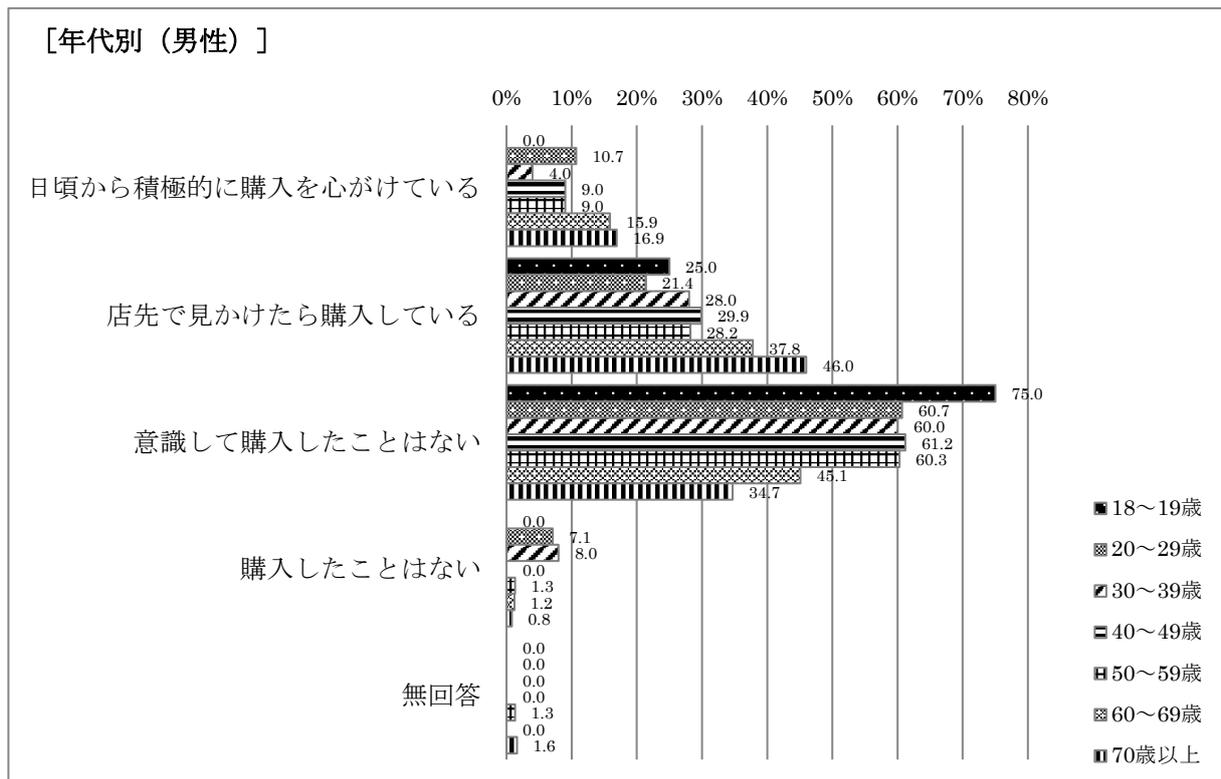


意識して購入する人の割合（「日頃から積極的に購入を心掛けている」「店先で見かけたら購入している」のいずれかを選んだ割合）が、女性は72.8%である一方、男性は47.8%であり、女性の方が地産地消に積極的だと考えられる。

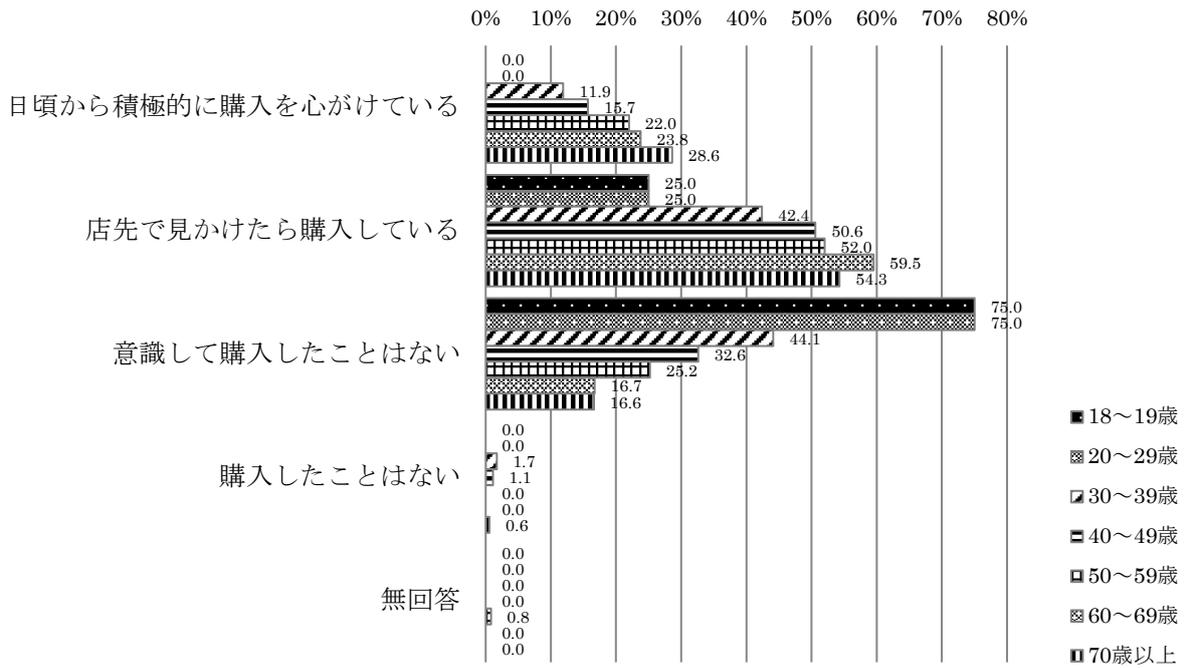
【年代別】



30代以上は意識して購入する方がおおむね半数以上である一方、20代では30%を下回っているため、20代よりも若い世代に盛岡産農畜産物に関する啓発活動などが必要だと考えられる。



[年代別（女性）]



性別、年代別の傾向から、盛岡産食材への意識が高い30代以上の女性を対象として情報発信等を行うことで、施策の有効性を高められると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

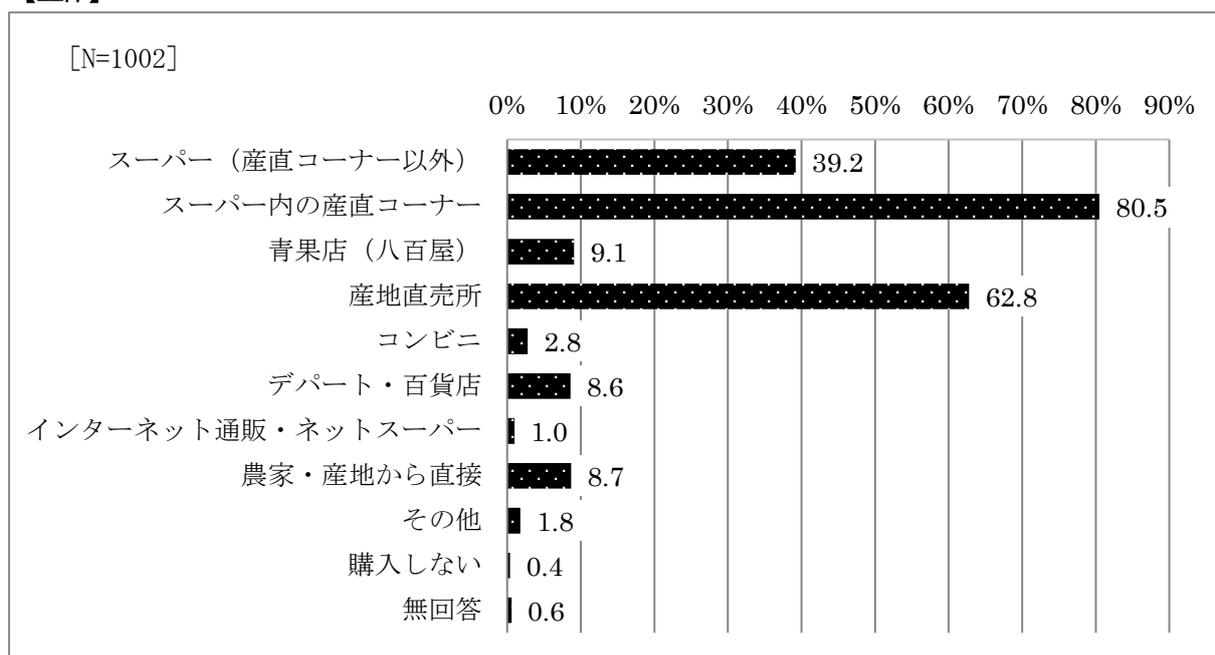
		日頃から積極的に購入を心掛けている	店先で見かけたら購入している	意識して購入したことはない	購入したことはない	無回答
全体	全体	1016	180	458	364	10
	地区					
地区	河北	306	60	148	92	6
	河南	157	27	75	51	1
	盛南	145	20	65	58	1
	厨川	205	34	85	86	0
	都南	177	30	79	66	2
	玉山	26	9	6	11	0
	性別	男	408	51	144	203
女		608	129	314	161	3
年齢	18～19歳	8	0	2	6	0
	20～29歳	56	3	13	38	2
	30～39歳	84	8	32	41	3
	40～49歳	156	20	65	70	1
	50～59歳	205	35	88	79	1
	60～69歳	208	43	106	58	1
	70歳以上	299	71	152	72	2

問8 問7で「1 日頃から積極的に購入を心掛けている」「2 店先で見かけたら購入している」「3 意識して購入したことはない」を選んだ方にお聞きします。

あなたは、盛岡産農畜産物をどこで購入していますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

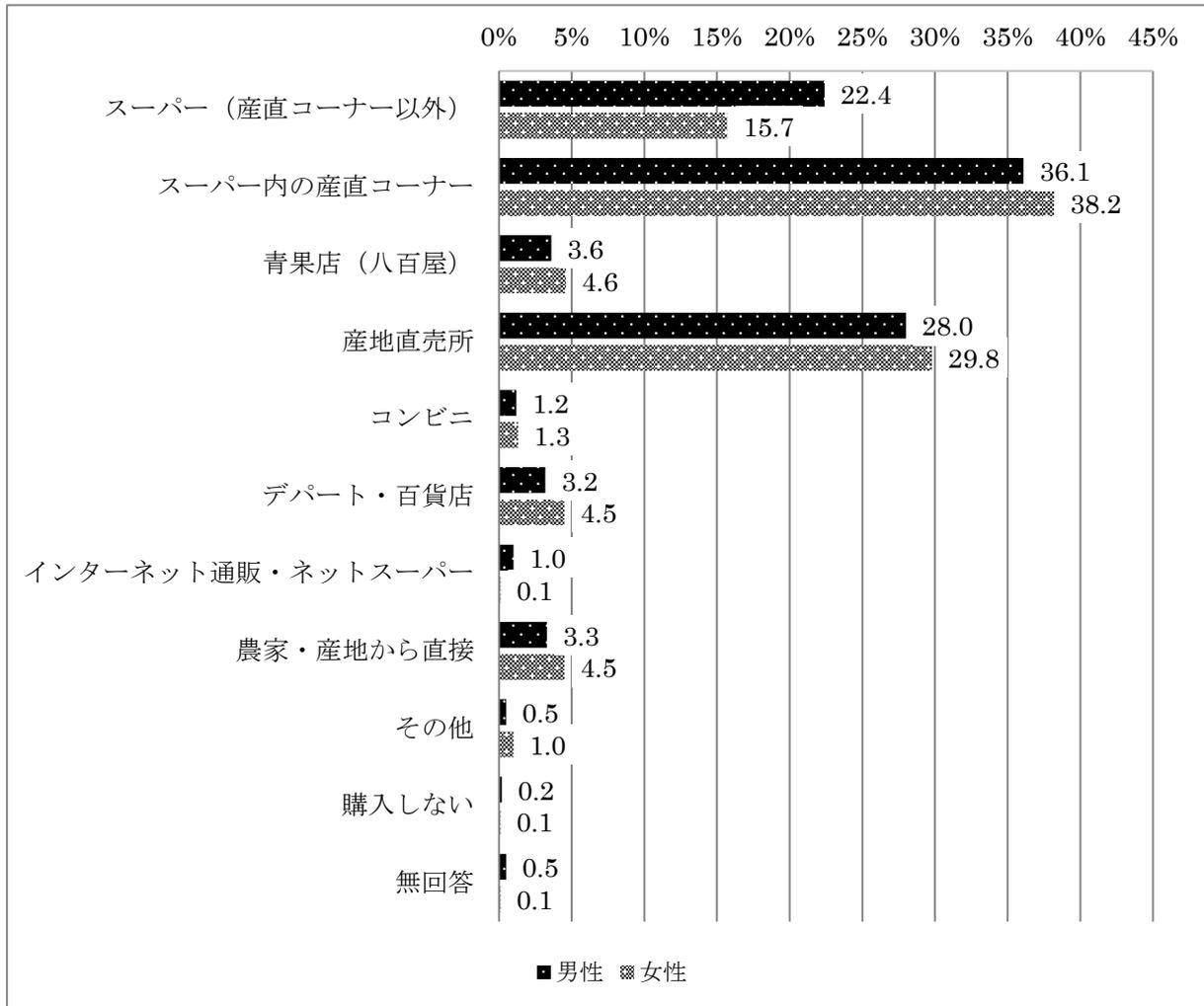
- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 スーパー（産直コーナー以外） | 6 デパート・百貨店 |
| 2 スーパー内の産直コーナー | 7 インターネット通販・ネットスーパー |
| 3 青果店（八百屋） | 8 農家・産地から直接 |
| 4 産地直売所 | 9 その他（ ） |
| 5 コンビニ | 10 購入しない |

【全体】



盛岡産食材を購入する場所は回答が多い順に「スーパー内の産直コーナー」が80.5%、「産地直売所」が62.8%、「スーパー（産直コーナー以外）」が39.2%と続き、4番目以降は10%を下回っている。上位3か所とそれ以外に大きな差があることが確認できるため、この3か所を中心としたPRが有効だと考えられる。

【性別】



女性は男性に比べて「スーパー内の産直コーナー」や「産地直売所」で購入している人が多く、日常的な購入場所において、より地元産を意識している傾向がみられる。

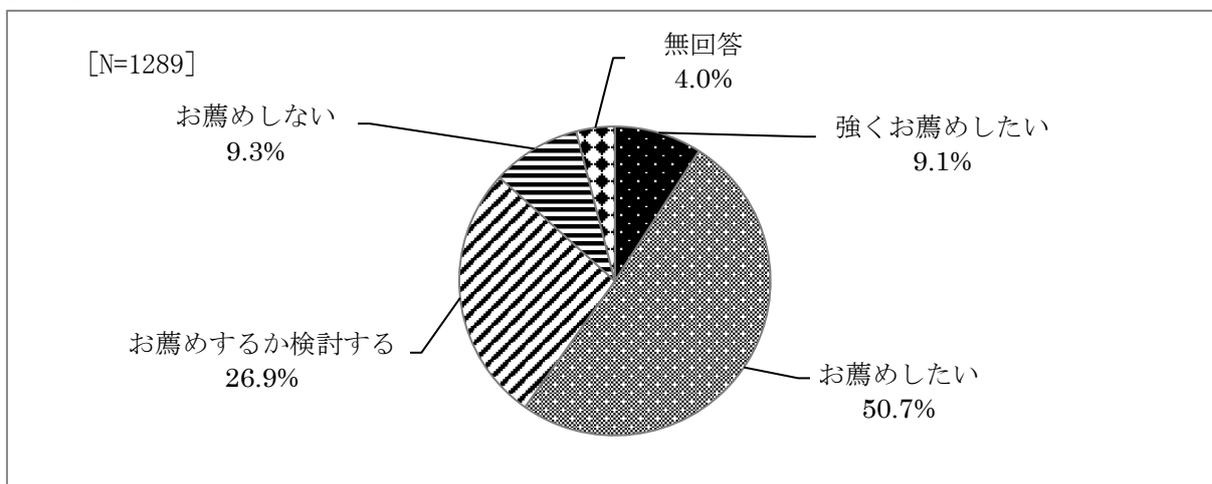
【性別、年代別、地区別の回答数】

			スーパー (産直コーナー以外)	スーパー内の産直コーナー	青果店 (八百屋)	産地直売所	コンビニ	デパート・百貨店	インターネット通販・ネットスーパー	農家・産地から直接	その他	購入しない	無回答
	全体	2159	393	807	91	629	28	86	10	87	18	4	6
地区	河北	681	116	248	47	184	7	42	2	26	6	2	1
	河南	338	56	128	17	86	8	18	2	16	5	1	1
	盛南	297	54	116	2	100	3	9	2	10	1	0	0
	尉川	426	92	162	13	121	6	8	3	14	3	1	3
	都南	361	63	138	10	118	4	8	1	16	2	0	1
	玉山	56	12	15	2	20	0	1	0	5	1	0	0
性別	男	812	182	293	29	227	10	26	8	27	4	2	4
	女	1347	211	514	62	402	18	60	2	60	14	2	2
年齢	18～19歳	19	5	6	3	4	1	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	108	33	40	2	25	1	3	1	0	1	1	1
	30～39歳	156	29	68	6	44	3	2	0	3	0	0	1
	40～49歳	339	64	133	11	97	7	12	1	12	2	0	0
	50～59歳	438	76	163	16	132	6	17	3	15	6	2	2
	60～69歳	470	75	173	19	141	6	22	3	25	5	0	1
	70歳以上	629	111	224	34	186	4	30	2	32	4	1	1

問9 あなたは盛岡産農畜産物を家族・友人・知人に今後お薦めしますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

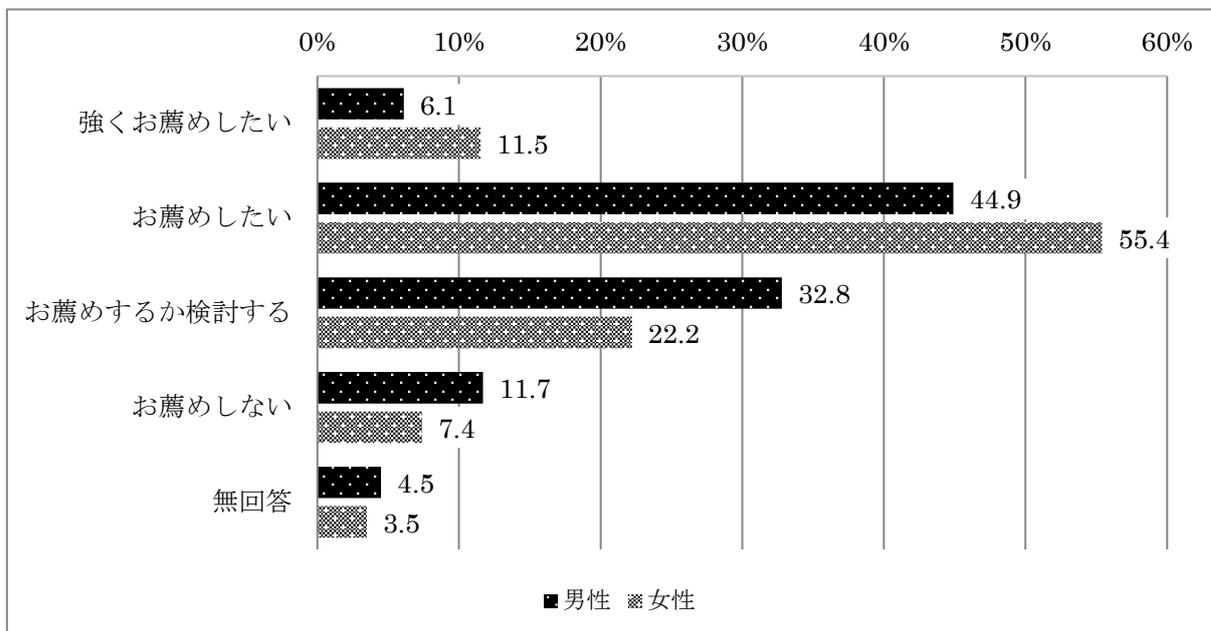
- 1 強くお薦めしたい
- 2 お薦めしたい
- 3 お薦めするか検討する
- 4 お薦めしない

【全体】



「強くお薦めしたい」又は「お薦めしたい」という回答が59.8%であり、半数以上の方が盛岡産食材の周知に積極的だと考えられる。市としては、お薦めしたくなるような食材や生産者の情報を発信する必要がある。

【年代別】



「強くお薦めしたい」又は「お薦めしたい」を選んだ割合が、女性は66.9%である一方、男性は51.0%であり、女性の方が情報の2次拡散に積極的だと見受けられる。

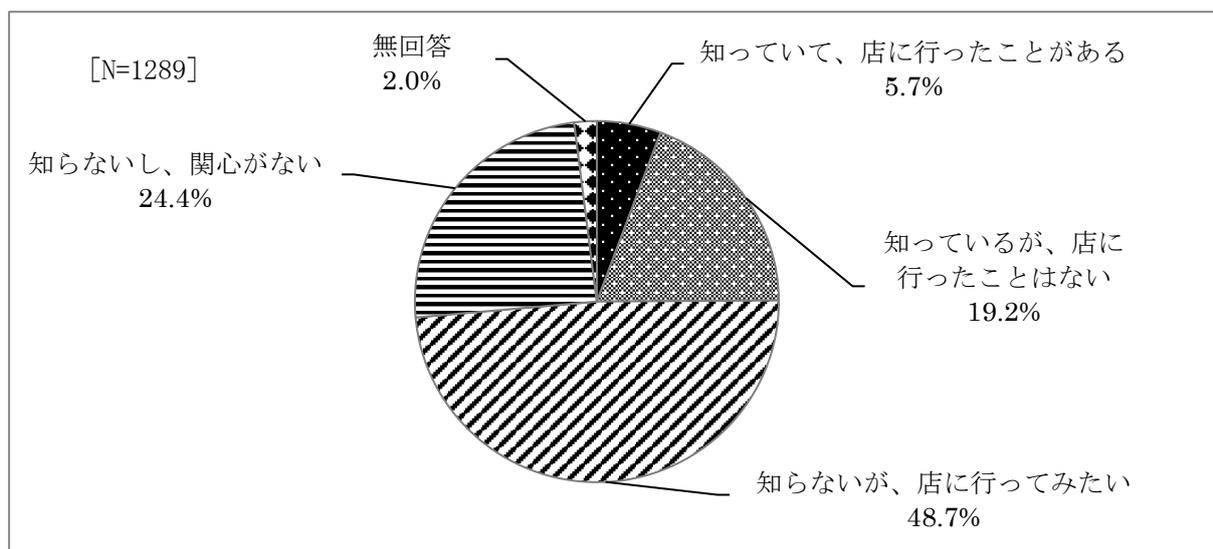
【性別、年代別、地区別の回答数】

			強くお薦めしたい	お薦めしたい	お薦めするか検討する	お薦めしない	無回答
	全体	1289	117	654	347	120	51
地区	河北	396	38	203	100	39	16
	河南	192	19	101	49	18	5
	盛南	174	13	91	48	16	6
	厨川	266	21	137	77	24	7
	都南	233	22	107	66	22	16
	玉山	28	4	15	7	1	1
性別	男	574	35	258	188	67	26
	女	715	82	396	159	53	25
年齢	18～19歳	19	1	8	7	3	0
	20～29歳	93	6	36	42	9	0
	30～39歳	116	9	49	46	10	2
	40～49歳	183	21	103	44	13	2
	50～59歳	245	28	124	68	21	4
	60～69歳	249	21	141	57	21	9
	70歳以上	384	31	193	83	43	34

問10 あなたは、盛岡の特産農畜産物を活用した創作メニューを提供する飲食店「盛岡の美味しいもんアンバサダー」を知っていますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

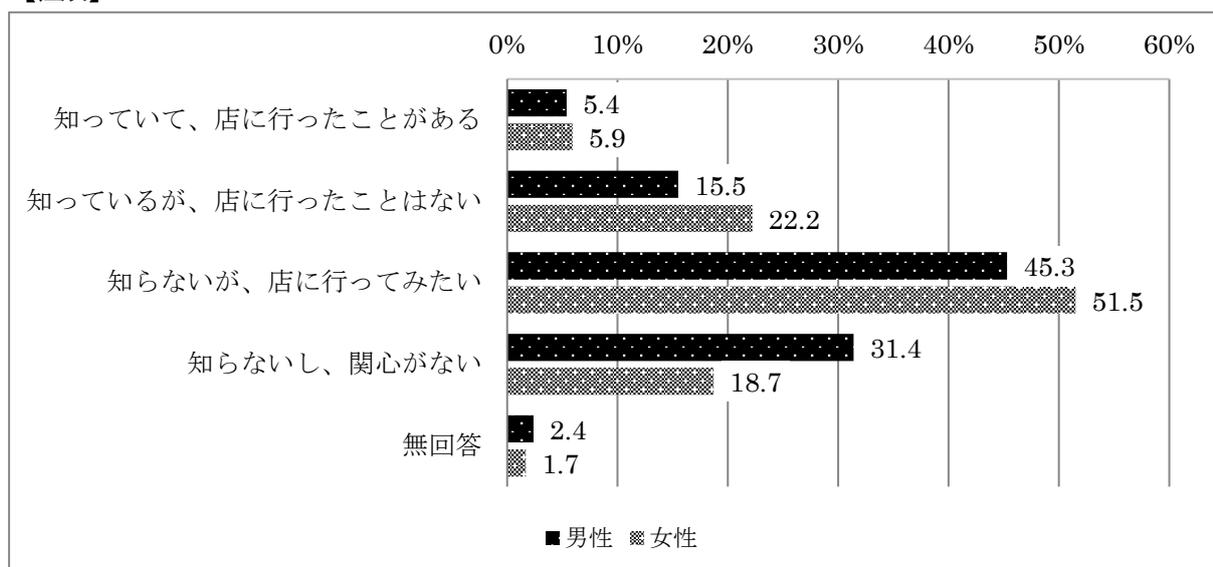
- 1 知っていて、店に行ったことがある
- 2 知っているが、店に行ったことはない
- 3 知らないが、店に行ってみいたい
- 4 知らないし、関心がない

【全体】



「盛岡の美味しいもんアンバサダー」を知っている方は24.9%であり、周知が不足していると思われる。「知らないが、店に行ってみいたい」という回答は48.7%であり、潜在的なニーズは高いと考えられるので、認知度向上に取り組む必要がある。

【性別】



「知っていて、店に行ったことがある」と回答した人は男女ではほぼ同率だったが、女性では「知っているが、店に行ったことはない」「知らないが、店に行ってみいたい」と答えた人が多く、一方で男性では「知らないし、関心がない」と答えた人が多かった。女性をターゲットにして、盛岡産食材を使用したメニューや、催事等、実際に店舗等に足を運びたいくなるような情報発信が効果的であると考えられる。

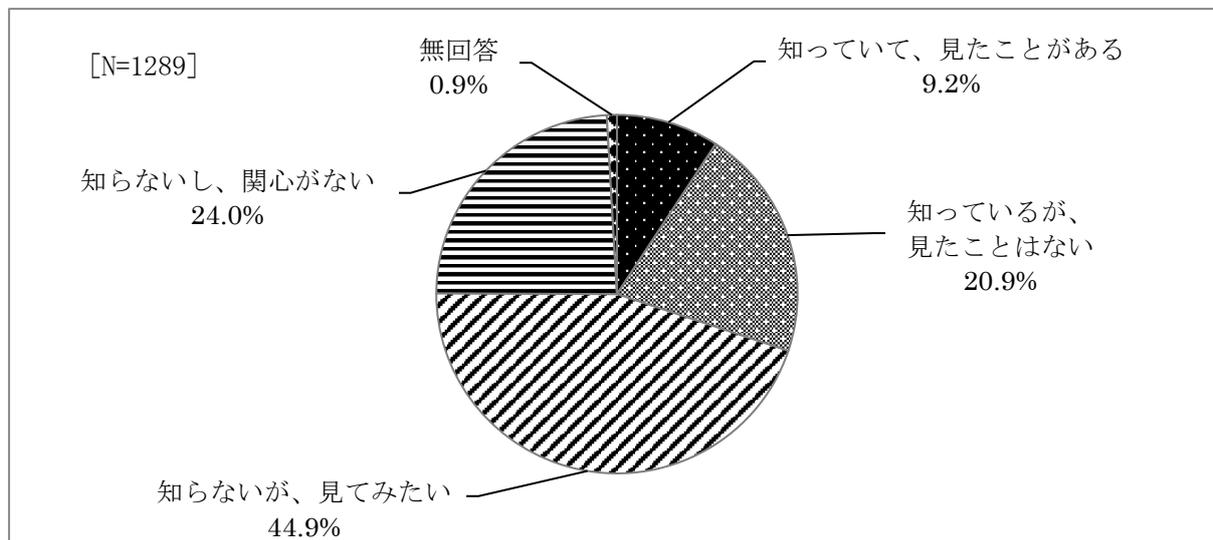
【性別、年代別、地区別の回答数】

			知っていて、店に行ったことがある	知っているが、店に行ったことはない	知らないが、店に行ってみたい	知らないし、関心がない	無回答
	全体	1289	73	248	628	314	26
地区	河北	396	26	78	185	98	9
	河南	192	17	42	92	38	3
	盛南	174	8	34	95	36	1
	厨川	266	13	42	135	73	3
	都南	233	4	47	108	64	10
	玉山	28	5	5	13	5	0
性別	男	574	31	89	260	180	14
	女	715	42	159	368	134	12
年齢	18～19歳	19	0	1	10	8	0
	20～29歳	93	1	14	48	30	0
	30～39歳	116	6	17	57	35	1
	40～49歳	183	12	31	94	46	0
	50～59歳	245	17	45	122	56	5
	60～69歳	249	11	63	132	39	4
	70歳以上	384	26	77	165	100	16

問11 あなたは、盛岡の食と農の魅力発信ウェブサイト「美食王国もりおか」を知っていますか。
 当てはまるもの1つに○を付けてください。

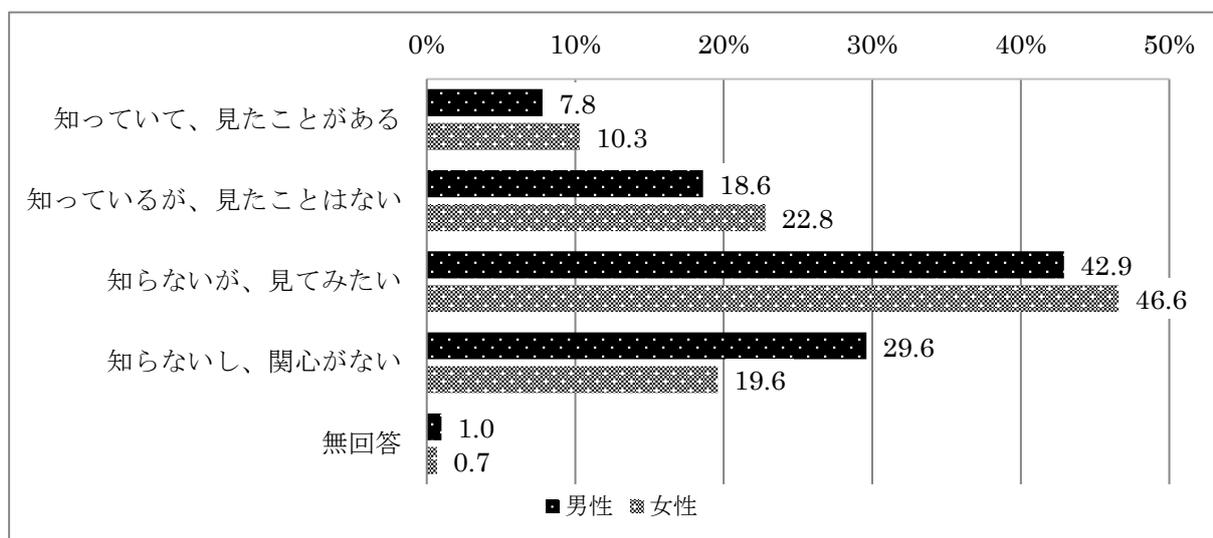
- 1 知っていて、見たことがある
- 2 知っているが、見たことはない
- 3 知らないが、見てみたい
- 4 知らないし、関心がない

【全体】



ウェブサイト「美食王国もりおか」を知っている方は30.1%であり、周知が不足していると思われる。「知らないが、見てみたい」という回答は44.9%であり、ニーズはあると考えられるので、更なる認知度向上に取り組む必要がある。

【性別】



男女ともに知らないと答える人が過半数となったが、そのうちの多くが見てみたいと答えている。ウェブサイト「美食王国もりおか」自体の周知を図るとともに、実際のウェブサイト閲覧に誘導することで、魅力の発信や新たなファン獲得につながる可能性が考えられる。

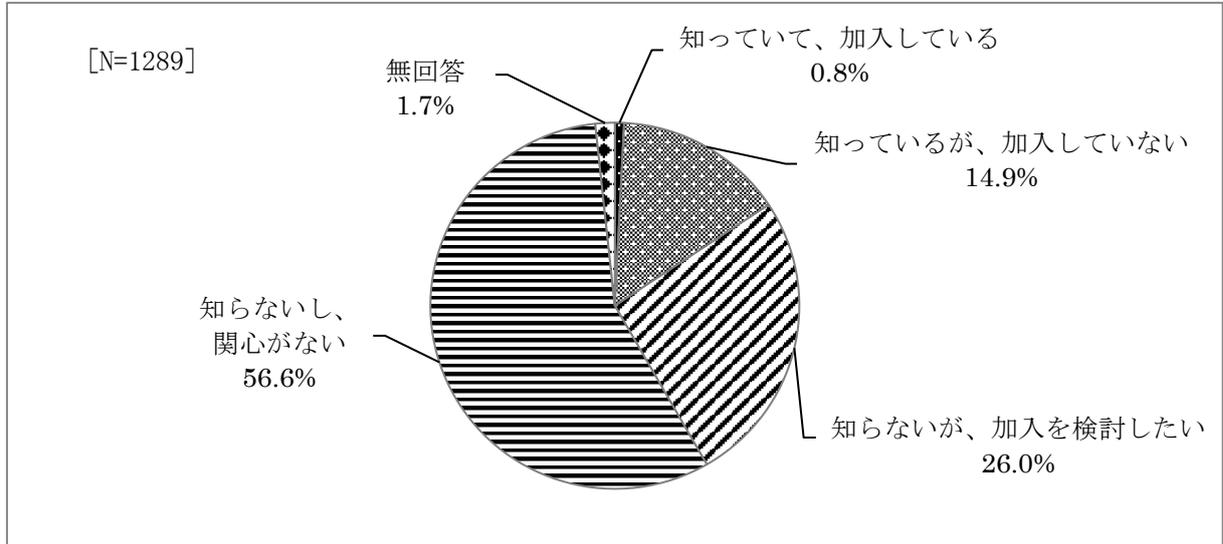
【性別、年代別、地区別の回答数】

			知っていて、 見たことがある	知っているが、 見たことはない	知らないが、 見てみたい	知らないし、 関心がない	無回答
	全体	1289	119	270	579	310	11
地区	河北	396	37	88	174	92	5
	河南	192	31	38	79	43	1
	盛南	174	14	36	83	41	0
	厨川	266	16	51	135	63	1
	都南	233	18	52	92	67	4
	玉山	28	3	5	16	4	0
性別	男	574	45	107	246	170	6
	女	715	74	163	333	140	5
年齢	18～19歳	19	0	3	8	8	0
	20～29歳	93	7	16	43	27	0
	30～39歳	116	13	24	42	36	1
	40～49歳	183	17	35	83	48	0
	50～59歳	245	23	51	118	52	1
	60～69歳	249	31	63	113	41	1
	70歳以上	384	28	78	172	98	8

問12 あなたは、盛岡の食と農を応援するファン組織「美食王国もりおかファンクラブ」を知っていますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

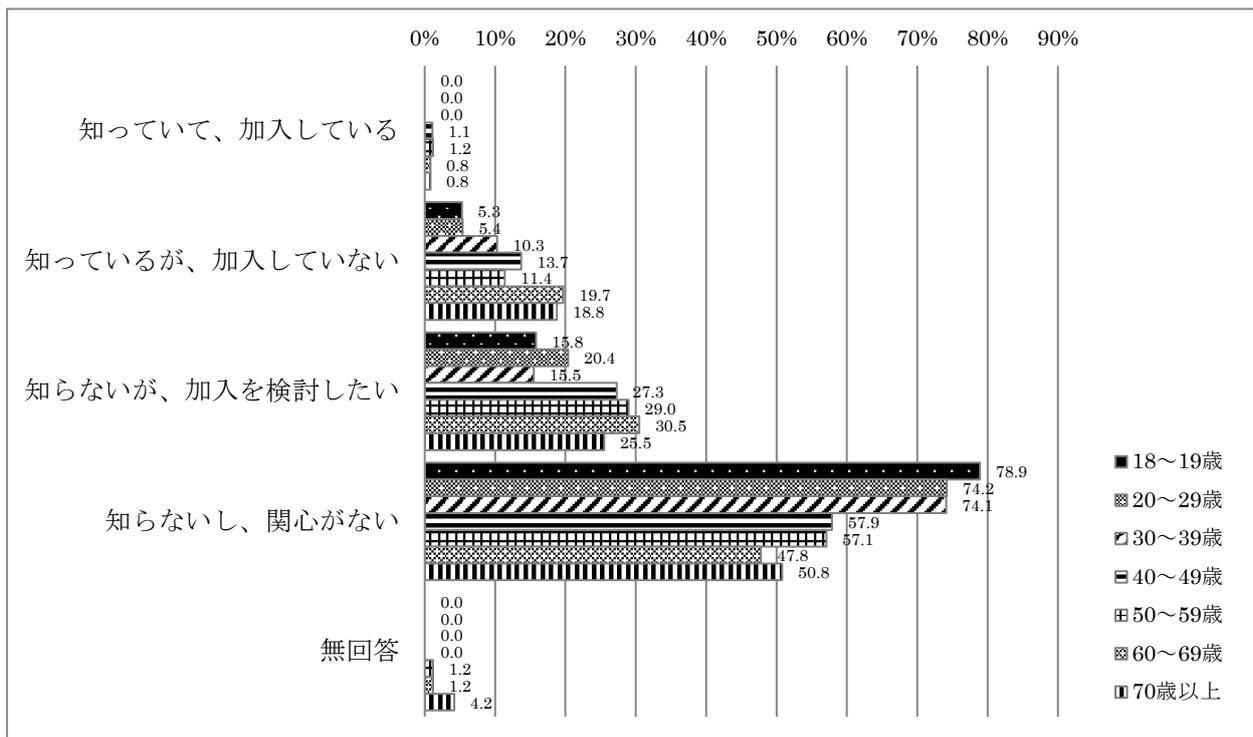
- 1 知っていて、加入している
- 2 知っているが、加入していない
- 3 知らないが、加入を検討したい
- 4 知らないし、関心がない

【全体】



「美食王国もりおかファンクラブ」へ加入している方は0.8%であり、ウェブサイトの認知度（問11の結果）と比較しても少ないといえる。「知っているが加入していない」が14.9%であること、「知らないし、関心がない」が56.6%であることから、ニーズも少ないと考えられる。ファンクラブという形にこだわらず、盛岡の「食と農」に関する情報発信する方法を検討する必要がある。

【年代別】



30代以下では「知らないし、関心がない」という回答が7割を超えており、ファンクラブという形にこだわらず、Instagramなどのツールを使ったアプローチを考える必要がある。

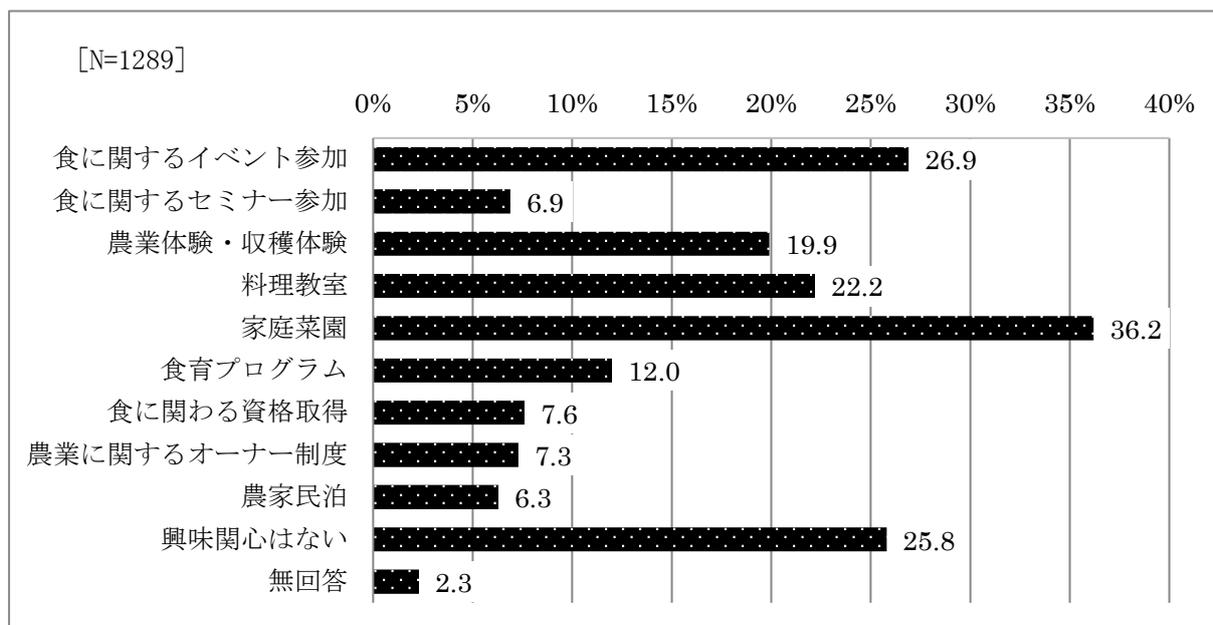
【性別、年代別、地区別の回答数】

			知っていて、 加入している	知っているが、 加入していない	知らないが、 加入を検討したい	知らないし、 関心がない	無回答
	全体	1289	10	192	335	730	22
地区	河北	396	4	58	109	216	9
	河南	192	3	42	49	98	0
	盛南	174	0	19	51	101	3
	厨川	266	0	35	66	158	7
	都南	233	3	33	49	145	3
	玉山	28	0	5	11	12	0
性別	男	574	4	82	133	349	6
	女	715	6	110	202	381	16
年齢	18～19歳	19	0	1	3	15	0
	20～29歳	93	0	5	19	69	0
	30～39歳	116	0	12	18	86	0
	40～49歳	183	2	25	50	106	0
	50～59歳	245	3	28	71	140	3
	60～69歳	249	2	49	76	119	3
	70歳以上	384	3	72	98	195	16

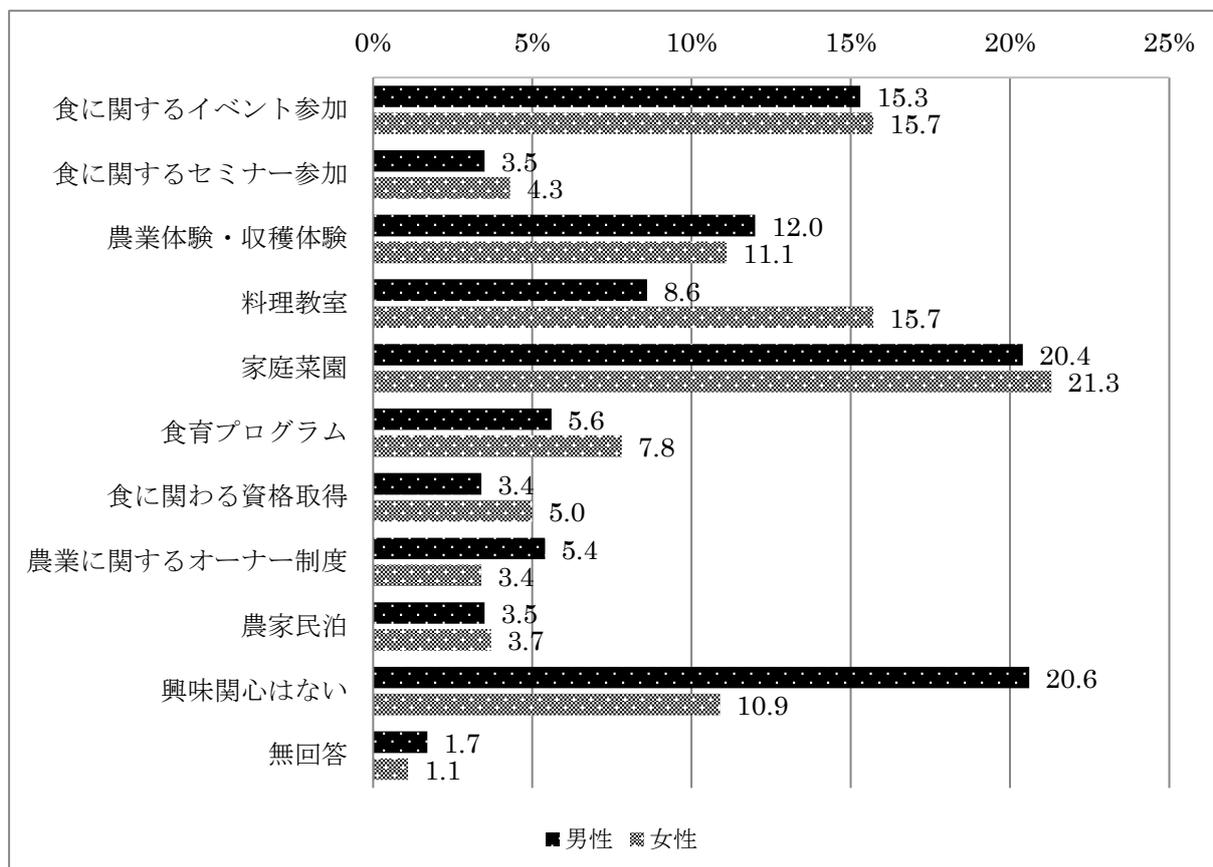
問13 あなたは、食・農業についてどのようなことに興味関心がありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 食に関するイベント参加 | 6 食育プログラム |
| 2 食に関するセミナー参加 | 7 食に関わる資格取得 |
| 3 農業体験・収穫体験 | 8 農業に関するオーナー制度 |
| 4 料理教室 | 9 農家民泊 |
| 5 家庭菜園 | 10 興味関心はない |

【全体】



【性別】



男女ともに「家庭菜園」への関心が高く、女性においては「食に関するイベント参加」「料理教室」と回答した人の割合が高い一方で、男性は「興味関心はない」と答えた人の割合が最も高くなっている。

【全体を通じて】

自身で体験できるようなコンテンツが求められていると考えられることから、食・農業をより身近に感じられるような参加型イベントなどの情報を広報やウェブサイト等において広く発信するとともに、ターゲットに応じた内容や方法を取ることで、より効果的に訴求すると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

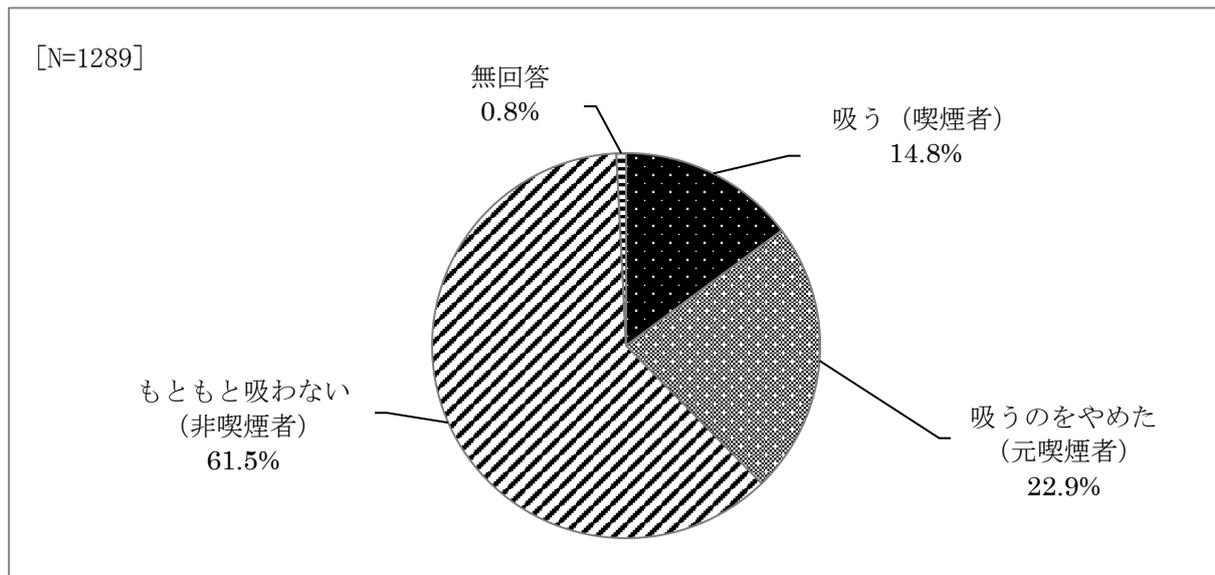
			食に関するイベント参加	食に関するセミナー参加	農業体験・収穫体験	料理教室	家庭菜園	食育プログラム	食に関わる資格取得	農業に関するオーナー制度	農家民泊	興味関心はない	無回答
	全体	2235	347	89	256	286	467	155	98	94	81	332	30
地区	河北	695	110	31	82	90	150	48	26	32	27	92	7
	河南	338	60	15	33	47	65	18	17	12	9	56	6
	盛南	300	52	14	27	41	63	25	14	11	10	41	2
	厨川	475	70	12	62	57	109	34	25	19	21	61	5
	都南	383	50	14	48	47	66	28	16	17	13	75	9
	玉山	44	5	3	4	4	14	2	0	3	1	7	1
性別	男	908	139	32	109	78	185	51	31	49	32	187	15
	女	1327	208	57	147	208	282	104	67	45	49	145	15
年齢	18～19歳	22	3	0	2	2	3	1	1	0	0	10	0
	20～29歳	163	21	2	22	21	24	14	12	4	12	31	0
	30～39歳	261	36	9	37	34	43	26	31	4	11	30	0
	40～49歳	383	49	14	59	62	69	31	18	20	16	43	2
	50～59歳	420	73	19	51	45	82	26	20	19	10	71	4
	60～69歳	410	71	19	40	63	96	30	6	20	12	50	3
	70歳以上	576	94	26	45	59	150	27	10	27	20	97	21

《テーマ3 禁煙支援・受動喫煙防止について》

問14 あなたはたばこを吸いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

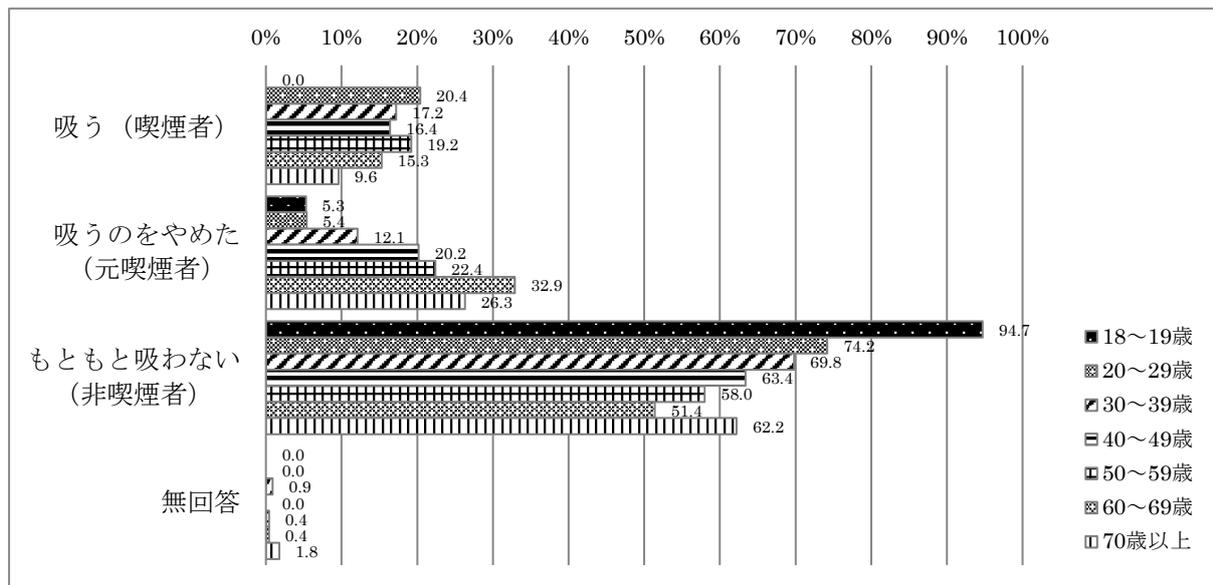
- 1 吸う（喫煙者）
- 2 吸うのをやめた（元喫煙者）
- 3 もともと吸わない（非喫煙者）

【全体】



「吸う」は14.8%であり、第2次もりおか健康21プランの目標値である12.0%には到達していない。

【年代別】



「吸う」は20代が20.4%で最も割合が高く、年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。また、「吸うのをやめた」は20代が5.4%で、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあることがわかった。

【全体を通じて】

引き続き、たばこをやめたい市民に対する禁煙支援を実施するとともに、禁煙支援の内容を年代別で調整するなど、より効果的な支援方法を検討する必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			吸う (喫煙者)	吸うのをやめた (元喫煙者)	もともと吸わない (非喫煙者)	無回答
	全体	1289	191	295	793	10
地区	河北	396	58	82	253	3
	河南	192	32	48	110	2
	盛南	174	24	45	104	1
	厨川	266	41	66	158	1
	都南	233	32	49	149	3
	玉山	28	4	5	19	0
性別	男	574	137	224	207	6
	女	715	54	71	586	4
年齢	18～19歳	19	0	1	18	0
	20～29歳	93	19	5	69	0
	30～39歳	116	20	14	81	1
	40～49歳	183	30	37	116	0
	50～59歳	245	47	55	142	1
	60～69歳	249	38	82	128	1
	70歳以上	384	37	101	239	7

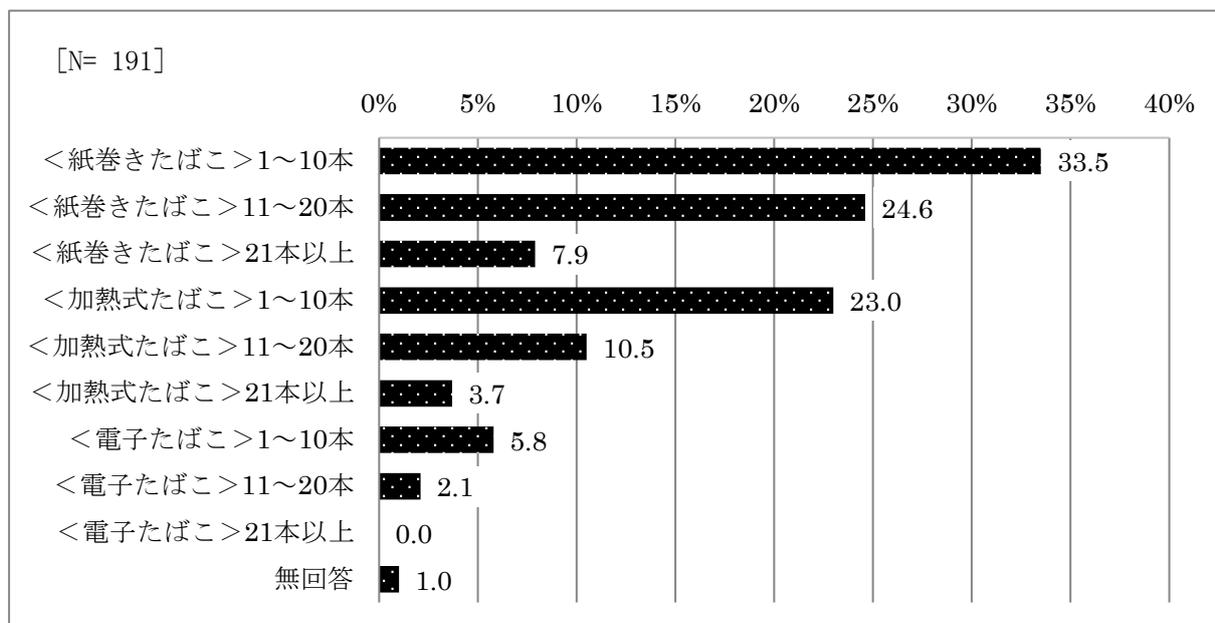
問15 問14で「1 吸う（喫煙者）」を選んだ方にお聞きします。

たばこ種類と1日当たりの吸う頻度について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

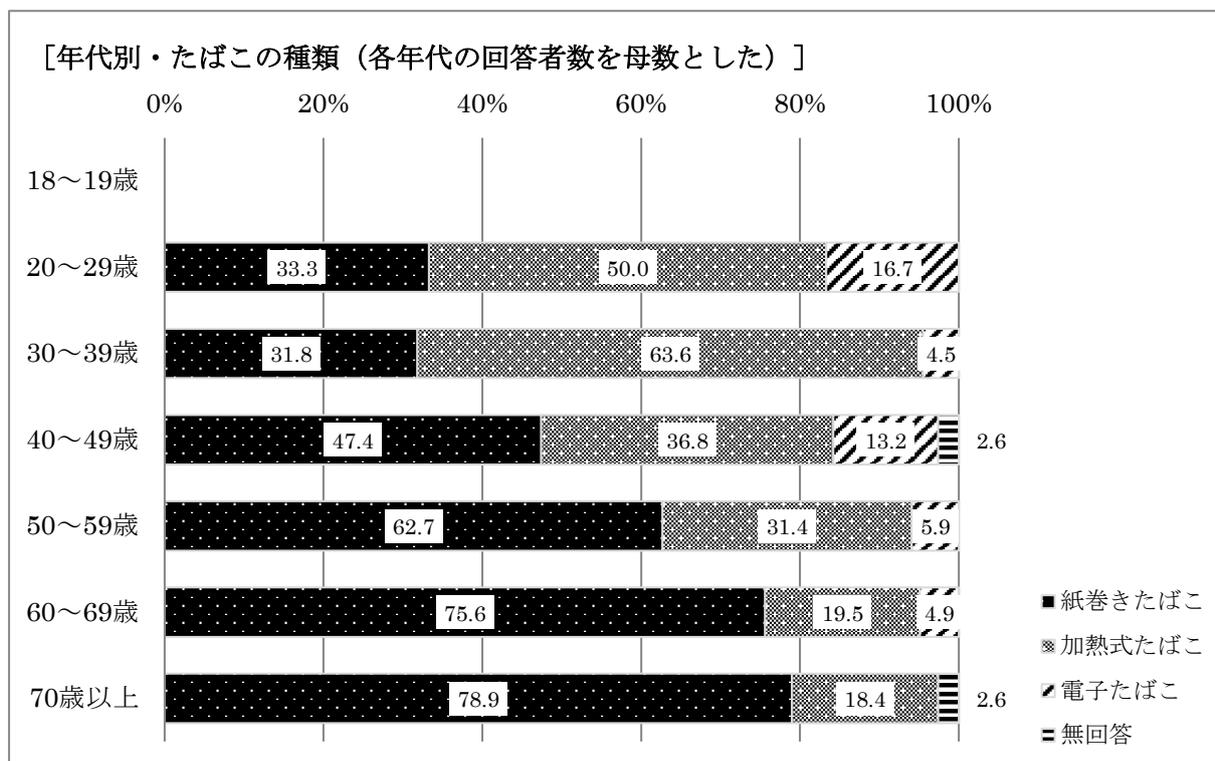
<紙巻きたばこ>		<加熱式たばこ>		<電子たばこ>	
1	1～10本	4	1～10本	7	1～10本
2	11～20本	5	11～20本	8	11～20本
3	21本以上	6	21本以上	9	21本以上

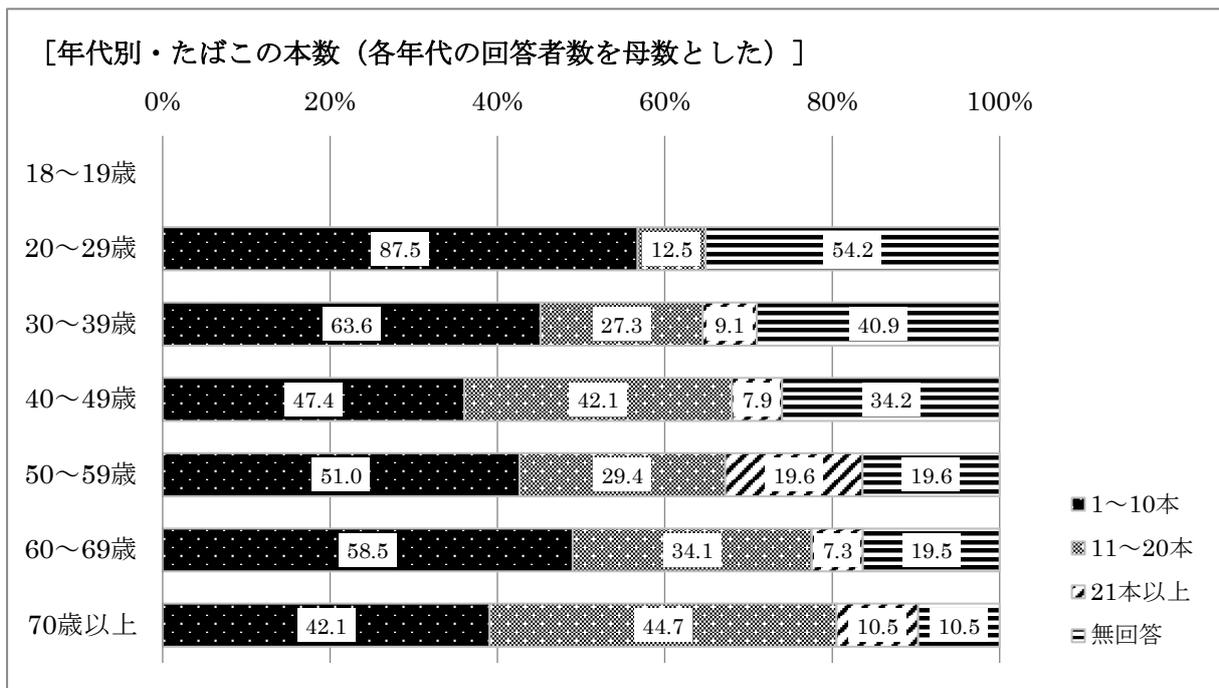
※それぞれ1～3、4～6、7～9の重複回答は無効としています。

【全体】



【年代別】





種別で見ると、「紙巻きたばこ」は年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、70歳以上は78.9%で最も高い。「加熱式たばこ」は20代が50.0%、30代が63.6%でそれぞれ過半数以上を占めているが、年代が上がるにつれて割合が低くなり、70歳以上は18.4%で最も低い。

本数で見ると、「21本以上」は50代が19.6%で最も割合が高いため、ニコチン依存症のリスクが高くなりやすいことが懸念される。

【全体を通じて】

種別・本数は年代別に傾向があるため、禁煙支援の内容を年代別で調整するなど、より効果的な支援方法を検討する必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

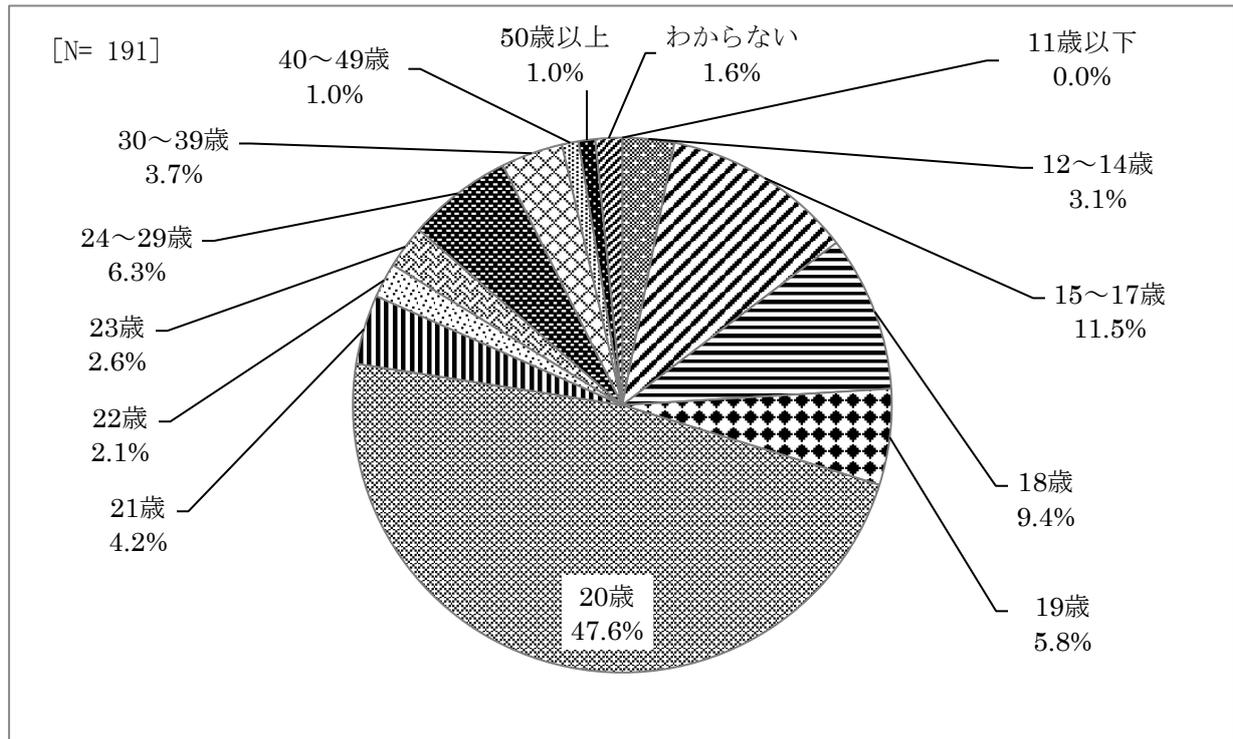
		紙巻きたばこ			加熱式たばこ			電子タバコ			無回答	
		1～10本	11～20本	21本以上	1～10本	11～20本	21本以上	1～10本	11～20本	21本以上		
	全体	191	64	47	15	44	20	7	11	4	0	2
地区	河北	62	22	13	6	8	4	5	2	2	0	0
	河南	35	10	8	3	8	4	1	0	0	0	1
	盛南	24	4	6	2	6	3	0	2	1	0	0
	厨川	48	16	9	4	9	4	1	4	1	0	0
	都南	41	11	10	0	12	5	0	2	0	0	1
	玉山	4	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0
性別	男	155	39	38	13	27	18	7	7	4	0	2
	女	59	25	9	2	17	2	0	4	0	0	0
年齢	18～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	24	8	0	0	9	3	0	4	0	0	0
	30～39歳	22	5	2	0	8	4	2	1	0	0	0
	40～49歳	38	6	9	3	9	5	0	3	2	0	1
	50～59歳	51	16	9	7	9	4	3	1	2	0	0
	60～69歳	41	16	12	3	6	2	0	2	0	0	0
	70歳以上	38	13	15	2	3	2	2	0	0	0	1

問16 問14で「1 吸う（喫煙者）」を選んだ方にお聞きします。

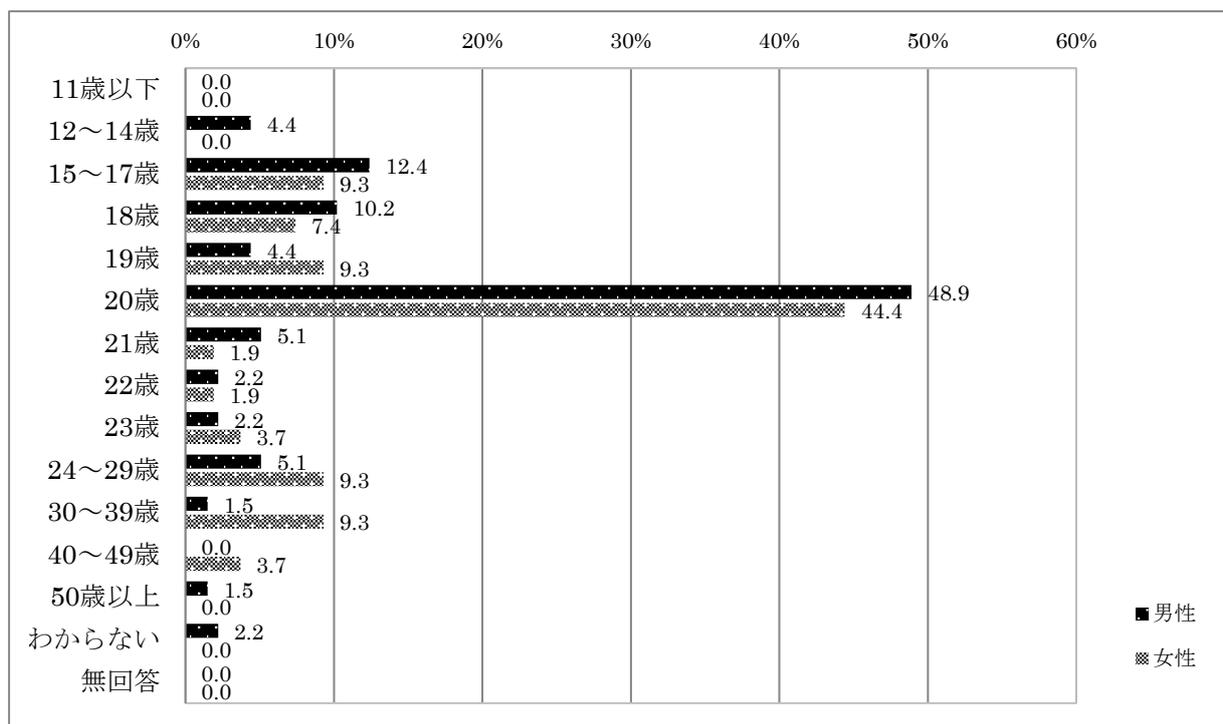
あなたは何歳からたばこを吸い始めましたか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

1 11歳以下	6 20歳	11 30～39歳
2 12～14歳	7 21歳	12 40～49歳
3 15～17歳	8 22歳	13 50歳以上
4 18歳	9 23歳	14 わからない
5 19歳	10 24～29歳	

【全体】

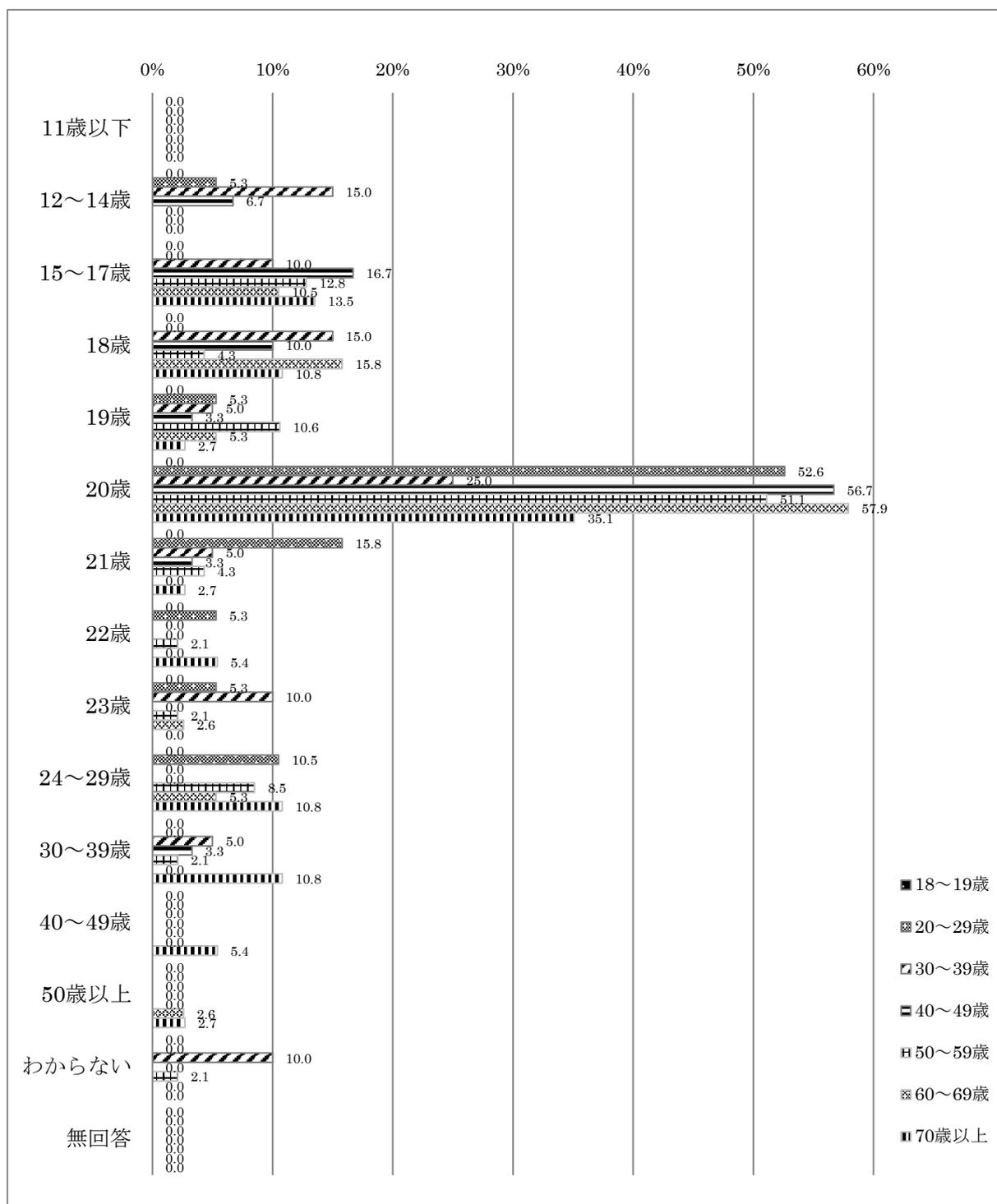


【性別】



男女とも「20歳」が最も割合が高い。20歳未満で見ると、男性は31.4%で女性の26.0%を上回っている。また、女性は「24～29歳」と「30～39歳」で9.3%となっており、母子保健領域と連携して禁煙支援の周知啓発を行うことが重要であると考えられる。

【年代別】



各年代とも「20歳」が最も割合が高い。20歳未満で見ると、30代が45.0%で最も高く、40代以上の年代でも約30%の人が早期からたばこを吸い始めていることから、長期間の喫煙により健康被害のリスク*が高まることが懸念される。

※1日の喫煙本数×喫煙年数で算出する「ブリンクマン指数」が400を超えると肺がんを発症する危険性が高くなり、600以上は肺がんの高度危険群といわれている（日本対がん協会HPより）。

性別、年齢別で見ても、20歳未満からたばこを吸い始める人は一定数以上いることから、教育委員会や学校薬剤師会と連携して、たばこに関する正しい知識を普及するなど、初めの1本を吸わせない取組を強

化することが重要と考える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

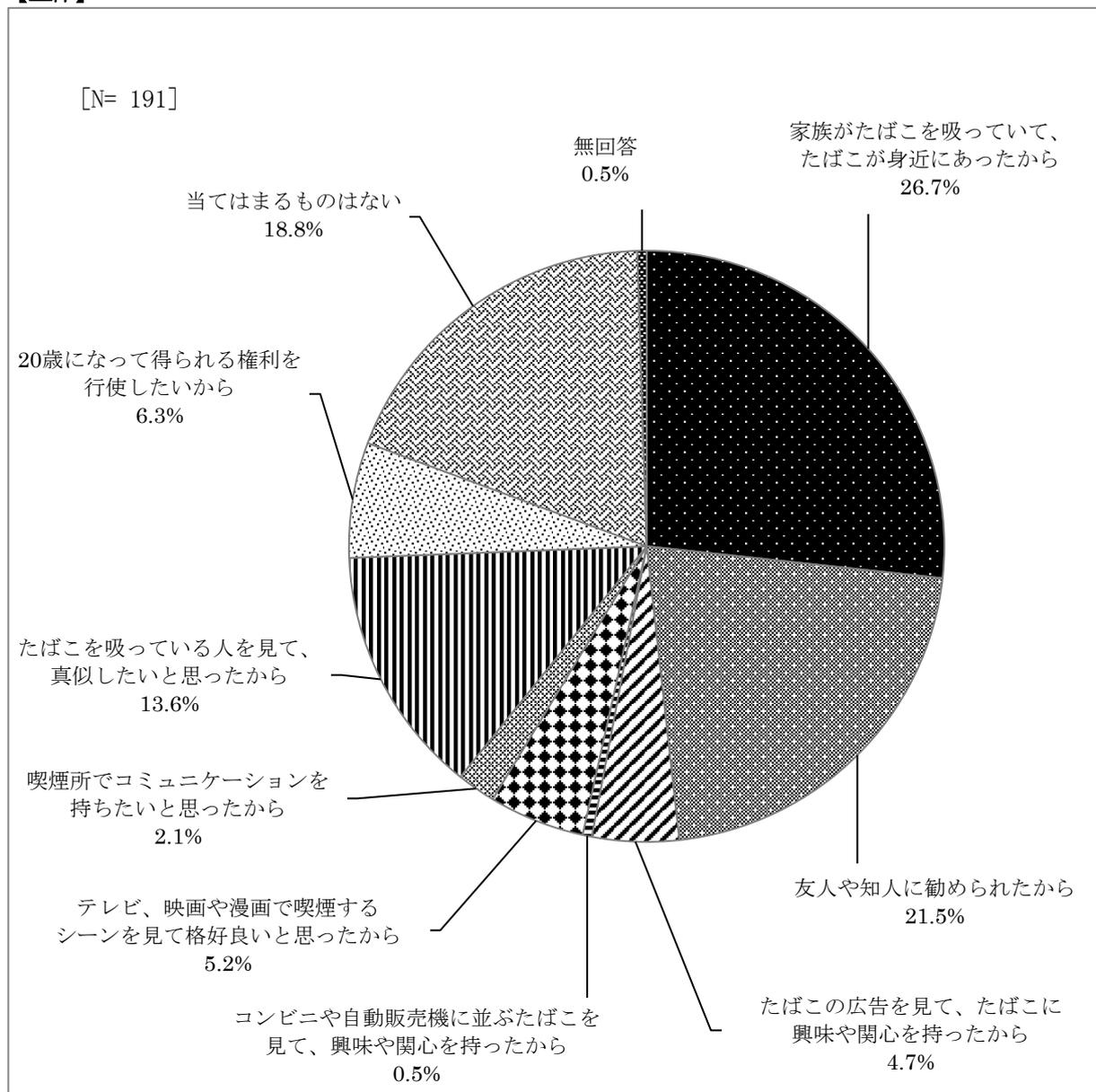
		11歳以下	12～14歳	15～17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	わからない	無回答	
	全体	191	0	6	22	18	11	91	8	4	5	12	7	2	2	3	0
地区	河北	58	0	3	4	7	5	26	2	1	1	5	1	1	2	0	0
	河南	32	0	0	7	2	1	16	0	1	1	3	0	0	0	1	0
	盛南	24	0	1	3	2	1	10	3	1	1	1	1	0	0	0	0
	厨川	41	0	0	5	2	3	19	2	1	2	2	4	1	0	0	0
	都南	32	0	2	3	4	1	17	1	0	0	1	1	0	0	2	0
	玉山	4	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
性別	男	137	0	6	17	14	6	67	7	3	3	7	2	0	2	3	0
	女	54	0	0	5	4	5	24	1	1	2	5	5	2	0	0	0
年齢	18～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	19	0	1	0	0	1	10	3	1	1	2	0	0	0	0	0
	30～39歳	20	0	3	2	3	1	5	1	0	2	0	1	0	0	2	0
	40～49歳	30	0	2	5	3	1	17	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	50～59歳	47	0	0	6	2	5	24	2	1	1	4	1	0	0	1	0
	60～69歳	38	0	0	4	6	2	22	0	0	1	2	0	0	1	0	0
	70歳以上	37	0	0	5	4	1	13	1	2	0	4	4	2	1	0	0

問17 問14で「1 吸う（喫煙者）」を選んだ方にお聞きします。

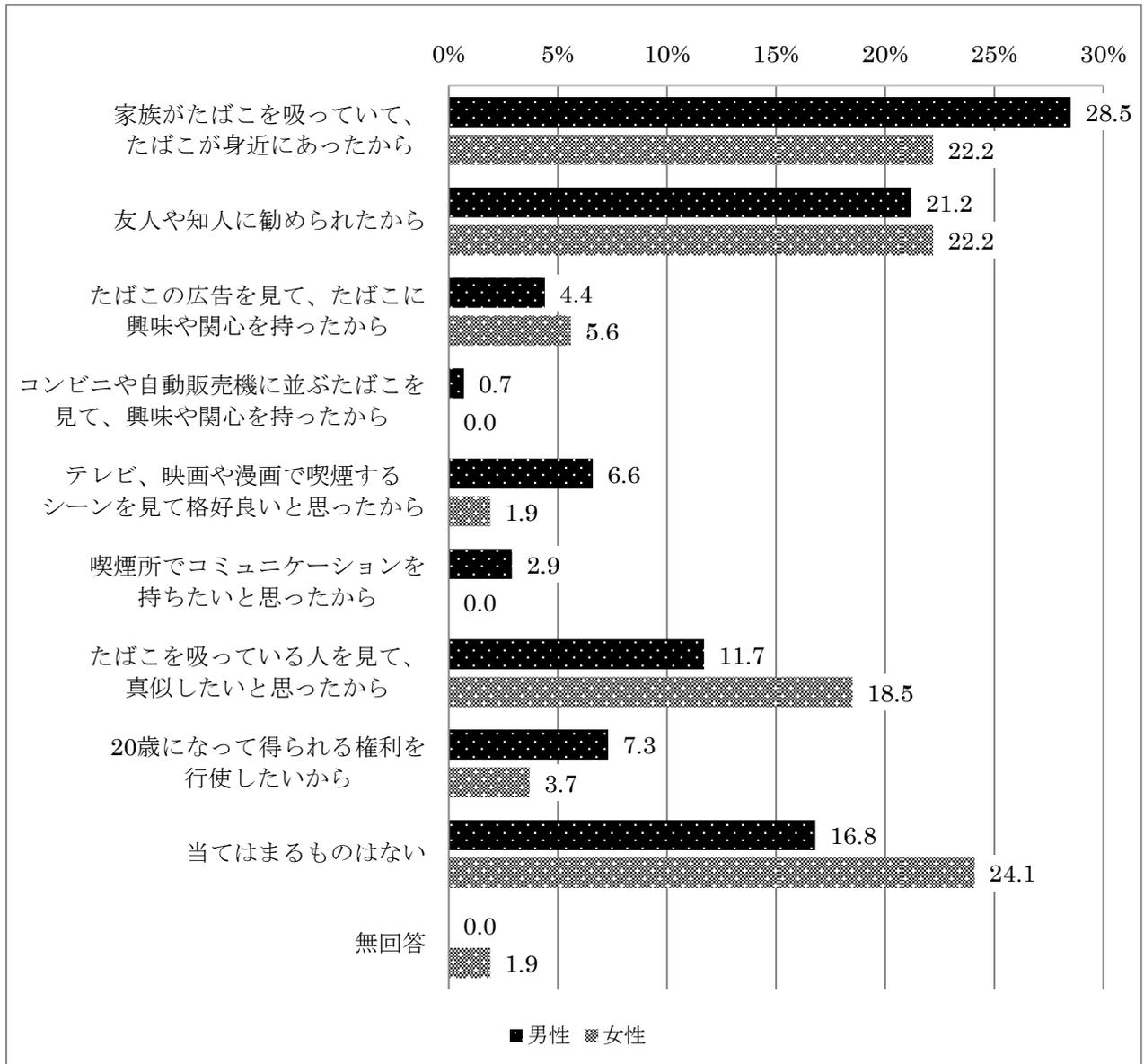
あなたがたばこを吸い始めたきっかけについて、もっとも当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|
| 1 家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから | 6 喫煙所でコミュニケーションを持ちたいと思ったから |
| 2 友人や知人に勧められたから | 7 たばこを吸っている人を見て、真似したいと思ったから |
| 3 たばこの広告を見て、たばこに興味や関心を持ったから | 8 20歳になって得られる権利を行使したいから |
| 4 コンビニや自動販売機に並ぶたばこを見て、興味や関心を持ったから | 9 当てはまるものはない |
| 5 テレビ、映画や漫画で喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから | |

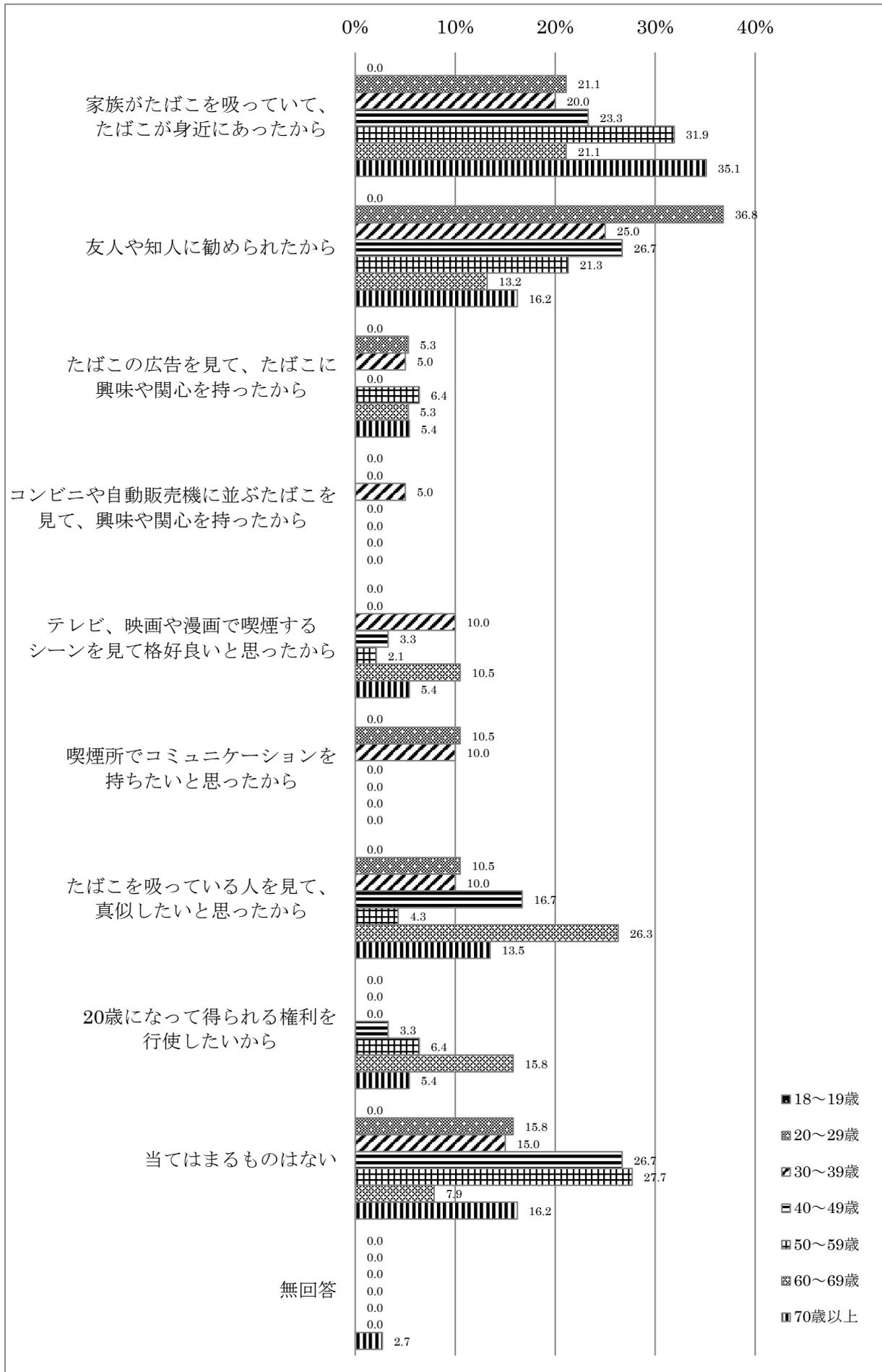
【全体】



【性別】



【年代別】



【全体を通じて】

性別、年代別ともに家族や友人など身近な人から影響を受けてたばこを吸い始める傾向にある。

たばこを吸う、吸わないの選択は個人の自由であるが、正しい知識を持った上で選択できるよう、早期からたばこに関する正しい知識を身につけられる機会を設ける必要があると考える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

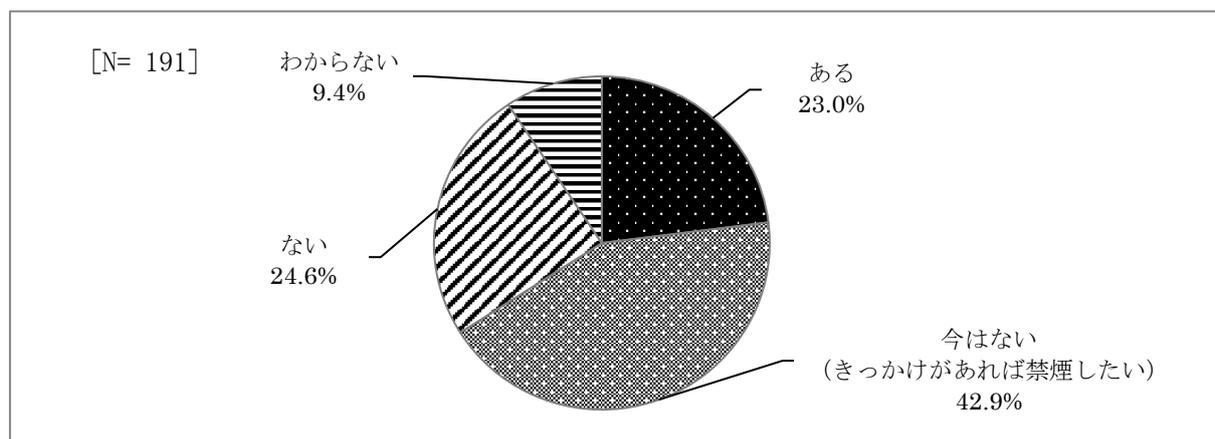
			家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから	友人や知人に勧められたから	たばこの広告を見て、たばこに興味や関心を持ったから	コンビニや自動販売機に並ぶたばこを見て、興味や関心を持ったから	テレビ、映画や漫画で喫煙するシーンを見て格好良いと思ったから	喫煙所でコミュニケーションを持ちたいと思ったから	たばこを吸っている人を見て、真似したいと思ったから	20歳になって得られる権利を行使したいから	当てはまるものはない	無回答
	全体	191	51	41	9	1	10	4	26	12	36	1
地区	河北	58	22	11	2	1	1	0	7	2	12	0
	河南	32	15	6	1	0	1	1	3	1	4	0
	盛南	24	4	9	2	0	1	1	2	0	4	1
	厨川	41	4	6	2	0	3	2	10	3	11	0
	都南	32	6	8	2	0	3	0	3	6	4	0
	玉山	4	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0
性別	男	137	39	29	6	1	9	4	16	10	23	0
	女	54	12	12	3	0	1	0	10	2	13	1
年齢	18～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	19	4	7	1	0	0	2	2	0	3	0
	30～39歳	20	4	5	1	1	2	2	2	0	3	0
	40～49歳	30	7	8	0	0	1	0	5	1	8	0
	50～59歳	47	15	10	3	0	1	0	2	3	13	0
	60～69歳	38	8	5	2	0	4	0	10	6	3	0
	70歳以上	37	13	6	2	0	2	0	5	2	6	1

問18 問14で「1 吸う（喫煙者）」を選んだ方にお聞きします。

あなたは、禁煙する意思がありますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

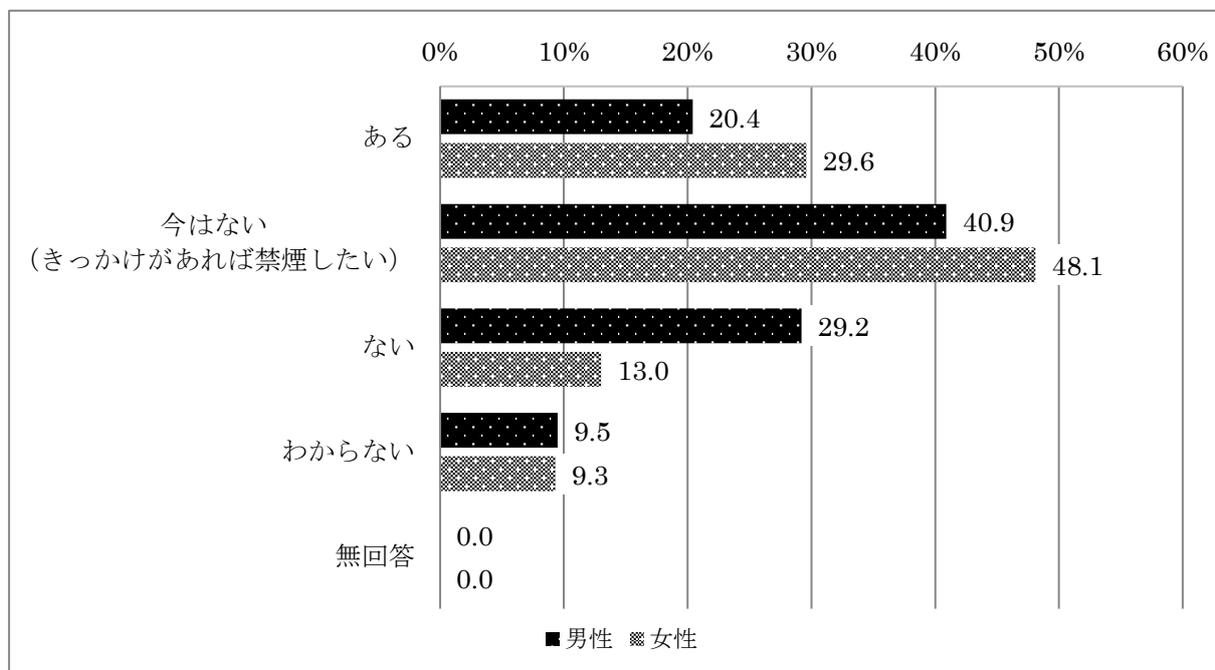
- 1 ある
- 2 今はない（きっかけがあれば禁煙したい）
- 3 ない
- 4 わからない

【全体】



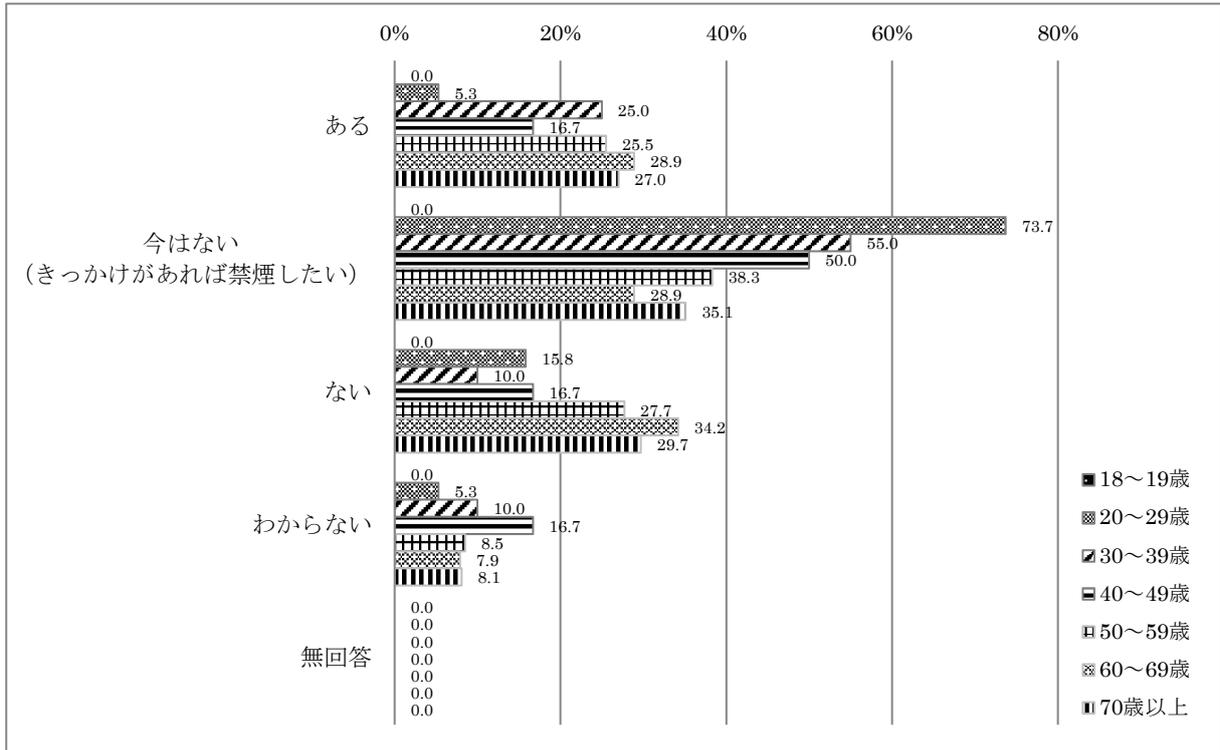
65.9%の人は禁煙の意思がある（「ある」「今はない（きっかけがあれば禁煙したい）」の合計）ことから、禁煙支援を継続するとともに、行動変容につながるような効果的なアプローチを検討する必要がある。

【性別】



禁煙の意思があるのは、男性が61.3%、女性が77.7%であった。一方、「ない」は男性が29.2%で女性の13.0%を大きく上回っている。

【年代別】



「ある」は20代が5.3%で最も低く、50代以上が25.5～28.9%であった。「今はない（きっかけがあれば禁煙したい）」は20代が73.7%で最も高く、50代以上は28.9～38.3%であった。

若い年代ほど「今はない（きっかけがあれば禁煙したい）」の割合が高く、年代が上がるにつれて「ある」の割合が高くなる傾向にある。一方、「ない」は60代が34.2%、次いで70歳以上が29.7%、50代が27.7%と続き、年代が上がるほど禁煙の意思がない傾向もあることから、50代以上の世代では禁煙の意思が二極化していると考えられる。

【全体を通じて】

性別、年代別とも喫煙者の半数以上は禁煙の意思がある。たばこを吸う、吸わないの選択は個人の自由であるため、あくまでも「やめたくてもやめられない人」や「きっかけさえあればやめたい人」を対象とした禁煙支援を継続する必要があると考える。

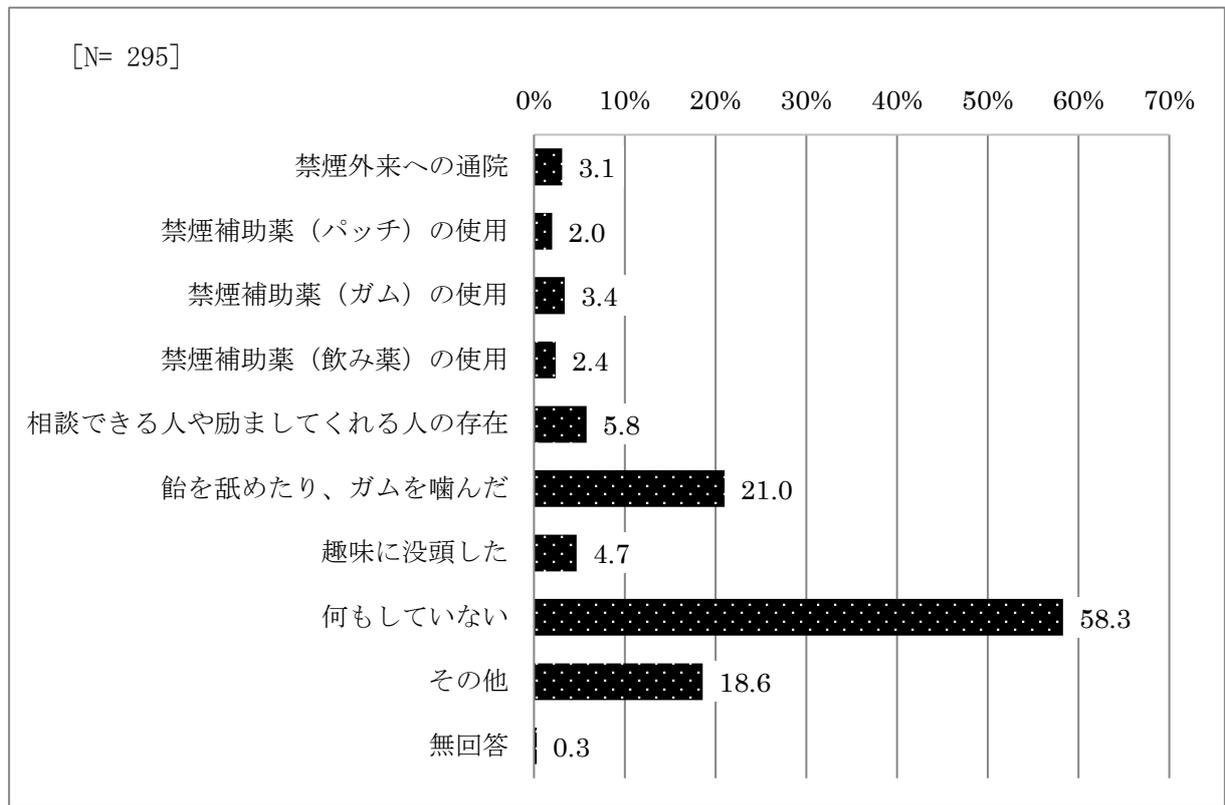
【性別、年代別、地区別の回答数】

			ある	今はない (きつかけがあれば禁煙したい)	ない	わからない	無回答
	全体	191	44	82	47	18	0
地区	河北	58	13	23	16	6	0
	河南	32	14	9	5	4	0
	盛南	24	4	14	5	1	0
	厨川	41	9	18	13	1	0
	都南	32	3	15	8	6	0
	玉山	4	1	3	0	0	0
性別	男	137	28	56	40	13	0
	女	54	16	26	7	5	0
年齢	18～19歳	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	19	1	14	3	1	0
	30～39歳	20	5	11	2	2	0
	40～49歳	30	5	15	5	5	0
	50～59歳	47	12	18	13	4	0
	60～69歳	38	11	11	13	3	0
	70歳以上	37	10	13	11	3	0

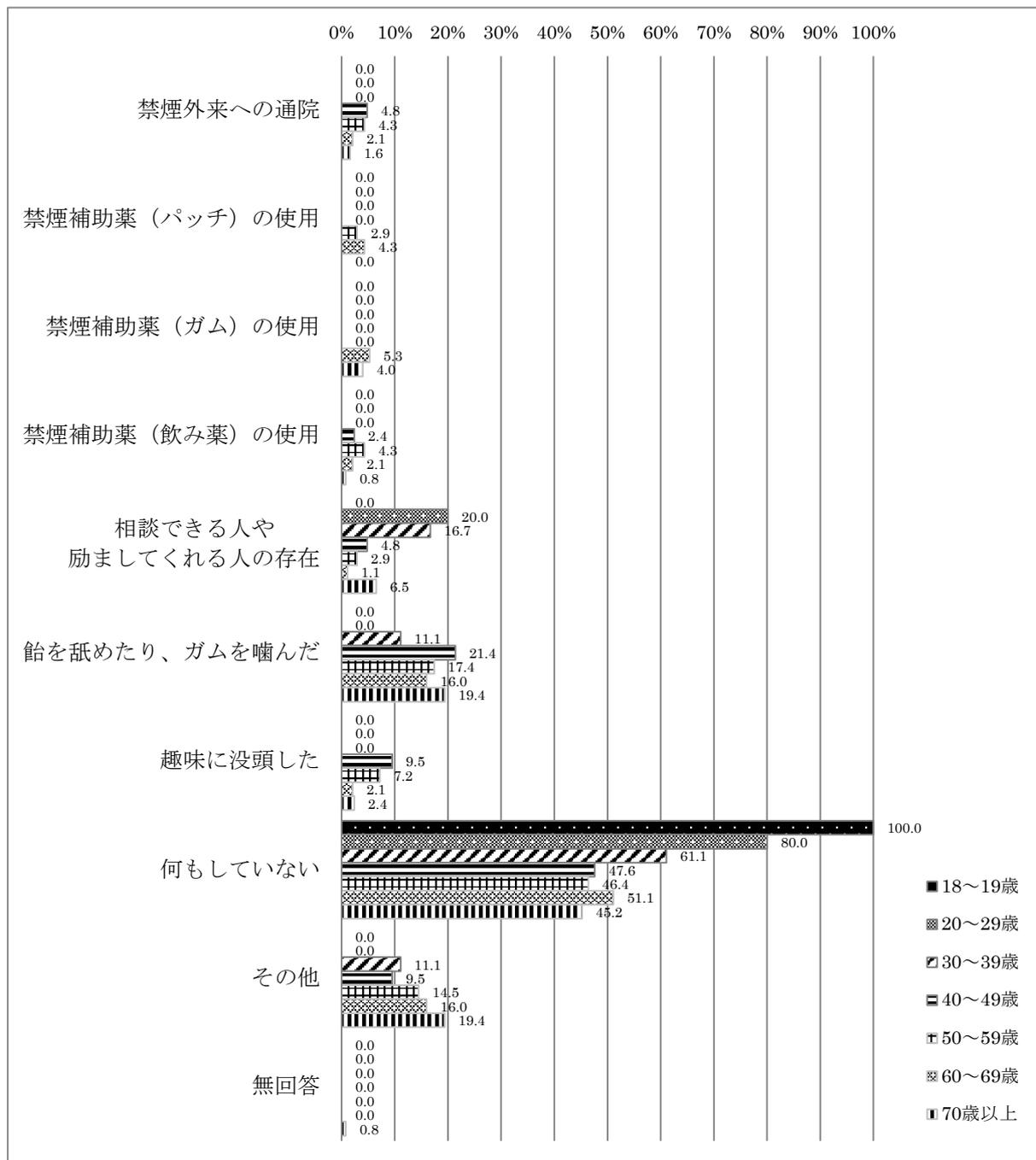
問19 問14で「2 吸うのをやめた（元喫煙者）」を選んだ方にお聞きします。
 禁煙の方法について、当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 禁煙外来への通院 | 6 飴を舐めたり、ガムを噛んだ |
| 2 禁煙補助薬（パッチ）の使用 | 7 趣味に没頭した |
| 3 禁煙補助薬（ガム）の使用 | 8 何もしていない |
| 4 禁煙補助薬（飲み薬）の使用 | 9 その他（ ） |
| 5 相談できる人や励ましてくれる人の存在 | |

【全体】



【年代別】



「何もしていない」が全ての年代において最も割合が高いが、年代が上がるにつれてその割合が低くなる傾向がある。

20代～30代は「禁煙外来、補助薬」の利用はないが、40代以上では「禁煙外来、補助薬、飴やガム」の利用が約30%を占めており、喫煙期間が長いほど禁煙による離脱症状が強く現れてしまうためであると推察される。また、20代～30代では「相談できる人や励ましてくれる人の存在」が約20%を占めており、精神面でのサポートが禁煙につながっている。40代以上に比べて喫煙期間が短いことや結婚や出産などライフステージの変化が行動変容につながっていると考えられる。

【全体を通じて】

喫煙期間と禁煙のしやすさにはある程度の相関があると思われるが、ケース毎に適切な禁煙支援方法を提案することが重要である。禁煙外来（オンライン診療）、補助薬、アプリの活用など、禁煙の選択肢は様々あるため、禁煙希望者が自身に合った禁煙手法を適切に選択できるよう、情報発信を継続する必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

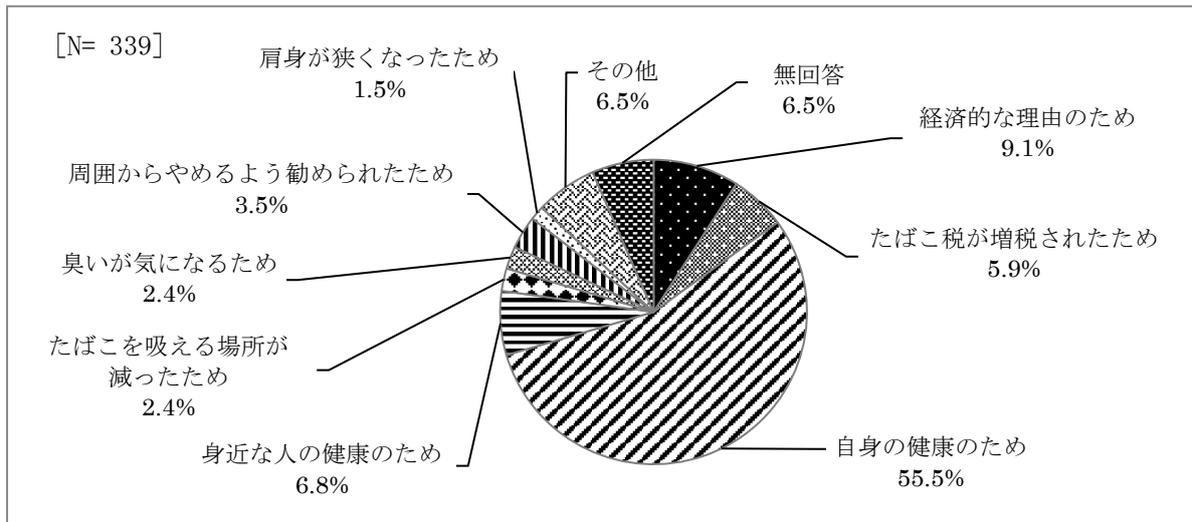
			禁煙外来への通院	禁煙補助薬（パッチ）の使用	禁煙補助薬（ガム）の使用	禁煙補助薬（飲み薬）の使用	励ましてくれる人の存在 相談できる人や 相談してくれる人の存在	飴を舂めたり、ガムを噛んだ	趣味に没頭した	何もしていない	その他	無回答
	全体	353	9	6	10	7	17	62	14	172	55	1
地区	河北	93	2	1	3	0	3	10	2	56	15	1
	河南	58	1	2	1	2	2	10	4	25	11	0
	盛南	57	0	2	2	1	4	11	3	29	5	0
	厨川	81	1	0	3	2	5	20	4	36	10	0
	都南	58	5	1	1	2	2	11	1	23	12	0
	玉山	6	0	0	0	0	1	0	0	3	2	0
性別	男	270	7	6	10	5	15	54	10	120	42	1
	女	83	2	0	0	2	2	8	4	52	13	0
年齢	18～19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	20～29歳	5	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0
	30～39歳	18	0	0	0	0	3	2	0	11	2	0
	40～49歳	42	2	0	0	1	2	9	4	20	4	0
	50～59歳	69	3	2	0	3	2	12	5	32	10	0
	60～69歳	94	2	4	5	2	1	15	2	48	15	0
	70歳以上	124	2	0	5	1	8	24	3	56	24	1

問20 問14で「2 吸うのをやめた（元喫煙者）」を選んだ方と問18で「1 ある」を選んだ方にお聞きします。

禁煙しようと思ったきっかけについて、最も当てはまるもの1つに○を付けてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 経済的な理由のため | 6 臭いが気になるため |
| 2 たばこ税が増税されたため | 7 周囲からやめるよう勧められたため |
| 3 自身の健康のため | 8 肩身が狭くなったため |
| 4 身近な人の健康のため | 9 その他（ ） |
| 5 たばこを吸える場所が減ったため | |

【全体】



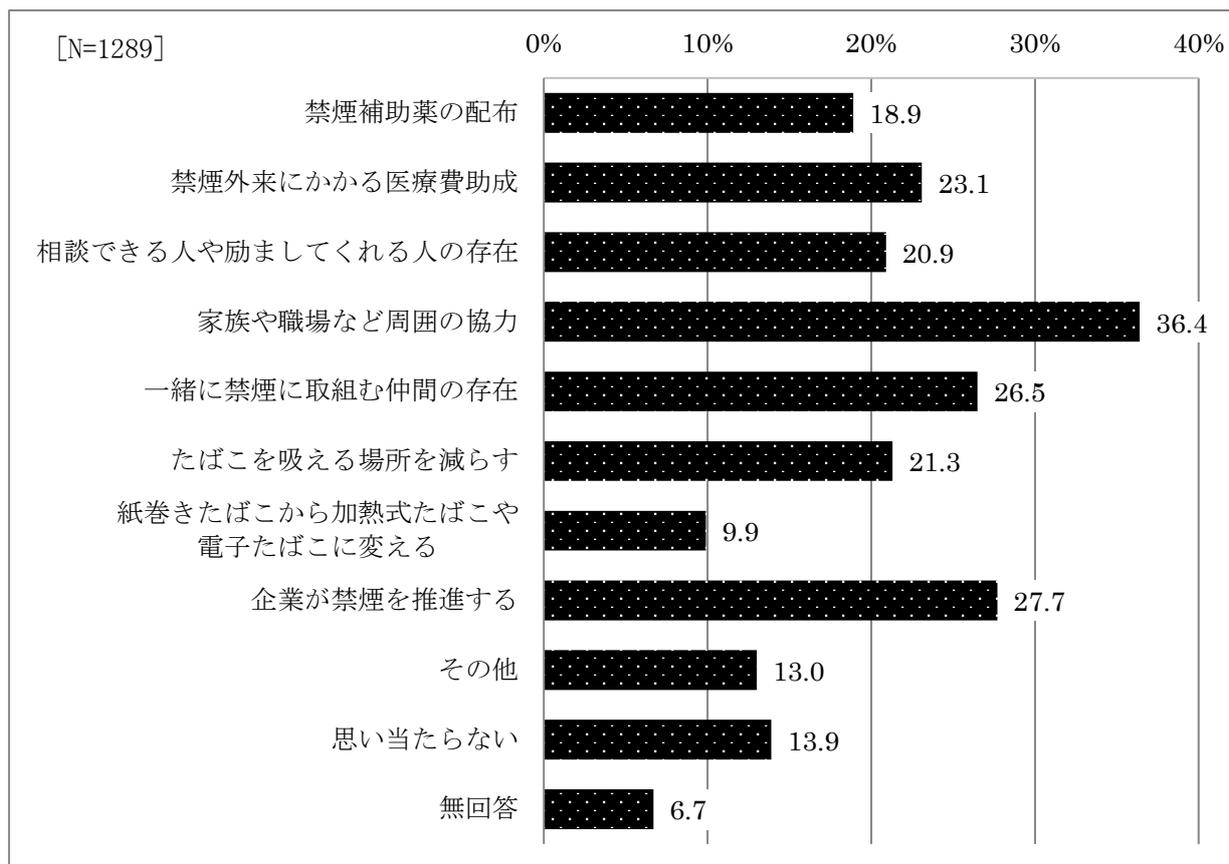
【性別、年代別、地区別の回答数】

			経済的な理由のため	たばこ税が増税されたため	自身の健康のため	身近な人の健康のため	たばこを吸える場所が減ったため	臭いが気になるため	周囲からやめるよう勧められたため	肩身が狭くなったため	その他	無回答
	全体	339	31	20	188	23	8	8	12	5	22	22
地区	河北	95	8	5	55	7	1	5	2	0	7	5
	河南	62	4	2	36	5	2	0	2	1	4	6
	盛南	49	5	6	29	0	1	1	2	0	2	3
	厨川	75	8	4	39	8	0	1	4	2	5	4
	都南	52	6	3	24	3	4	1	2	1	4	4
	玉山	6	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0
性別	男	252	26	13	135	20	6	3	11	3	16	19
	女	87	5	7	53	3	2	5	1	2	6	3
年齢	18～19歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29歳	6	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	30～39歳	19	3	2	9	1	0	1	2	0	1	0
	40～49歳	42	5	3	22	2	1	3	0	0	5	1
	50～59歳	67	8	6	37	2	1	2	3	3	3	2
	60～69歳	93	6	5	47	8	4	2	4	1	4	12
	70歳以上	111	6	3	72	10	2	0	3	1	8	6

問21 禁煙を成功させるために有効又は必要だと思うことは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

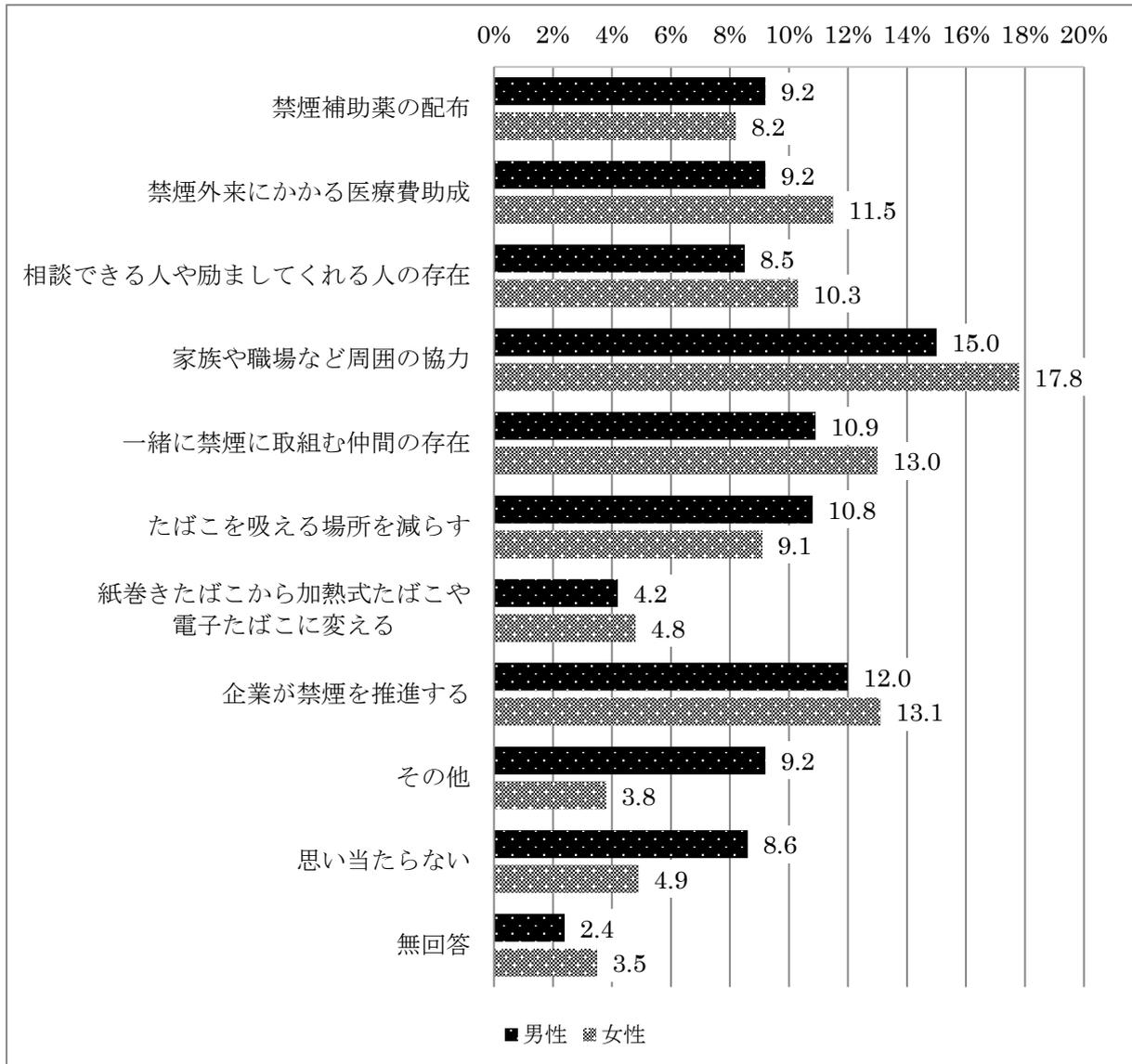
- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1 禁煙補助薬の配布 | 6 たばこを吸える場所を減らす |
| 2 禁煙外来にかかる医療費補助 | 7 紙巻きたばこから加熱式たばこや電子たばこに変える |
| 3 相談できる人や励ましてくれる人の存在 | 8 企業が禁煙を推進する |
| 4 家族や職場など周囲の協力 | 9 その他（ ） |
| 5 一緒に禁煙に取り組む仲間の存在 | 10 思い当たらない |

【全体】

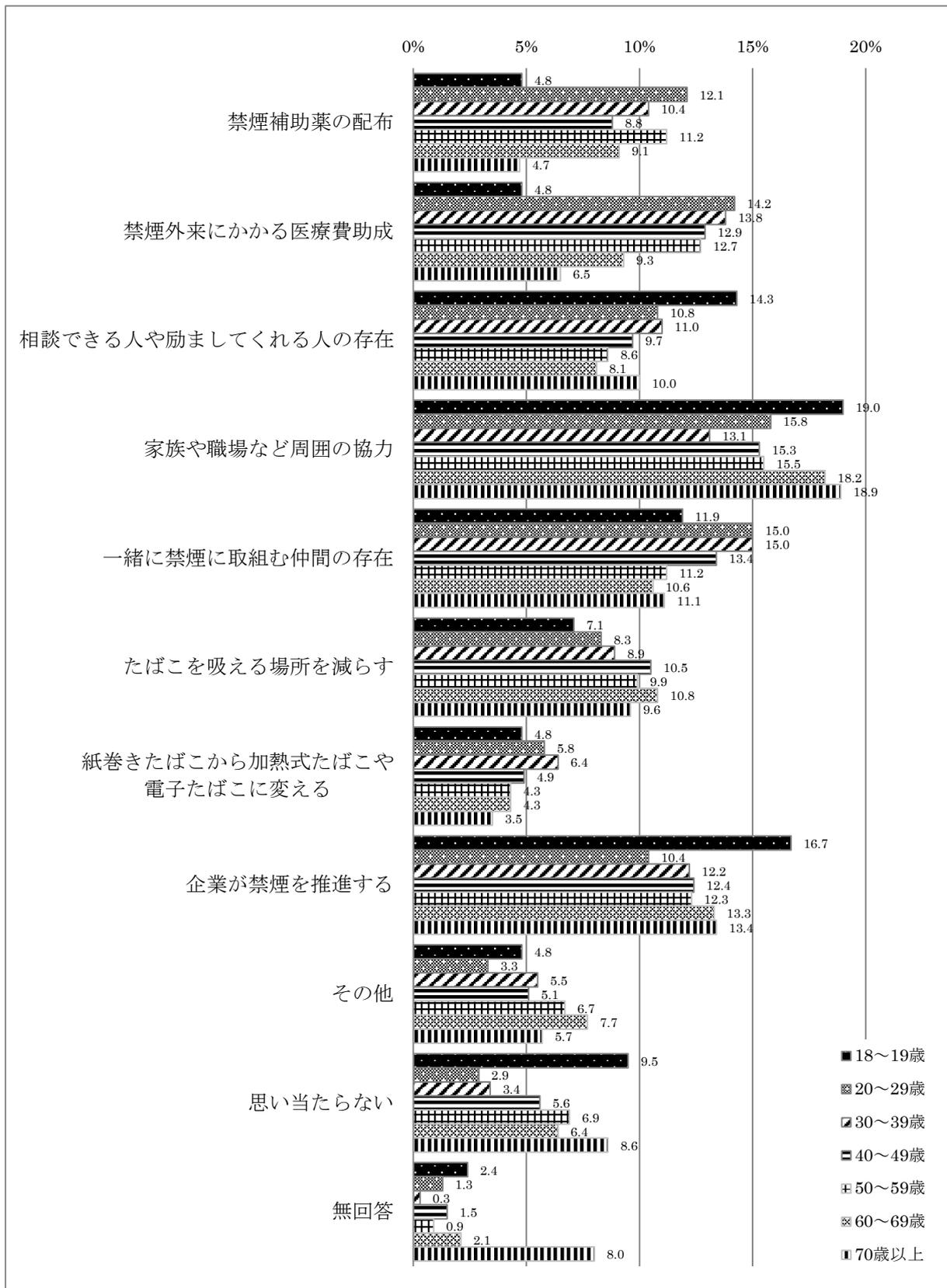


「家族や職場など周囲の協力」の割合が最も高く、「企業が禁煙を推進する」「一緒に禁煙に取り組む仲間の存在」と続いた。

【性別】



【年代別】



【全体を通じて】

性別、年代別ともに、家族や職場の理解、企業による禁煙の推進など、生活環境の変化が禁煙にも好影響を与えると考える人が多い傾向にある。

自由記載では「喫煙者自身の意識の問題」、「たばこの価格を大きく引き上げる」、「法規制の強化」といった意見が多く見られた。

より効果的な禁煙支援を検討する際には、喫煙者、非喫煙者双方の意見を尊重して十分に議論をする必要がある。

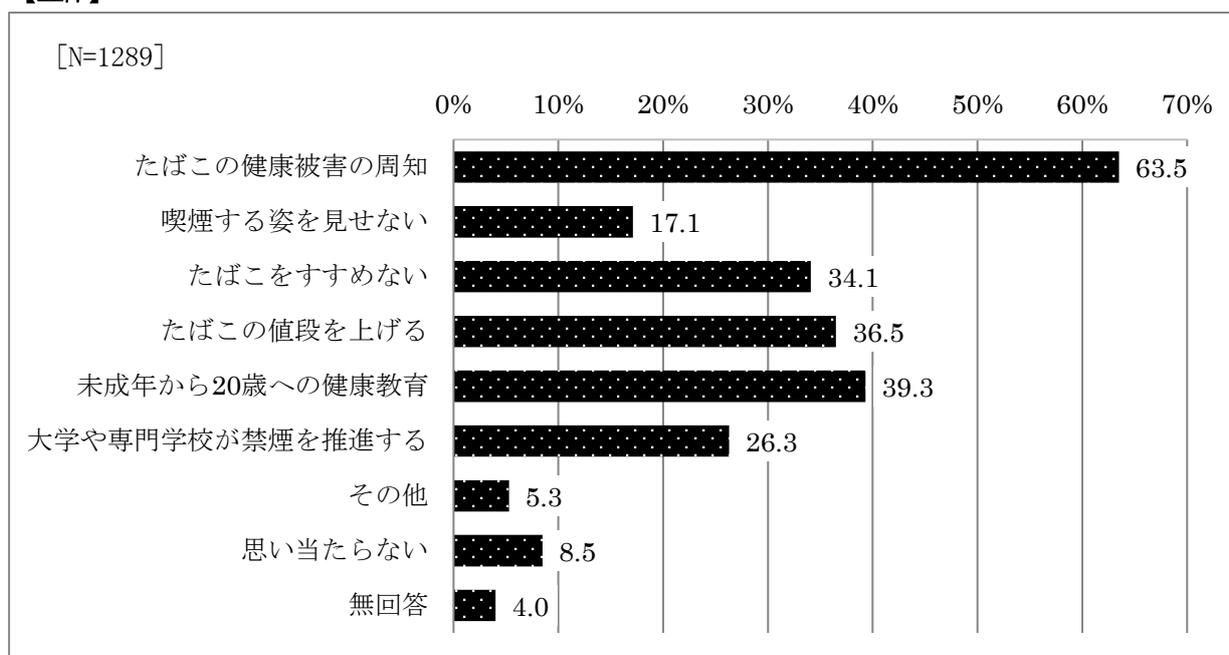
【性別、年代別、地区別の回答数】

			禁煙補助薬の配布	禁煙外来にかかる医療費補助	相談できる人や励ましてくれる人の存在	家族や職場などの協力	一緒に禁煙に取り組む仲間の存在	たばこを吸える場所を減らす	紙巻きたばこから加熱式たばこや電子たばこに変える	企業が禁煙を推進する	その他	思い当たらない	無回答
	全体	2814	243	298	270	469	342	275	128	357	167	179	86
地区	河北	838	69	79	77	140	114	81	35	109	56	53	25
	河南	412	43	54	41	67	44	35	14	47	24	27	16
	盛南	407	29	37	45	66	53	44	28	52	21	24	8
	厨川	588	55	63	59	104	65	59	22	72	35	39	15
	都南	503	40	54	40	80	58	54	25	70	28	34	20
	玉山	66	7	11	8	12	8	2	4	7	3	2	2
性別	男	1114	103	102	95	167	121	120	47	134	102	96	27
	女	1700	140	196	175	302	221	155	81	223	65	83	59
年齢	18～19歳	42	2	2	6	8	5	3	2	7	2	4	1
	20～29歳	240	29	34	26	38	36	20	14	25	8	7	3
	30～39歳	327	34	45	36	43	49	29	21	40	18	11	1
	40～49歳	411	36	53	40	63	55	43	20	51	21	23	6
	50～59歳	537	60	68	46	83	60	53	23	66	36	37	5
	60～69歳	517	47	48	42	94	55	56	22	69	40	33	11
	70歳以上	740	35	48	74	140	82	71	26	99	42	64	59

問22 市では「第2次もりおか健康21プラン」に基づき、「喫煙率の低下」を評価指標の一つにしています。たばこを吸っていない人が喫煙しないようにするための取組として、有効又は必要だと思うことは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 たばこの健康被害の周知 | 5 未成年から20歳への健康教育 |
| 2 喫煙する姿を見せない | 6 大学や専門学校が禁煙を推進する |
| 3 たばこをすすめない | 7 その他 () |
| 4 たばこの値段を上げる | 8 思い当たらない |

【全体】

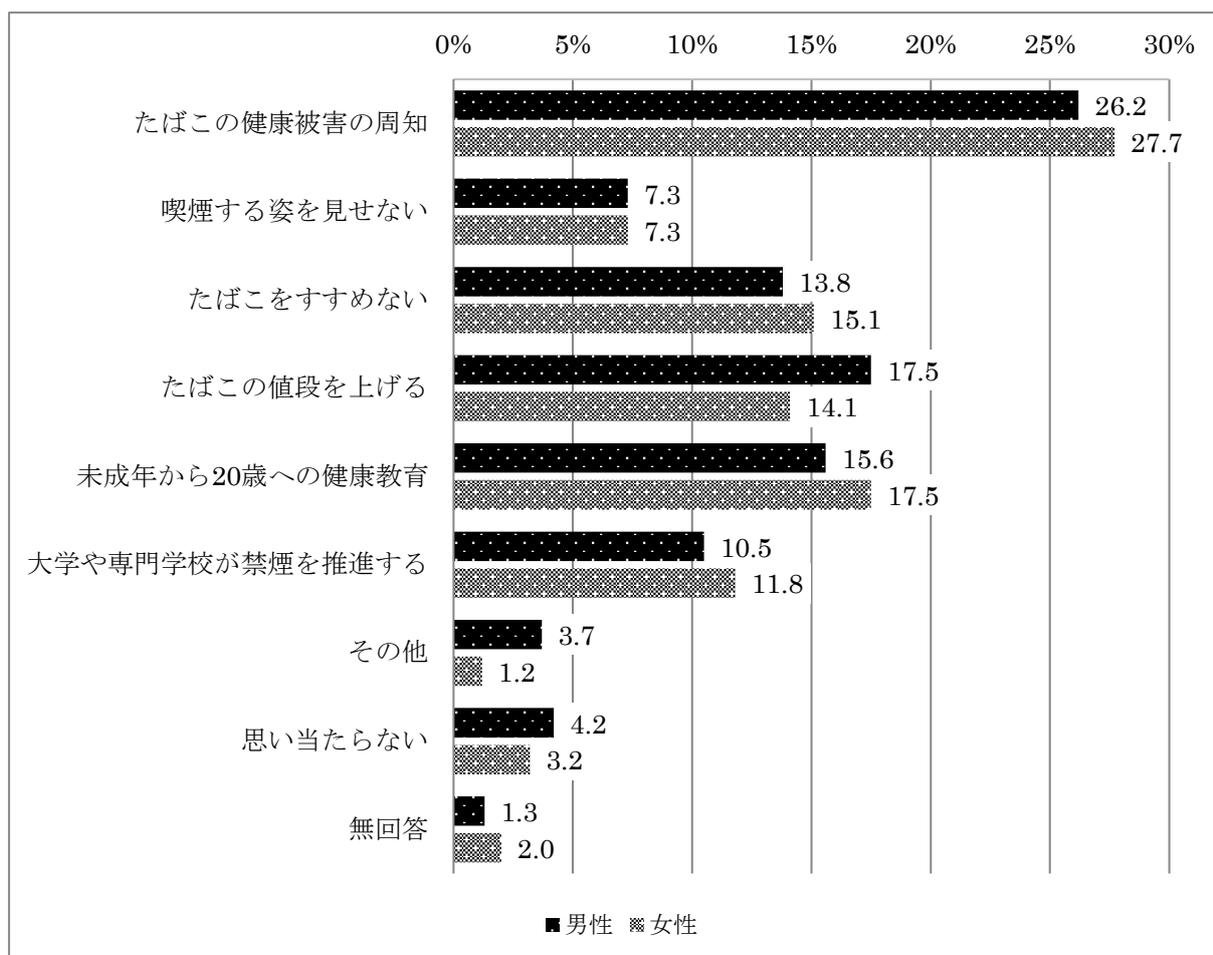


「たばこの健康被害の周知」の割合が最も高く、「未成年から20歳への健康教育」「たばこの値段を上げる」と続いた。

「喫煙する姿を見せない」は17.1%であったが、「問17 たばこを吸い始めたきっかけ」の設問で「家族がたばこを吸っていて、たばこが身近にあったから」の割合が最も高かったことから、アンケート結果と実態にはギャップがある。

正しい知識の普及のほか、たばこを吸う姿を見せない、たばこをすすめないことについての啓発も重要と考える。

【性別】



【全体を通じて】

「たばこの健康被害の周知」が有効又は必要と考える人が多い傾向にあり、男女ともに最も割合が高くなっている。

自由記載では「警告画像の導入」、「法規制の強化」、「権利だからその人が選ぶべき」といった意見が見られた。

たばこを吸う、吸わないの選択は個人の自由であるが、たばこに関する正しい知識を持った上で自己選択をすることが重要であるとする。そのためにも、若いうちからたばこについての正しい知識を身に付けられるような機会を設ける必要があると考える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

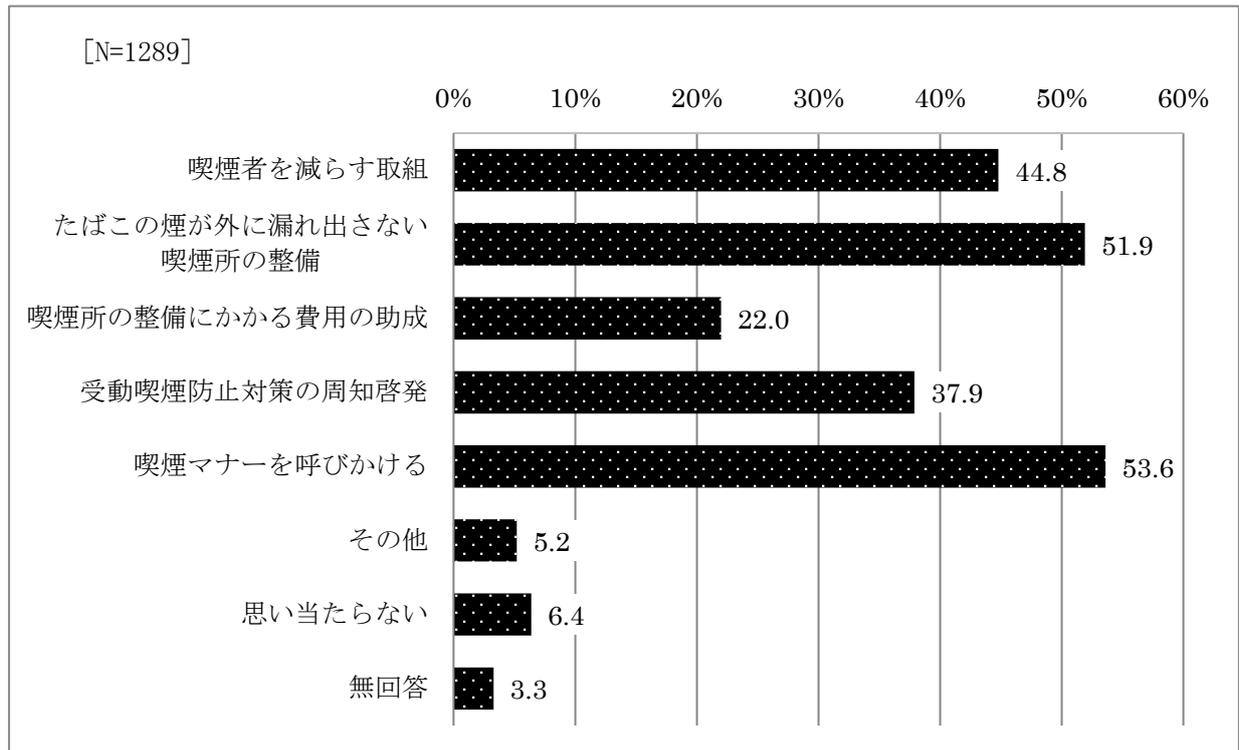
			たばこの健康被害の周知	喫煙する姿を見せない	たばこをすすめない	たばこの値段を上げる	未成年から20歳への健康教育	大学や専門学校が禁煙を推進する	その他	思い当たらない	無回答
	全体	3023	818	221	440	470	506	339	68	110	51
地区	河北	902	254	66	134	132	147	96	23	35	15
	河南	433	118	31	63	71	68	46	8	15	13
	盛南	423	118	27	60	68	74	49	13	12	2
	尉川	657	169	49	96	95	121	79	12	27	9
	都南	537	134	42	74	98	85	61	11	21	11
	玉山	71	25	6	13	6	11	8	1	0	1
性別	男	1279	335	93	176	224	200	134	47	54	16
	女	1744	483	128	264	246	306	205	21	56	35
年齢	18～19歳	47	10	3	9	9	7	4	0	5	0
	20～29歳	214	45	18	43	41	31	24	3	7	2
	30～39歳	294	71	27	41	62	39	35	5	13	1
	40～49歳	418	100	39	56	78	75	49	11	9	1
	50～59歳	591	157	45	93	103	90	58	19	22	4
	60～69歳	585	176	45	76	77	100	71	14	17	9
	70歳以上	874	259	44	122	100	164	98	16	37	34

問23 屋内で受動喫煙*をなくすための取組として、有効又は必要だと思うことは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

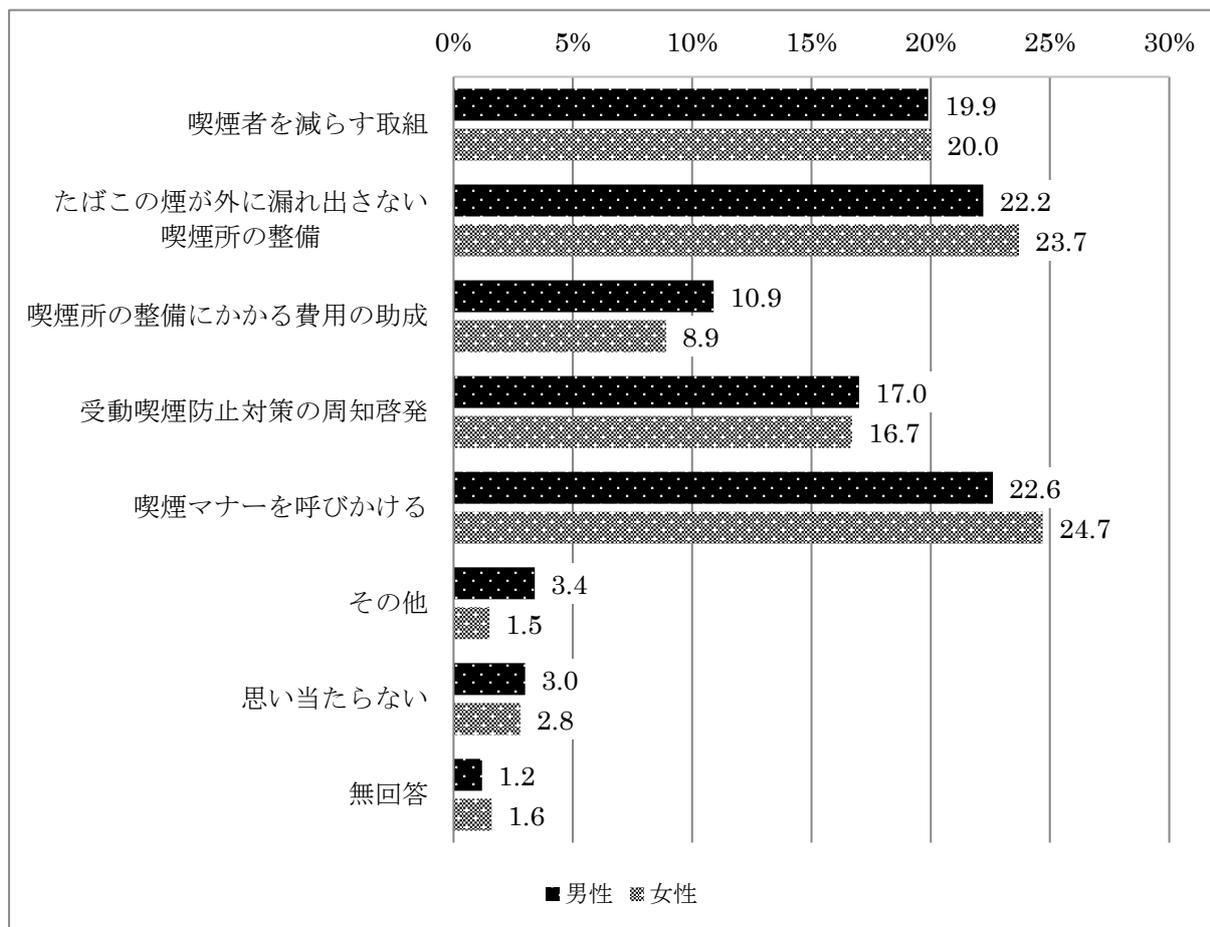
※受動喫煙とは、他人の喫煙により発生したたばこの煙を吸わされることです。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 喫煙者を減らす取組 | 4 受動喫煙防止対策の周知啓発 |
| 2 たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備 | 5 喫煙マナーを呼びかける |
| 3 喫煙所の整備にかかる費用の助成 | 6 その他 () |
| | 7 思い当たらない |

【全体】



【性別】



【全体を通じて】

「喫煙マナーを呼びかける」が最も割合が高く、「たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備」「喫煙者を減らす取組」と続いた。この傾向に、性別による有意な差は見られなかった。

自由記載では「屋内は全面禁煙にする」、「整備された場所以外は全面禁煙にする」、「条例で規制する（罰則を設ける）」といった意見が見られた。

全体として「煙が漏れ出さない喫煙所の整備」が半数を占めた一方で、「喫煙所の整備にかかる費用の助成」は22.0%であり、間接的な財政支援は受動喫煙対策につながりにくいと考えられる人が多い傾向にある。

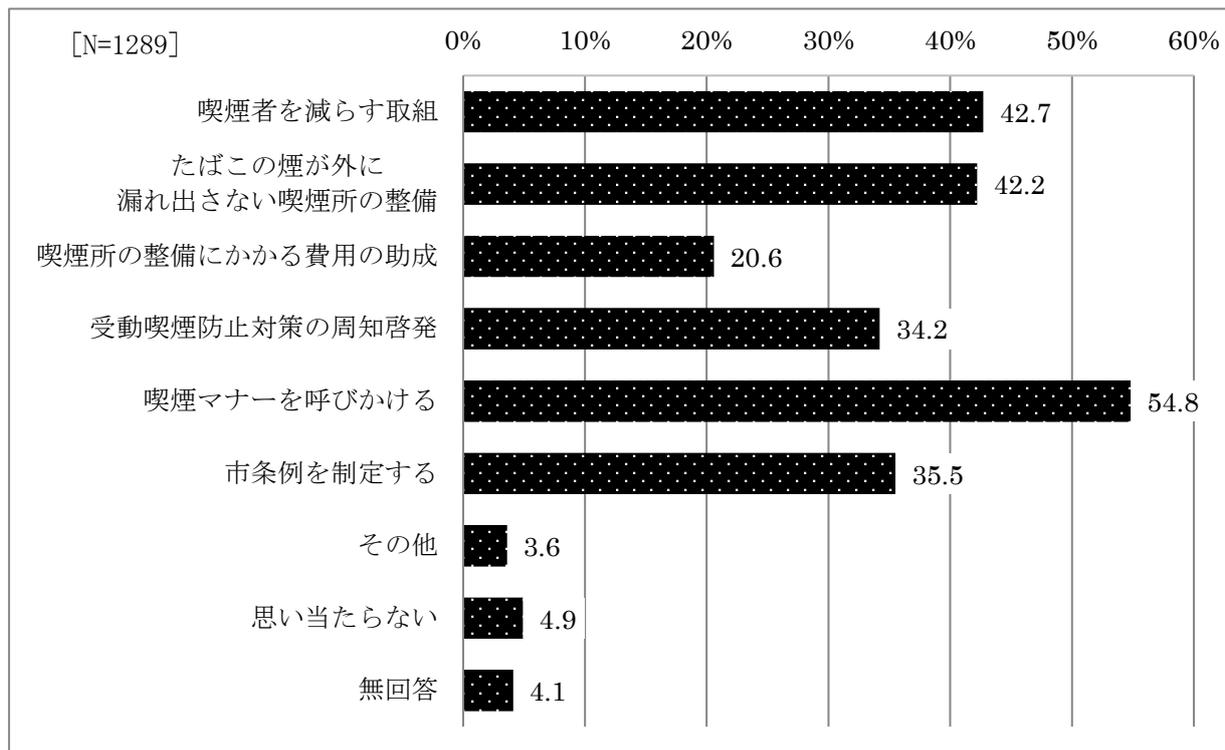
【性別、年代別、地区別の回答数】

			喫煙者を減らす取組	たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備	喫煙所の整備にかかる費用の助成	受動喫煙防止対策の周知啓発	喫煙マナーを呼びかける	その他	思い当たらない	無回答
	全体	2903	578	669	284	489	691	67	83	42
地区	河北	894	176	197	84	155	220	24	25	13
	河南	430	81	102	54	72	92	6	11	12
	盛南	386	77	97	41	58	93	5	14	1
	厨川	608	123	147	48	107	145	13	17	8
	都南	520	108	110	52	86	124	17	16	7
	玉山	65	13	16	5	11	17	2	0	1
性別	男	1249	248	277	136	212	282	42	37	15
	女	1654	330	392	148	277	409	25	46	27
年齢	18～19歳	41	10	9	4	8	7	1	2	0
	20～29歳	188	30	49	28	29	43	3	5	1
	30～39歳	252	52	75	22	37	52	5	7	2
	40～49歳	409	74	114	58	60	85	10	8	0
	50～59歳	565	108	135	56	93	140	16	14	3
	60～69歳	576	112	141	50	95	147	14	8	9
	70歳以上	872	192	146	66	167	217	18	39	27

問24 屋外で受動喫煙をなくすための取組として、有効又は必要だと思うことは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

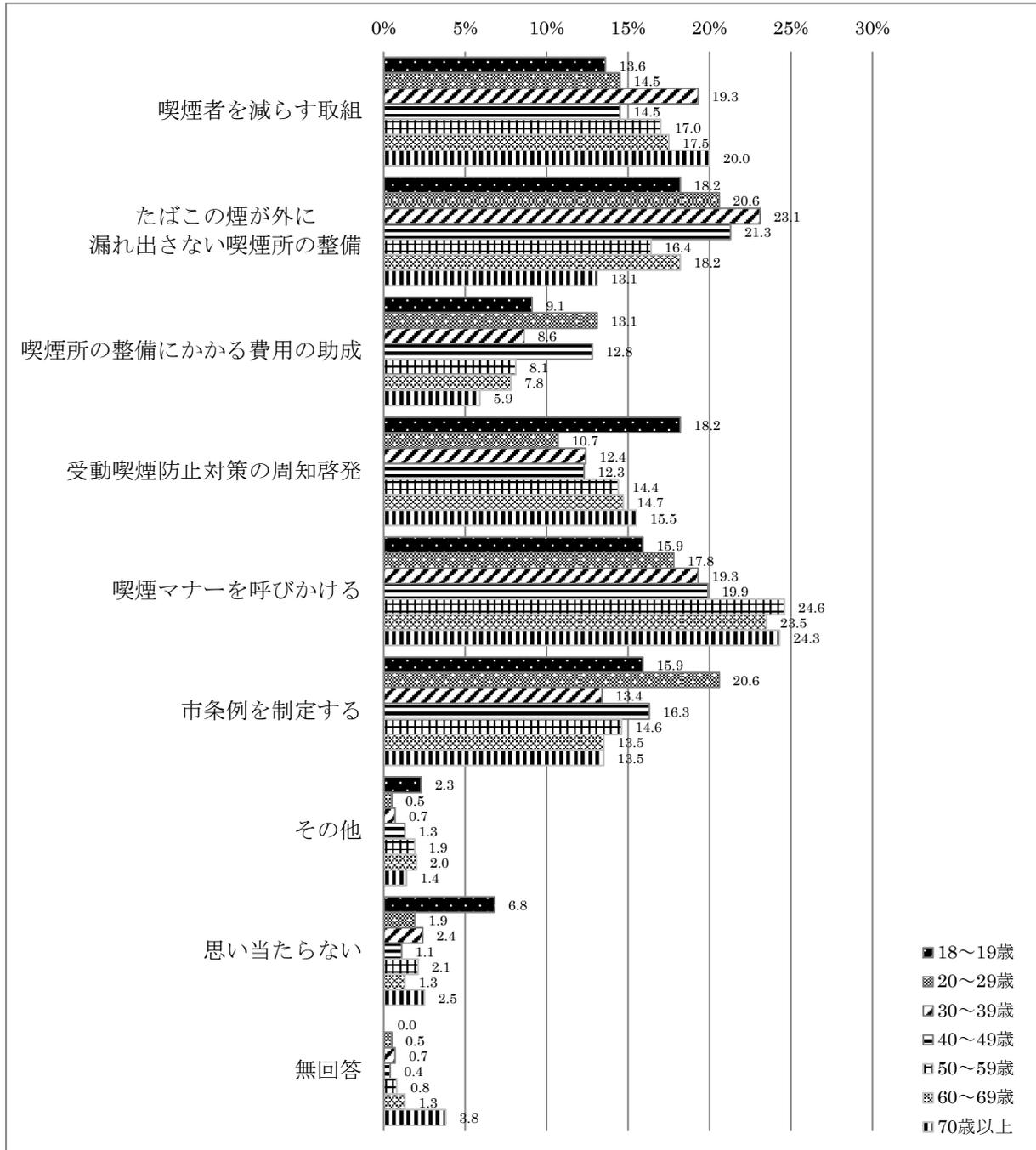
- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 喫煙者を減らす取組 | 5 喫煙マナーを呼びかける |
| 2 たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備 | 6 市条例を制定する |
| 3 喫煙所の整備にかかる費用の助成 | 7 その他 () |
| 4 受動喫煙防止対策の周知啓発 | 8 思い当たらない |

【全体】



「喫煙マナーを呼びかける」の割合が最も高く、「喫煙者を減らす取組」「たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備」が続いており、問23の屋内と同様の傾向である。

【年代別】



「喫煙マナーを呼びかける」は20代が15.9%で最も割合が低く、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向にある。

【全体を通じて】

「喫煙マナーを呼びかける」と「たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備」が多い傾向にある一方、自由記載では「条例で喫煙禁止区域を作る（罰則あり）」、「整備された場所以外では喫煙禁止」といった意見が多く見られた。

適切な対策がとられた喫煙所を設置しても良いと考える人、全面禁煙を求める人、多様な意見を尊重して、十分に議論をする必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			喫煙者を減らす取組	たばこの煙が外に漏れ出さない喫煙所の整備	喫煙所の整備にかかる費用の助成	受動喫煙防止対策の周知啓発	喫煙マナーを呼びかける	市条例を制定する	その他	思い当たらない	無回答
	全体	3128	551	544	265	441	706	458	47	63	53
地区	河北	971	170	169	81	137	212	146	18	19	19
	河南	454	79	84	45	66	96	55	7	11	11
	盛南	432	76	83	46	59	93	63	2	9	1
	厨川	657	110	123	45	99	157	93	8	11	11
	都南	547	106	71	42	72	130	92	11	13	10
	玉山	67	10	14	6	8	18	9	1	0	1
性別	男	1348	228	243	126	177	289	202	32	35	16
	女	1780	323	301	139	264	417	256	15	28	37
年齢	18～19歳	44	6	8	4	8	7	7	1	3	0
	20～29歳	214	31	44	28	23	38	44	1	4	1
	30～39歳	290	56	67	25	36	56	39	2	7	2
	40～49歳	447	65	95	57	55	89	73	6	5	2
	50～59歳	617	105	101	50	89	152	90	12	13	5
	60～69歳	599	105	109	47	88	141	81	12	8	8
	70歳以上	917	183	120	54	142	223	124	13	23	35

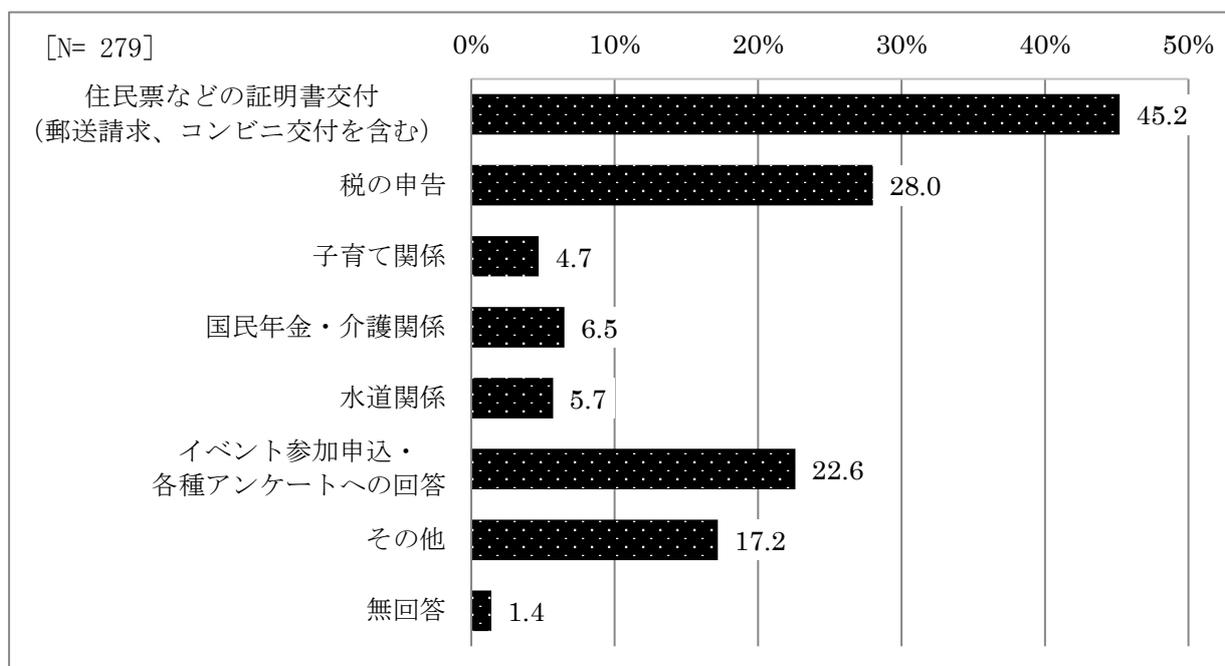
【性別、年代別、地区別の回答数】

			ある	ない	無回答
	全体	1289	279	986	24
地区	河北	396	82	308	6
	河南	192	53	134	5
	盛南	174	45	128	1
	厨川	266	50	213	3
	都南	233	45	179	9
	玉山	28	4	24	0
	性別	男	574	127	436
女		715	152	550	13
年齢	18～19歳	19	4	15	0
	20～29歳	93	41	51	1
	30～39歳	116	36	78	2
	40～49歳	183	64	118	1
	50～59歳	245	64	179	2
	60～69歳	249	49	196	4
	70歳以上	384	21	349	14

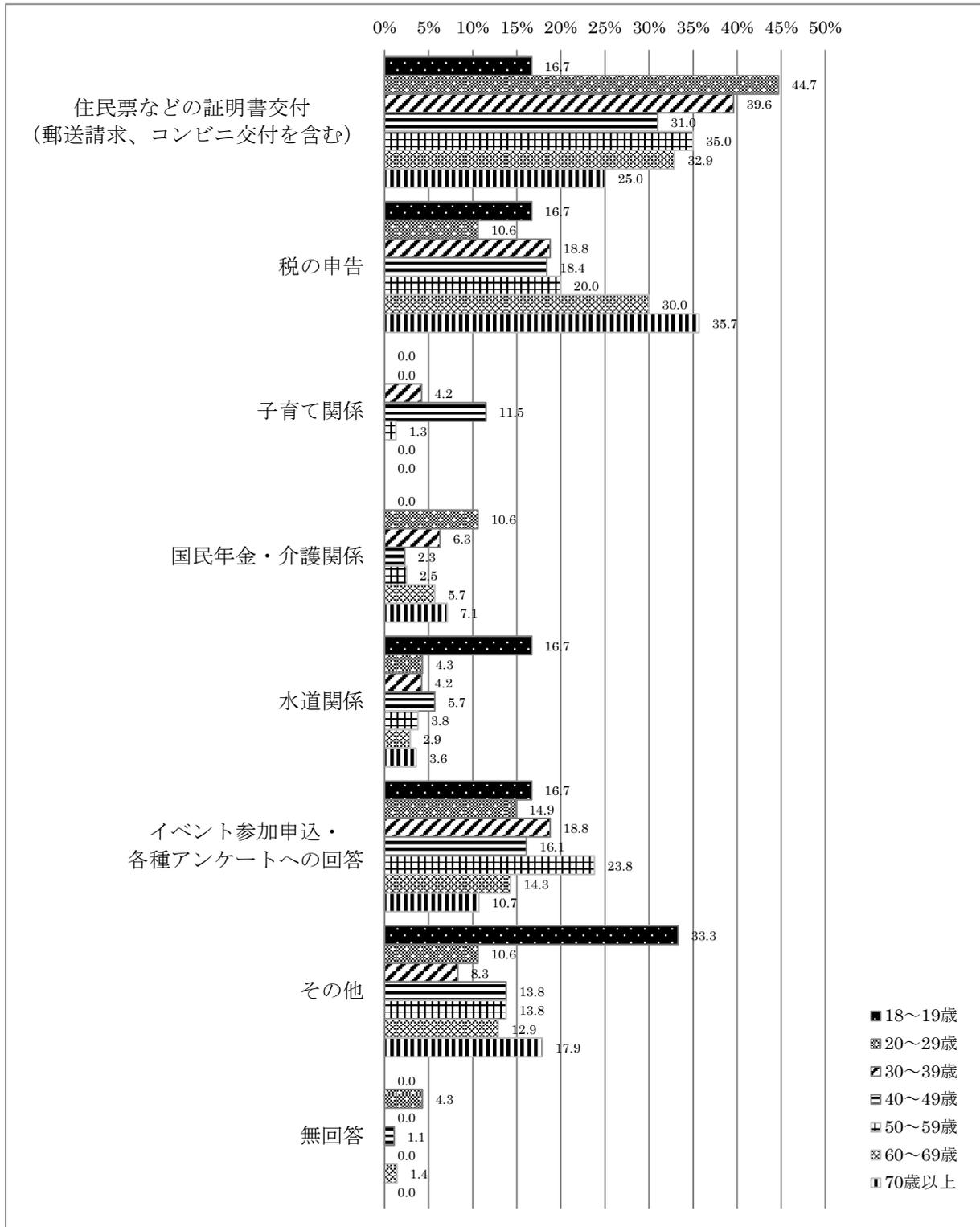
問26 問25で「1 ある」を選んだ方にお聞きします。スマートフォンやパソコンを使ってどのような手続きを行いましたか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1 住民票などの証明書交付
(郵送請求、コンビニ交付を含む) | 5 水道関係 |
| 2 税の申告 | 6 イベント参加申込・各種アンケートへの回答 |
| 3 子育て関係 | 7 その他 () |
| 4 国民年金・介護関係 | |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

住民票などの証明書の交付の割合が最も高く、次いで税の申告となった。

当市ではぴったりサービスを活用して、子育て関係や介護関係について、オンラインで手続きを受付する仕組みを令和4年度に構築しており、今後、活用に向けた検討や、市民への周知方法の検討の必要があると思われる。

年代別では、住民票が20代～30代、税の申告が60代以上、イベント参加申込が30代～50代で多く利用されており、各世代におけるライフイベント等が関係していると思われる。

自由記述で多く見られた回答としては、新型コロナウイルス感染症対応ワクチン接種の予約、マイナンバーカードの申請などの国への手続きを答えた回答も多かった。

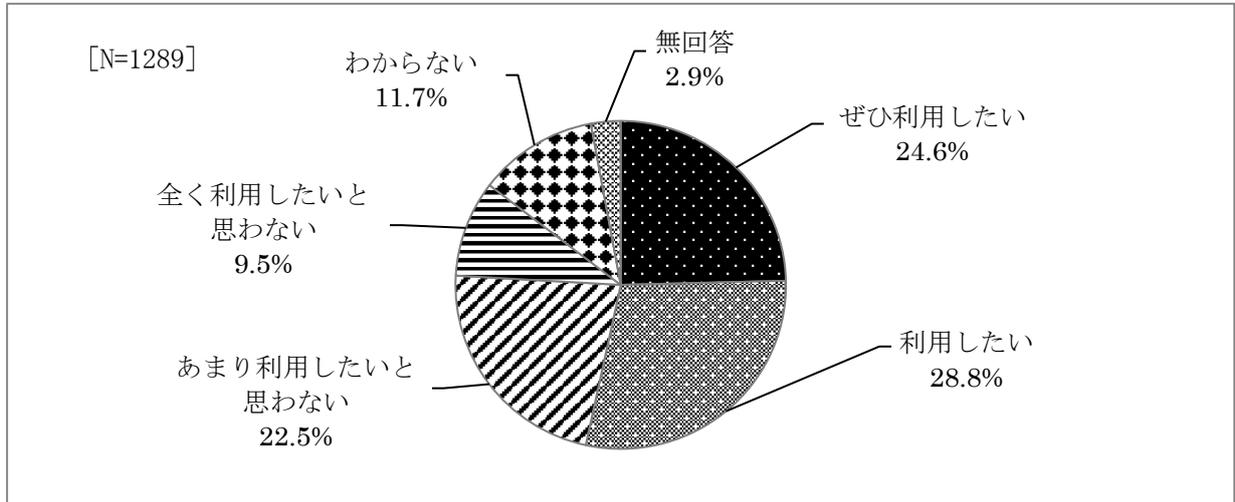
【性別、年代別、地区別の回答数】

			住民票などの証明書交付 (郵送請求・コンビニ交付を含む)	税の申告	子育て関係	国民年金・介護関係	水道関係	イベント参加申込・各種アンケートへの回答	その他	無回答
	全体	366	126	78	13	18	16	63	48	4
地区	河北	110	36	25	3	3	6	20	15	2
	河南	77	30	17	3	5	4	10	8	0
	盛南	57	25	11	3	2	0	11	5	0
	厨川	65	21	9	0	3	5	14	13	0
	都南	53	14	15	4	4	1	6	7	2
	玉山	4	0	1	0	1	0	2	0	0
性別	男	175	59	43	6	9	7	29	21	1
	女	191	67	35	7	9	9	34	27	3
年齢	18～19歳	6	1	1	0	0	1	1	2	0
	20～29歳	47	21	5	0	5	2	7	5	2
	30～39歳	48	19	9	2	3	2	9	4	0
	40～49歳	87	27	16	10	2	5	14	12	1
	50～59歳	80	28	16	1	2	3	19	11	0
	60～69歳	70	23	21	0	4	2	10	9	1
	70歳以上	28	7	10	0	2	1	3	5	0

問27 オンラインで各種手続きが完結するようになった場合、オンラインで手続きしたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

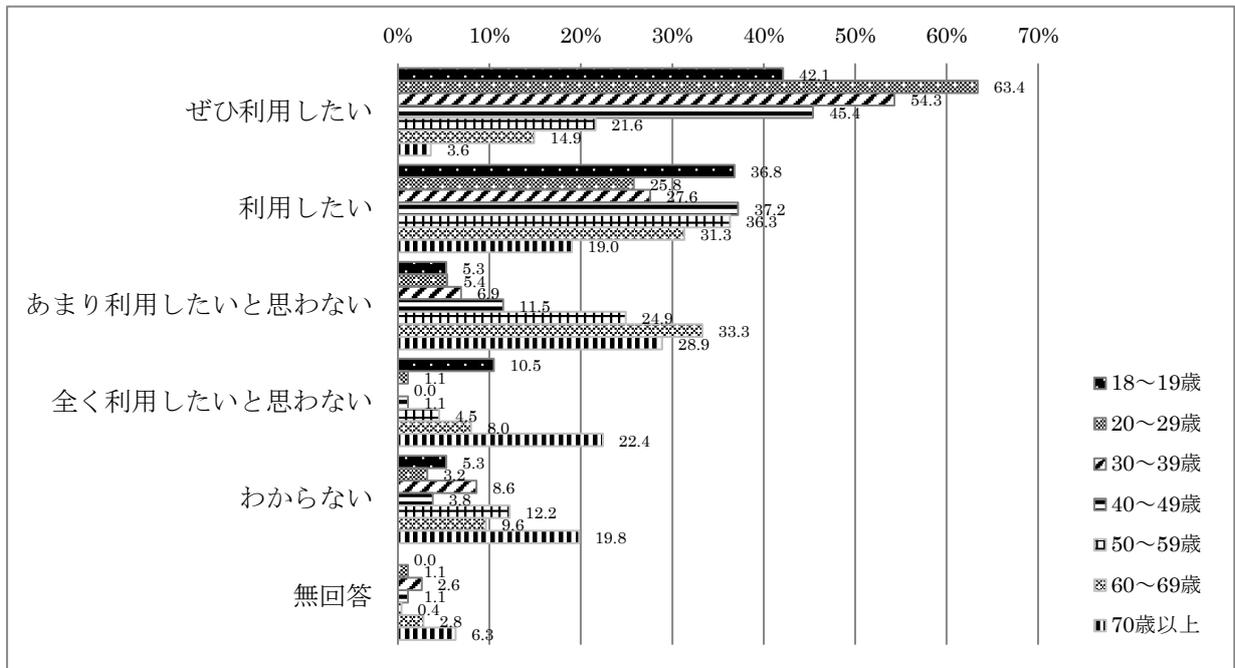
- 1 ぜひ利用したい
- 2 利用したい
- 3 あまり利用したいと思わない
- 4 全く利用したいと思わない
- 5 わからない

【全体】



オンラインで手続きを「ぜひ利用したい」「利用したい」と答えた割合は合わせて53.4%で、「あまり利用したいと思わない」又は「全く利用したいと思わない」と答えた32.0%を上回っている。

【年代別】



10代~50代は、過半数がオンラインで手続きを「ぜひ利用したい」又は「利用したい」と回答している。需要がある10代~50代の市民が対象となる申請を増やすことで、施策の有効性を高められると考えられる。

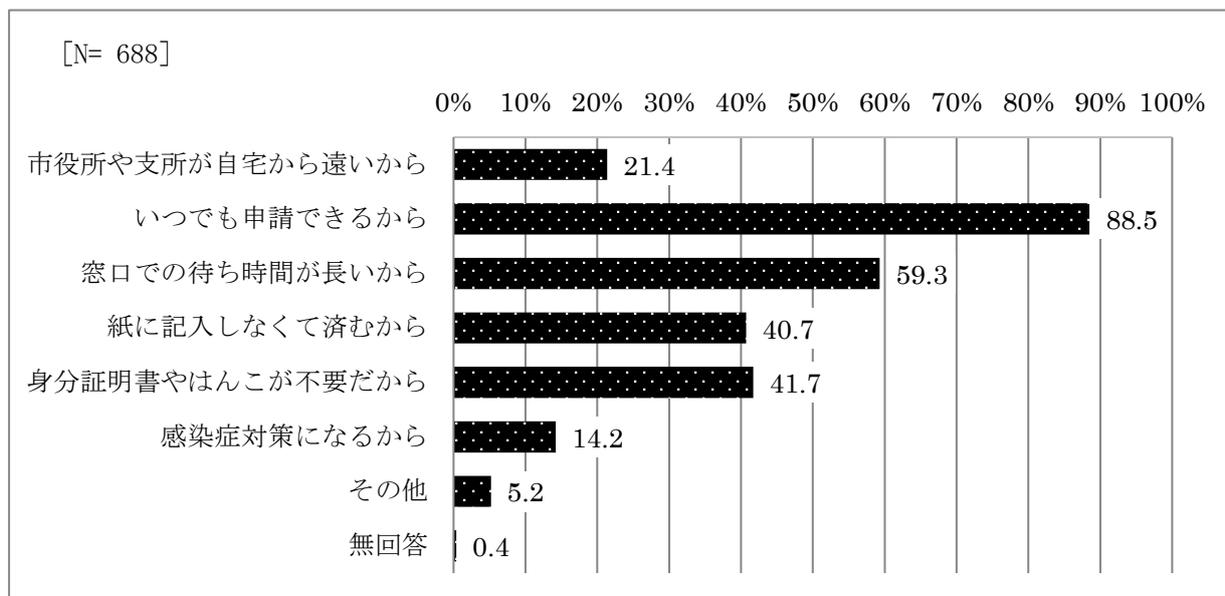
【性別、年代別、地区別の回答数】

			ぜひ利用したい	利用したい	あまり利用したいと思わない	全く利用したいと思わない	わからない	無回答
	全体	1289	317	371	290	122	151	38
地区	河北	396	92	113	88	53	36	14
	河南	192	40	62	39	13	31	7
	盛南	174	69	43	36	11	14	1
	厨川	266	59	77	62	21	44	3
	都南	233	54	68	54	22	22	13
	玉山	28	3	8	11	2	4	0
性別	男	574	159	171	122	50	56	16
	女	715	158	200	168	72	95	22
年齢	18～19歳	19	8	7	1	2	1	0
	20～29歳	93	59	24	5	1	3	1
	30～39歳	116	63	32	8	0	10	3
	40～49歳	183	83	68	21	2	7	2
	50～59歳	245	53	89	61	11	30	1
	60～69歳	249	37	78	83	20	24	7
	70歳以上	384	14	73	111	86	76	24

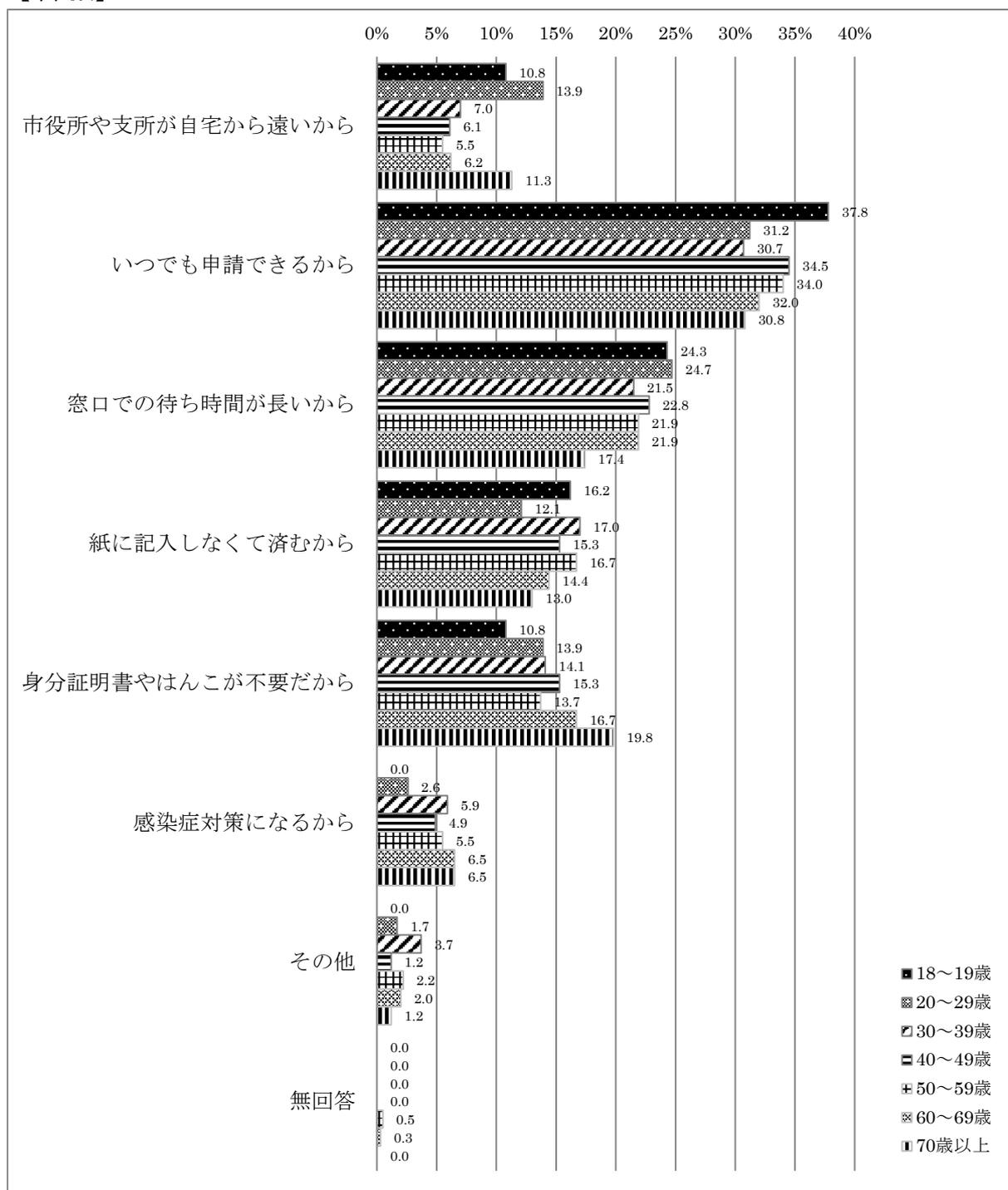
問28 問27で「1 ぜひ利用したい」「2 利用したい」を選んだ方にお聞きします。
 オンラインでの手続きをしたいと思うのはなぜですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 市役所や支所が自宅から遠いから | 5 身分証明書やはんこが不要だから |
| 2 いつでも申請できるから | 6 感染症対策になるから |
| 3 窓口での待ち時間が長いから | 7 その他 () |
| 4 紙に記入しなくて済むから | |

【全体】



【年代別】



オンラインで手続きをしたい理由に年代による差はほとんどみられず、「いつでも申請できるから」の割合が最も高かった。「窓口での待ち時間が長いから」は、年代が若くなるにつれて割合が高くなる傾向があった。

【全体を通じて】

全体として、オンラインで手続きをしたい理由の割合は、「いつでも申請できるから」が最も高く、次いで「窓口での待ち時間が長いから」となっている。自由記述で多く見られた回答としては、市役所の駐車場が狭いこと、仕事や介護のために日中に行けないことなどがあった。全体の傾向や自由記述から、時間に関する要望が認められるため、夜間や休日に申請できることへのニーズが高いと思われる。

オンライン申請によってこれらのニーズに応えることができるようになるため、今後もオンライン申請の拡充が求められていると言える。

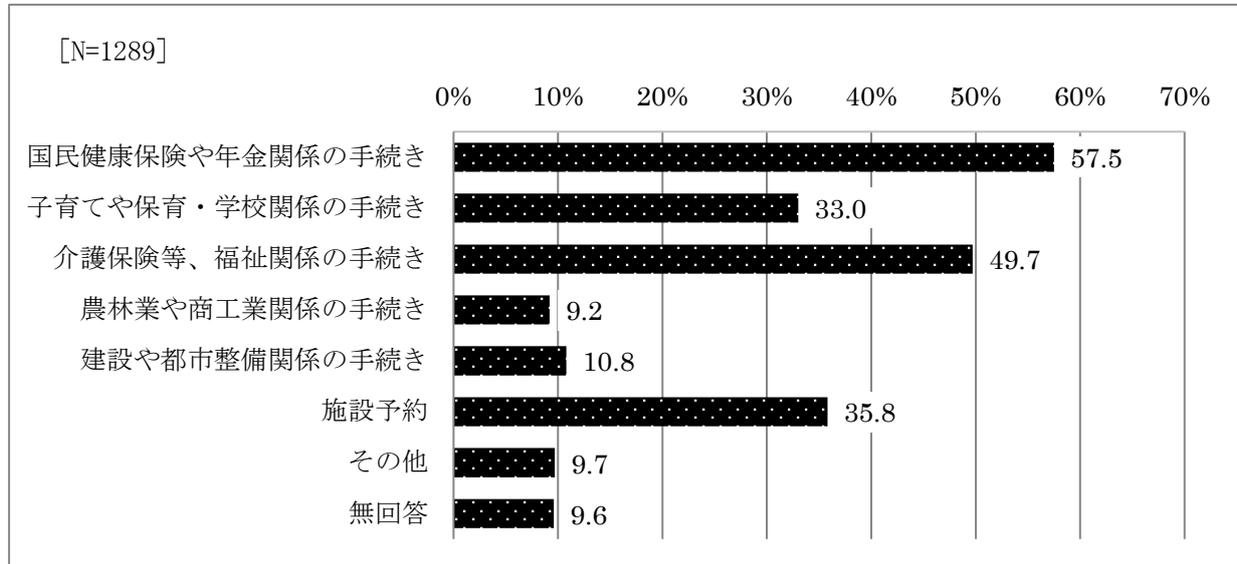
【性別、年代別、地区別の回答数】

			市役所や支所が自宅から遠いから	いつでも申請できるから	窓口での待ち時間が長いから	紙に記入しなくて済むから	身分証明書やはんこが不要だから	感染症対策になるから	その他	無回答
	全体	1868	147	609	408	280	287	98	36	3
地区	河北	566	50	187	122	83	91	30	3	0
	河南	241	9	90	56	35	32	13	6	0
	盛南	319	30	99	68	49	42	16	15	0
	厨川	375	32	118	81	56	61	17	9	1
	都南	340	22	105	77	53	57	21	3	2
	玉山	27	4	10	4	4	4	1	0	0
性別	男	915	65	293	196	155	145	45	15	1
	女	953	82	316	212	125	142	53	21	2
年齢	18～19歳	37	4	14	9	6	4	0	0	0
	20～29歳	231	32	72	57	28	32	6	4	0
	30～39歳	270	19	83	58	46	38	16	10	0
	40～49歳	412	25	142	94	63	63	20	5	0
	50～59歳	365	20	124	80	61	50	20	8	2
	60～69歳	306	19	98	67	44	51	20	6	1
	70歳以上	247	28	76	43	32	49	16	3	0

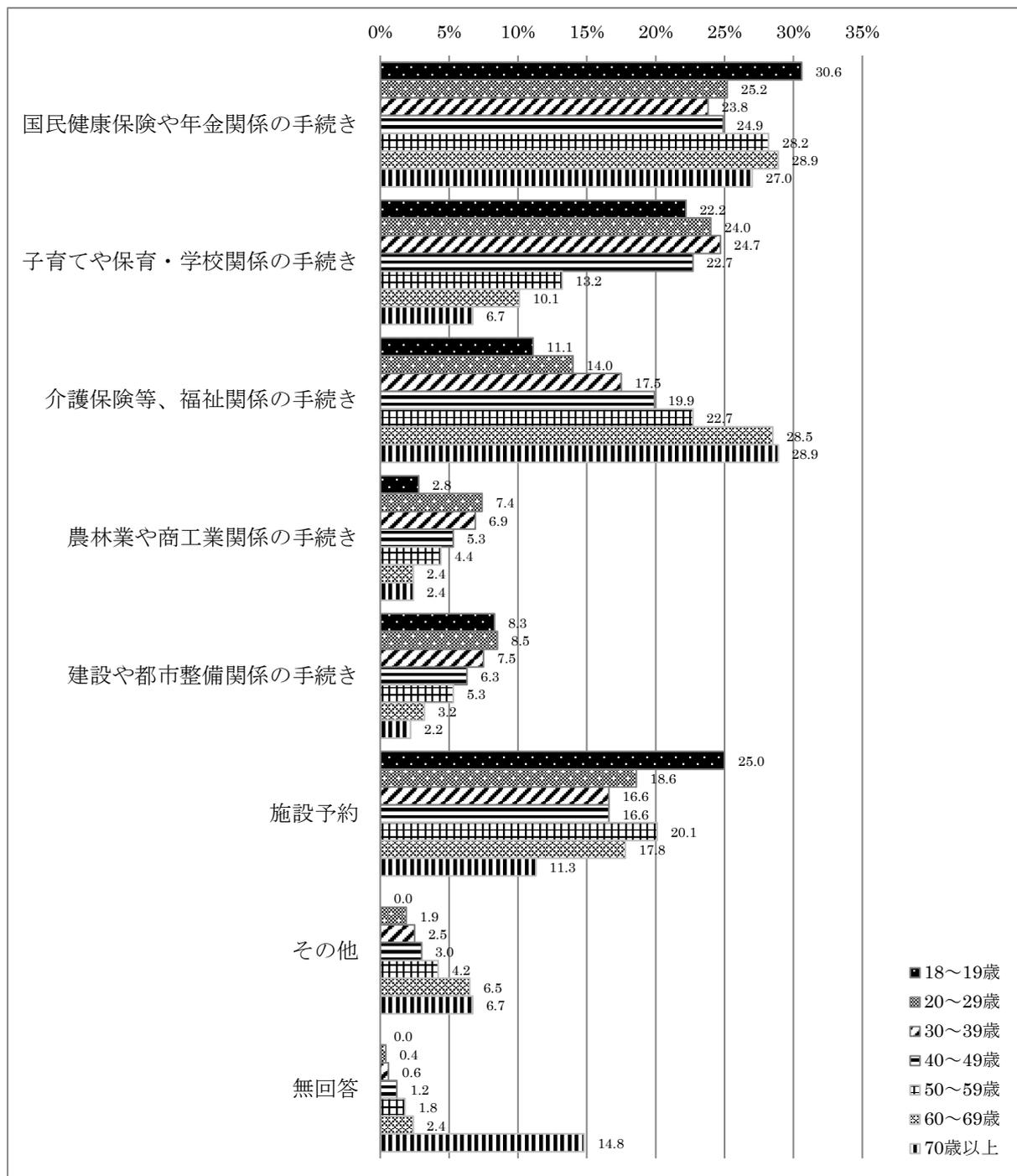
問29 今後オンライン化したら便利だと思う手続きは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 国民健康保険や年金関係の手続き | 5 建設や都市整備関係の手続き |
| 2 子育てや保育・学校関係の手続き | 6 施設予約 |
| 3 介護保険等、福祉関係の手続き | 7 その他 () |
| 4 農林業や商工業関係の手続き | |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

全体として、オンライン化したら便利だと思う手続きの割合は「国民健康保険や年金関係の手続き」が最も高く、次いで「介護保険等、福祉関係の手続き」となっている。

年代別に見ると、30代は「子育てや保育・学校関係の手続き」が最も割合が高く、70歳以上は「介護保険等、福祉関係の手続き」が最も割合が高かったが、その他の年代では「国民健康保険や年金関係の手続き」の割合が最も高かった。

自由記述では、全てオンライン化すると助かる、オンラインは操作が苦手、今のところ必要性がないといった意見が見られた。

令和4年度末までに、子育て・介護関係の手続きを中心とした27手続きについてオンライン化を実現したところであり、市民のニーズに応えるよう取組を進めることができていると言える。問27から、需要がある10代~50代の市民がオンライン化に関心が高いと考えられるため、10代~50代の市民に関心の高い、

国民健康保険や年金関係、子育てや保育・学校関係を対象とする申請を増やすことで、施策の有効性を高められると考えられる。

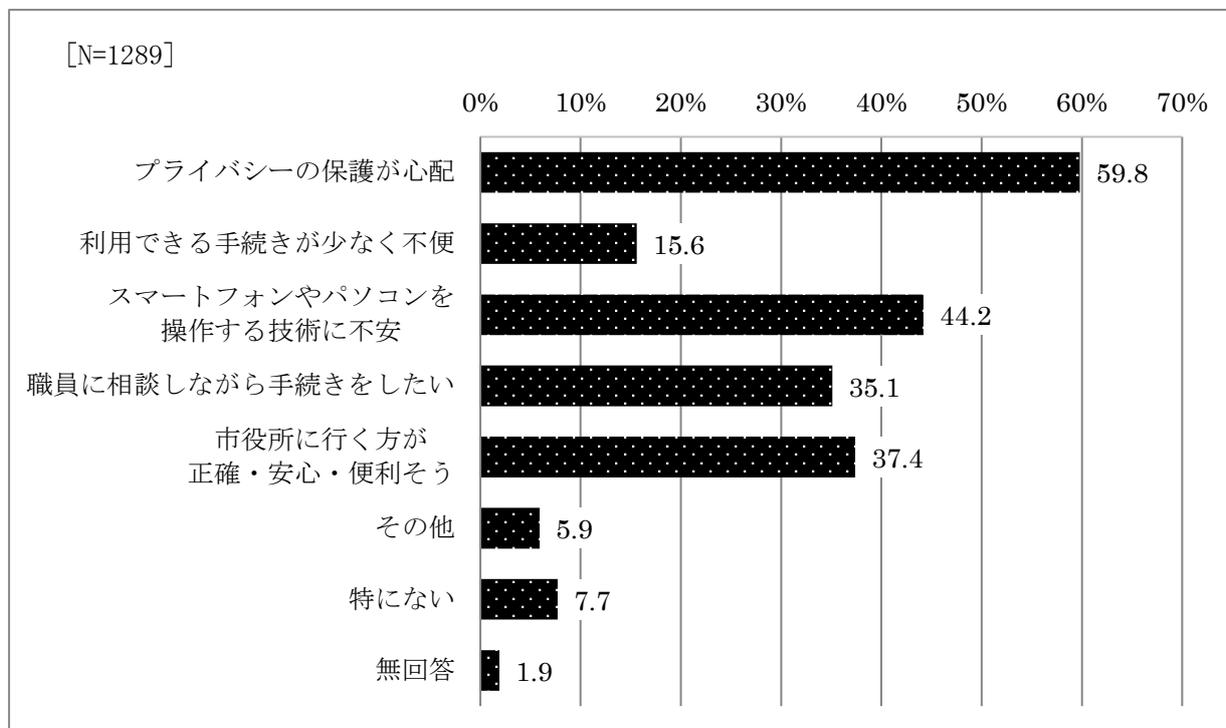
【性別、年代別、地区別の回答数】

			国民健康保険や年金関係の手続き	子育てや保育・学校関係の手続き	介護保険等、福祉関係の手続き	農林業や商工業関係の手続き	建設や都市整備関係の手続き	施設予約	その他	無回答
	全体	2774	741	425	640	119	139	461	125	124
地区	河北	825	226	114	199	31	39	134	40	42
	河南	392	108	59	92	11	20	63	21	18
	盛南	447	106	91	95	28	30	72	12	13
	厨川	548	154	75	125	23	26	95	23	27
	都南	500	134	77	118	20	20	85	23	23
	玉山	62	13	9	11	6	4	12	6	1
性別	男	1269	341	185	276	68	82	212	61	44
	女	1505	400	240	364	51	57	249	64	80
年齢	18～19歳	36	11	8	4	1	3	9	0	0
	20～29歳	258	65	62	36	19	22	48	5	1
	30～39歳	320	76	79	56	22	24	53	8	2
	40～49歳	493	123	112	98	26	31	82	15	6
	50～59歳	546	154	72	124	24	29	110	23	10
	60～69歳	494	143	50	141	12	16	88	32	12
	70歳以上	627	169	42	181	15	14	71	42	93

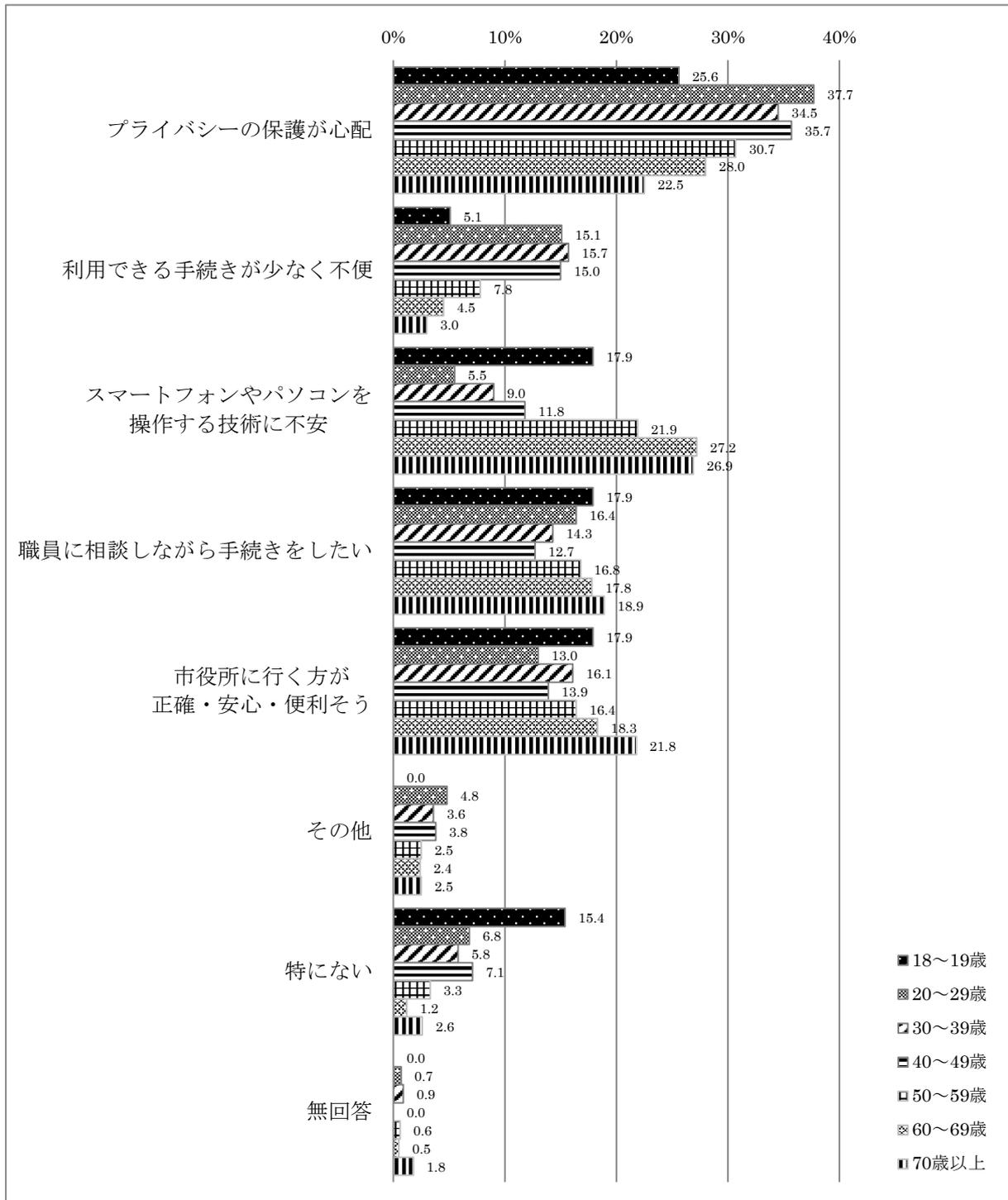
問30 行政のオンライン化にあたって、気になることは何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 プライバシーの保護が心配 | 4 職員に相談しながら手続きをしたい |
| 2 利用できる手続きが少なく不便 | 5 市役所に行く方が正確・安心・便利そう |
| 3 スマートフォンやパソコンを操作する技術に不安 | 6 その他 () |
| | 7 特にない |

【全体】



【年代別】



【全体を通じて】

全体としては、オンライン化にあたって気になることの割合は「プライバシーの保護が心配」が最も多く、次に「スマートフォンやパソコンを操作する技術に不安」となっている。

年代別に見ると、10代～60代では「プライバシーの保護が心配」が最も割合として高く、特に20代～50代では他の選択肢と比較して突出して大きい割合であった。一方で70歳以上では「スマートフォンやパソコンを操作する技術に不安」が最も高かった。

自由記述では、「スマートフォンやパソコンを持っていないこと」、「その操作ができないこと」、「高齢者への配慮が必要」、「システムの分かりやすさや使いやすさを求める」といった意見が見られた。

プライバシーの保護については、今後も丁寧な説明が求められているほか、情報企画課ではスマートフォンの基礎的な使い方を学ぶスマホ教室を開催しており、おおむねニーズに沿った事業を行っているといえる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			プライバシーの保護が心配	利用できる手続きが少なく不便	スマートフォンやパソコンを操作する技術に不安	職員に相談しながら手続きをしたい	市役所に行く方が正確・安心・便利そう	その他	特にない	無回答
	全体	2676	771	201	570	453	482	76	99	24
地区	河北	843	242	58	186	150	149	23	27	8
	河南	381	108	32	73	61	71	15	20	1
	盛南	337	111	31	71	47	54	9	12	2
	厨川	564	151	36	123	114	98	13	24	5
	都南	480	141	43	98	69	93	13	16	7
	玉山	71	18	1	19	12	17	3	0	1
性別	男	1152	321	106	232	192	205	37	52	7
	女	1524	450	95	338	261	277	39	47	17
年齢	18～19歳	39	10	2	7	7	7	0	6	0
	20～29歳	146	55	22	8	24	19	7	10	1
	30～39歳	223	77	35	20	32	36	8	13	2
	40～49歳	339	121	51	40	43	47	13	24	0
	50～59歳	512	157	40	112	86	84	13	17	3
	60～69歳	574	161	26	156	102	105	14	7	3
	70歳以上	843	190	25	227	159	184	21	22	15

令和5年度市民アンケート調査結果報告書
令和6年1月発行

〈発行・編集〉

盛岡市市長公室広聴広報課
〒020-8530 盛岡市内丸12番2号
電話 (019) 626-7517 (直通)

〈調査結果の考察担当〉

- ・保健所健康増進課
- ・農林部農政課食と農の連携推進室
- ・総務部情報企画課

この報告書は再生紙を使用しています。